SONY

4-663-967-01(1)

必ずお読みください 17

接続する／準備する 23

コンピュータの基本操作 55

カスタマー登録する／インターネットに接続する 67

本機の使いかたがわからないときに 129

困ったときは 137

接続／拡張するときは 181

その他 203

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

i.LINK™ S400

パーソナルコンピューター

PCV-JX11GBP/JX11BP/JX11/JX11GN

© 2002 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

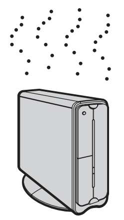
8ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

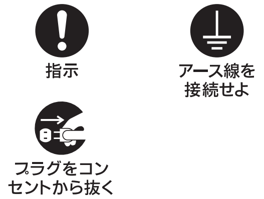
⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



アース線の接続について

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS･C-6802）クラス１適合のCD-RW／DVD-ROM一体型ドライブが搭載されています。

著作権について

あなたが本機で録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
また、著作者の許可なく、取り込んだ映像･画像･音声に変更･切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。
コピーガード信号の入った映像は録画することができません。

本機の内蔵モデムについて

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。
工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

緩衝材に段ボールを使用しています。

本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。

Microsoft® Office XP Personalについて

お買い上げの機種によってはOffice XPが付属されているモデルと付属されていないモデルがあります。Office XPが付属されているモデルは、保証書に記載されている型名の末尾が“BP”となっています。本書は両モデル共通のマニュアルです。

Office XP付属モデル	Office XP なしモデル
型名例:PCV-○○○○BP	PCV-○○○○

マニュアルについて

コンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、よくご存知の方も、必ず本書からお読みください。読み終わったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

以下に、本機に付属しているマニュアルを簡単に紹介します。

なお、下記のほかにもマニュアル類が付属している場合があります。

本機に付属しているマニュアル

取扱説明書（本書）	**「必ずお読みください」**（18ページ）**からご覧ください。** 「必ずお読みください」、「接続する／準備する」、「コンピュータの基本操作」、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」、「本機の使いかたがわからないときに」、「困ったときは」、「接続／拡張するときは」、「その他」
「Giga Pocket**」取扱説明書** **（**PCV-JX11GBP/JX11GN**のみ）**	本機でテレビを楽しむためのソフトウェア「Giga Pocket」の使いかたを説明しています。
Giga Pocket **はじめにお読みください** **（**PCV-JX11GBP/JX11GN**のみ）**	「Giga Pocket」ソフトウェアを使うときに必要な接続や設定を説明しています。
VAIO**サービス・サポートのご案内**	トラブルが発生したときの対処方法、お問い合わせ先、サービス・サポートの内容

画面で見るマニュアル

電子マニュアル **「サイバーサポート** **（**CyberSupport**）」** 	VAIOの使いかたや楽しみかたを説明する電子マニュアルです。 キーワードで内容を検索することもできます。使いかたについて詳しくは「「サイバーサポート」の使いかた」（130ページ）をご覧ください。	
	できるWindows	Windowsの基本操作
	インターネット	インターネットへの接続など
	VAIOの使いかた	音楽CDやDVDビデオを再生する方法、ディスクに音楽やデータを記録する方法、本機を拡張する方法、各種設定の方法など
	VAIOの楽しみかた	付属ソフトウェアの紹介
	困ったときは	トラブルの対処方法
	サービス／サポート	サービス／サポート情報
	用語集	用語の説明
ヘルプとサポートセンター	Windowsの操作方法／サポートについての情報、検索。 詳しくは、「「ヘルプとサポートセンター」について」（52ページ）をご覧ください。	
ソフトウェアのヘルプ	多くのソフトウェアにはヘルプが付属されています。ソフトウェアの使いかたは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。	

目次

安全のために......2
マニュアルについて......5
警告・注意......8

必ずお読みください

必ずお読みください......18

接続する／準備する

こんなことができます......24
操作の流れ......26
付属品を確かめる......28
各部のなまえ......30
設置する......32
接続する／準備する......36
1 ディスプレイを接続する......36
2 アクティブスピーカーを接続する......38
3 キーボードとマウスを接続する......39
4 電話回線に接続する......41
5 電源コードを接続する......45
電源を入れる......47
Windowsを準備する......48
複数ユーザーで使用する......51
「ヘルプとサポートセンター」について......52
電源を切る......53

コンピュータの基本操作

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき......56
マウスの操作......58
ウィンドウやファイルの操作......60
文字の入力......64

カスタマー登録する／インターネットに接続する

カスタマー登録する 68
インターネットを始める 79
インターネットに接続するまでの流れ 84
1 プロバイダと契約する 86
2 チェックシートを作成する 90
3 接続のための設定をする 95
4 電子メールソフトウェアの設定をする 108
5 インターネットに接続する 114
ホームページを見る 117
電子メールをやりとりする 124

本機の使いかたがわからないときに

「サイバーサポート」の使いかた 130

困ったときは

わからないことやトラブルを解決する 138
主なトラブルとその解決方法 140

接続／拡張するときは

i.LINK対応機器をつなぐ 182
USB機器をつなぐ 187
ネットワーク（LAN）につなぐ 189
MDなどのデジタル機器をつなぐ 190
PCカードを使う 191
拡張ボードを増設する 195
メモリを増設する 202

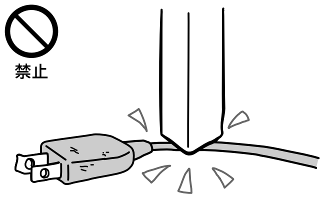
その他

動画系ソフトウェアの操作の流れ 204
コンピュータウイルスについて 206
リカバリディスクで本機を再セットアップする 208
パーティションサイズを変更する 219
使用上のご注意 223
お手入れ 226
保証書とアフターサービス 228
付属ソフトウェアのお問い合わせ先 229
主な仕様 236
索引 237

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

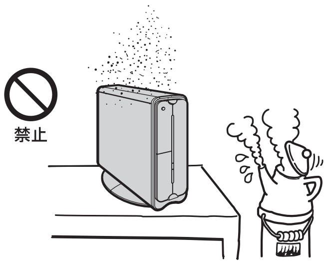
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。



- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
  万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



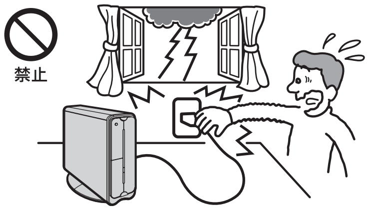
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

むやみに内部を開けない

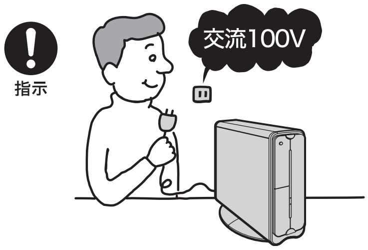
- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- 各種の拡張ボード(基板)を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したらテレホンコードや電源プラグに触らない



感電の原因になります。

本機は日本国内専用です



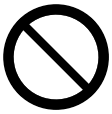
交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

NETWORK（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機のNETWORK（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。



禁止

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

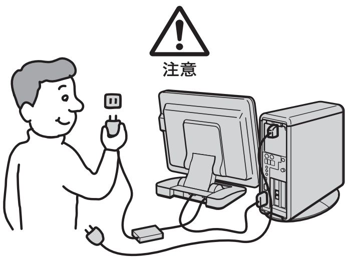
⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。



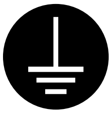
指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

注意

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。


アース線を接続せよ

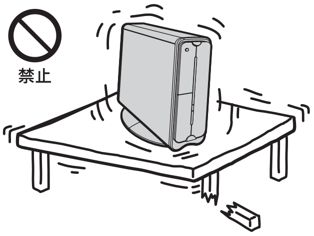
通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。



運搬時は慎重に

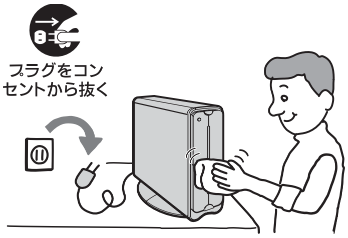
コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動させるときは電源コードや接続コードを抜く

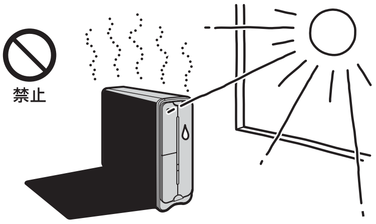
接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

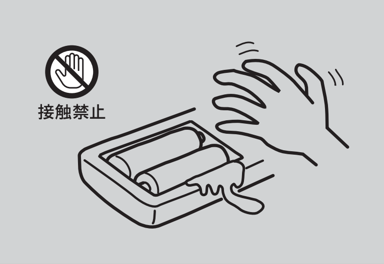
アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

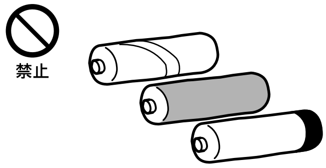
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

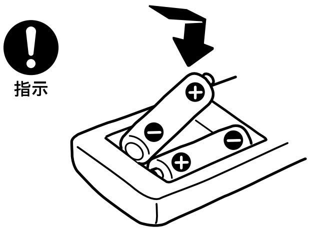
市販のアルカリまたはマンガン電池（単三型）以外の電池をリモコンに使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



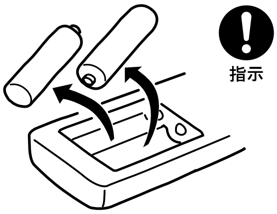
＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



必ずお読みください

この章では、本機をお使いになる際の重要な情報について
説明していますので、必ずお読みください。

必ずお読みください

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

- CD再生／録音についてのご注意 18ページ
- CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブの地域番号（リージョンコード）書き換えについて 18ページ
- DVDを再生するには 19ページ
- DVDを再生するときのご注意 19ページ
- 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意 19ページ
- 画面の解像度などの設定を変更するときのご注意 20ページ
- 8cmディスクをお使いになるときのご注意 20ページ
- 省電力機能について 21ページ
- 「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのご注意 22ページ

CD再生／録音についてのご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

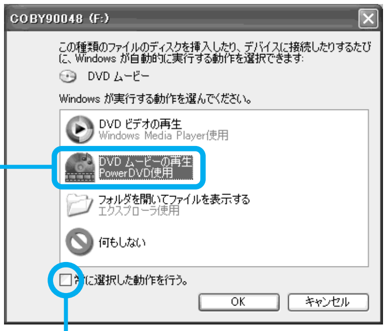
CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブの地域番号（リージョンコード）書き換えについて

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地域番号（リージョンコード）は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

DVDを再生するには

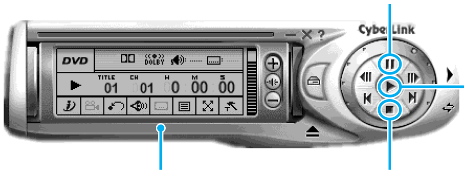
DVDビデオを見るには、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを使います。

- DVD ビデオを初めてディスクドライブに入れた場合、以下の画面が表示されます。



上記の設定を行うと次回から、DVDビデオをディスクドライブに入れた場合、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが自動的に起動します。

- 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動すると、操作パネルが表示されます。操作パネルの各ボタンをクリックして「再生」や「停止」などの操作が行えます。
  詳しくは、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



DVDを再生するときのご注意

- 本機では、ソフトウェアを用いて DVD を再生しています。このため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU、メモリなどのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちしたりすることがあります。また、ディスクによっては、再生そのものに不具合があるものも確認されています。
- 本機で DVD を再生するときは、「DVgate」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェア（PCV-JX11GBP/JX11GN のみ）など、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- DVD ビデオや動画系ファイルを再生しているときに、画面の解像度や色数を変更しないでください。動画が正しく再生できなかったり、システムが不安定になることがあります。
  また、DVD ビデオを再生するときには、スクリーンセーバーの設定を解除することをおすすめします。スクリーンセーバーを設定すると、DVD ビデオの再生中にスクリーンセーバーが起動し、正しく再生できなくなります。スクリーンセーバーによっては、画面の解像度や色数を変更したりするものも確認されています。
- 「PC Friendly」のロゴの入った DVD ビデオを本機のディスクドライブに挿入すると、「PC Friendly」のインストールをすすめるダイアログが表示されますが、本機に「PC Friendly」をインストールしないでください。本機に「PC Friendly」をインストールした結果生じた不具合については、保障期間内でも有償修理とさせていただきます。

  * ソフトウェアはモデルによって別売りとなります。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意

- エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエクスプローラを終了してから、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動してください。

- 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の (iPower!)をクリックすると、再生ウィンドウ上に「ReadMe」が表示されます。ただし、初めて「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの (iPower!)をクリックするユーザーの権限が「制限付きアカウント」の場合、再生ウィンドウが黒くなり、「ReadMe」が正常に表示されません。この場合、いったん「コンピュータの管理者」権限でログオンし直してから、 (iPower!)をクリックしてください。それ以降は、「制限付きアカウント」権限のユーザーが (iPower!)をクリックしても、「ReadMe」が正常に表示されます。

画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動すると、正常に表示されない場合や、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示している他のアプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のアプリケーションがない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があります。」というメッセージが表示され、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動しないことがあります。他のソフトウェアを起動していないのにこのメッセージが表示される場合は、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定に戻してから「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動してください。

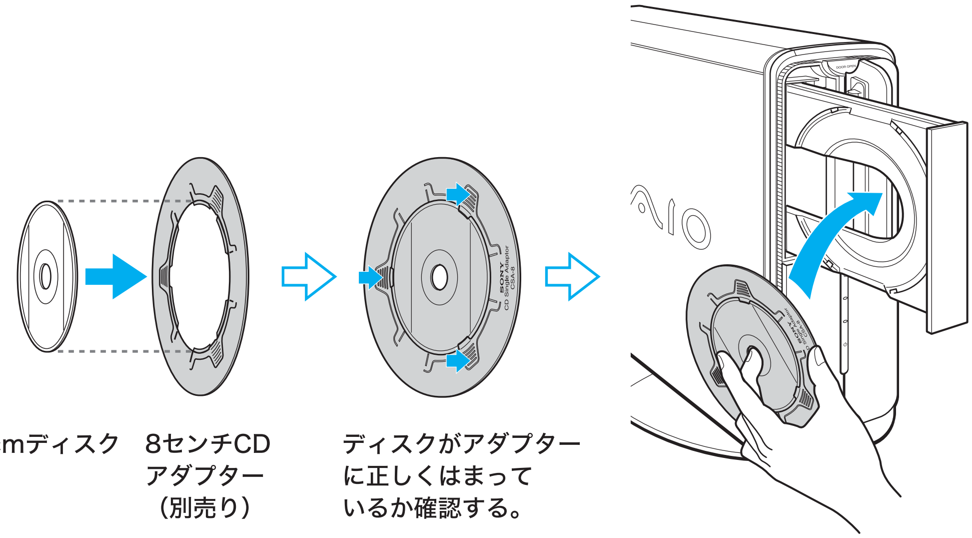
ちょっと一言

VAIOマニュアル「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[設定を変更する]→[ディスプレイの設定を変更する]→[ディスプレイ(画面)の設定を変える]をクリックして表示される各項目の情報をご覧ください。

8cmディスクをお使いになるときのご注意

8cmディスクをお使いになるときは、必ず8センチCDアダプターCSA-8(別売り)を取り付けてからディスクドライブに入れてください。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[基本的な使いかた]、[ディスクを使う]、[ディスクを入れる/取り出す]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



8cmディスク　8センチCDアダプター(別売り)　ディスクがアダプターに正しくはまっているか確認する。　ディスクトレイにはめ込む。

本機のディスクドライブには、いくつかの種類があり、ディスクドライブによってトレイの形状が異なります。

省電力機能について

本機には、2つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特長がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

モード	スタンバイモード	休止状態
本機の電源ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
ディスプレイの電源ランプ*	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、CPUの電源を切ります。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。最低限必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。	• 現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2～3日、本機を使わないようなときに便利です。
各モードに入るには	• キーボードの☾（スタンバイ）キーを押す。 • デスクトップ画面左下の をクリックし[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 付属のリモコンのテレビ／VAIO切り換えスイッチを「VAIO」に設定し、電源／スタンバイボタンを押す。（PCV-JX11GBP/JX11GNのみ） • 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選ぶ。（「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「スタンバイ」に設定されている場合、お買い上げ時の設定）（PCV-JX11GBP/JX11GNのみ）	• 本機前面の⏻（電源）ボタンを押す。 • デスクトップ画面左下の をクリックし、[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面でShift（シフト）キーを押しながら[休止状態]をクリックします。 • 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選びます。（「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「休止状態」に設定されている場合）（PCV-JX11GBP/JX11GNのみ）
通常の動作モードに戻すには	• キーボードの☾（スタンバイ）キーかスペースキーを押すか、本機前面の⏻（電源）ボタンを押す。 • 付属のリモコンのテレビ／VAIO切り換えスイッチを「VAIO」に設定し、電源／スタンバイボタンを押す。（PCV-JX11GBP/JX11GNのみ）	• 本機前面の⏻（電源）ボタンを押します。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電源の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードをコンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。

* お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックし、[設定を変更する]、[省電力機能の設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのご注意

CDライティング機能についてのご注意

- 作成される音楽 CD は一般の音楽 CD 規格（CD-DA）に準拠しますが、再生には CD-RW ／ CD-R に対応している機器が必要です。対応している機器についても、機器やメディアによって再生できない場合があります。また、CD TEXT 対応音楽 CD のタイトル表示についても再生できない場合があります。
- MP3 ファイルを記録して作成される CD-ROM（MP3 CD）は、MP3 再生対応 CD プレーヤーによっては動作に制限があったり、正しく再生できない場合があります。
- MP3 CD の作成時に、フォルダの階層を 8 階層以上にしないでください。お使いの機器によっては正しく読み込めない場合があります。

Windows® XPのシステムツール「システムの復元」を実行する場合のご注意

- 大切な曲データの消失を防ぐために、「システムの復元」を実行する前にあらかじめ「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って曲データのバックアップを行ってください。
- バックアップを行わない場合、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいはインポートした曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
- 「システムの復元」を実行した後に「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールで曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
- 「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールの使いかたについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「OpenMG Jukebox」ソフトウェアが同梱されたソニー製外部機器をお使いのお客さまへ

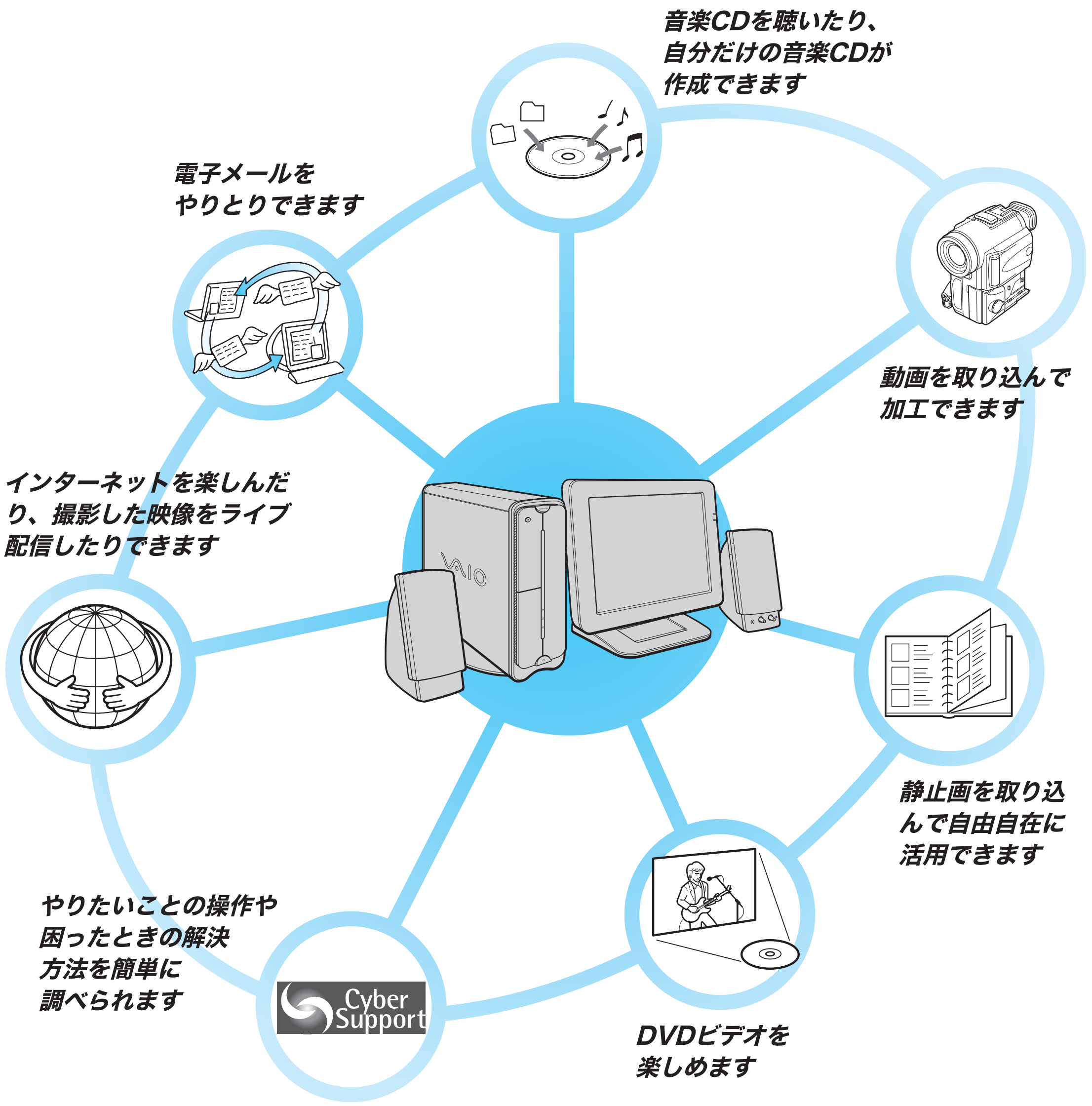
- 「SonicStage for VAIO」は、「OpenMG Jukebox」ソフトウェアの外部機器に対応しており、これらの機器を使用することができます。ただし、そのためには、最新のプラグインとドライバが必要です。詳しくは各機器のホームページをご覧ください。
- 「SonicStage for VAIO」ソフトウェアがインストールされているコンピュータに、Ver.2.0 以前の「OpenMG Jukebox」ソフトウェアを上書きインストールすると、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアが正常に動作しなくなりますので、絶対に上書きインストールを行わないでください。「OpenMG Jukebox Ver.2.2」ソフトウェアはインストールしても問題ありません。

接続する／準備する

この章では、本機を使う際に最初に行う準備について説明します。準備が整うと、本機のいろいろな機能が使えるようになります。

こんなことができます

本機は、簡単な操作でインターネットを楽しんだり、動画や静止画を加工したり、DVDビデオや音楽CDを再生したり、自分だけの音楽CDを作ったりと、パーソナルな用途に幅広くご活用いただける、ソニーならではのコンピュータです。
ここでは、本機を使ってできることの例をあげてあります。
なお、これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りの接続や準備を完了しておく必要があります。26ページからの説明に従って、本機の接続と準備を行ってください。
また、それぞれの操作について詳しくは、「サイバーサポート」または各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



ちょっと一言

PCV-JX11GNをお使いの場合は、ソフトウェアによって「Hotnetworkサービス」をご利用になりソフトウェアをダウンロードする必要があります（別売り）。

各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(229ページ)をご覧ください。

DVDを再生したい

PowerDVD XP for VAIO ▶ 簡単な操作でお使いいただける、高画質のビデオデコードが可能なDVDプレーヤーです。メニューによるナビゲーションコントロール、音声や字幕の切り替えなど、DVDで用意されているさまざまな機能のほとんどに対応しています。

静止画を取り込んで活用したい

DigitalPrint ▶ デジタル写真の取り込みからプリント、焼き増し、そしてフォトアルバムの作成やCD、MDラベルの印刷などが手軽に行えます。

PictureGear ▶ 動画から画像を合成したり、HTMLアルバム・スライドショーなど画像データを使って、いろいろなものを作ることができます。

PictureToy ▶ デジタル写真を加工するためのお絵描きソフトウェアです。デジタル写真に手書きで絵を描いたり文字やいろいろなスタンプを貼り付けることができます。

音楽CDを聴いたり作成したい

SonicStage for VAIO ▶ 音楽CDの再生/録音や、インターネット上の音楽配信サービスの利用、オリジナルCDの作成、対応ポータブルプレーヤーへの書き出しまで、音楽を統合環境で快適に楽しめます。

動画を取り込んで編集したい

MovieShaker ▶ 映像ファイルを組み合わせてオリジナルの作品が作れるソフトウェアです。好きなシーンを集めて「シェイク」すると自動的に楽しい作品ができあがります。

DVgate ▶ デジタルビデオカメラなどで撮影した映像をVAIOに取り込み、必要な部分を切り取って編集することができます。

撮影した映像をインターネット放送したい

URecSight ▶ パーソナルキャスティング（個人インターネット放送）をするためのソフトウェアです。

ボタン1つでソフトウェアを起動したい

VAIO Action Setup ▶ 本機のキーボードにあるショートカットキーの働きを設定するためのソフトウェアです。

VAIOの使いかたや困ったときの解決方法を簡単に調べたい

CyberSupport for VAIO ▶ 本機についての情報を知りたいときや、本機を使っていて困ったことや疑問があったときに使用するソフトウェアです。

VAIOカスタマーリンクのホームページでは、本機を最新の状態にしたり、さまざまな問題を解決することができるアップデートプログラムをダウンロードすることができます。
本機を快適にお使いいただくために、ぜひVAIOカスタマーリンクホームページを定期的にご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

操作の流れ

本機をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。

1

付属品を確かめる（28ページ）

箱を開け、この説明書を読みながら本機の付属品がすべてそろっているか確かめます。

2

各部のなまえ（30ページ）

本機の各部のなまえを紹介します。

3

設置する（32ページ）

本機を設置する場所を決めます。

4

接続する／準備する（36ページ）

ディスプレイやテレホンコードなどを接続します。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は NTT（局番なしの116番）にご相談ください。

5

電源を入れる（47ページ）

本機の電源を入れます。

6

Windows**を準備する**（48ページ）

Windowsを使うために、名前などを登録します。

7

電源を切る（53ページ）

本機の電源を切ります。

必要に応じて下記もご覧ください。

❑ コンピュータの基本操作（55ページ）

コンピュータを初めてお使いになる方は、このページをお読みになり、マウスやキーボードの使いかたを練習してください。

❑ カスタマー登録する／インターネットに接続する（67ページ）

登録カスタマー専用のいろいろなサービスを受けられるように、本機をカスタマー登録してください。インターネットを始めたい方は、このページをお読みになり、インターネット接続のための準備を行います。ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりする方法も練習してください。

❑ 本機の使いかたがわからないときに（129ページ）

電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたなどを説明しています。

❑ 困ったときは（137ページ）

本機を操作していてトラブルが発生したときにご覧ください。

❑ 接続／拡張するときは（181ページ）

本機と周辺機器を接続したり、本機を拡張するときにご覧ください。

❑ その他（203ページ）

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

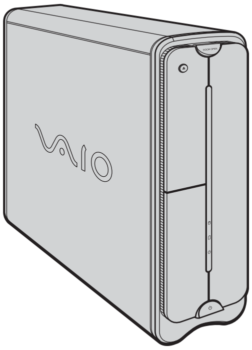
付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❏マークにチェックしながら確認すると便利です。

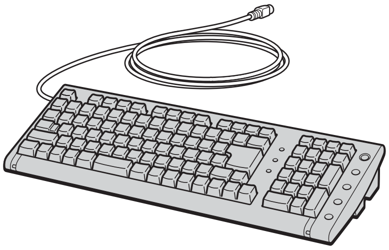
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO（バイオ）カスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。

本書で使用するものについては、本書がついています。

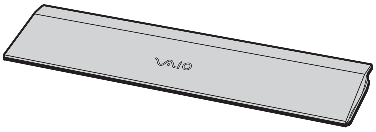
❏ コンピュータ本体（1） 本書



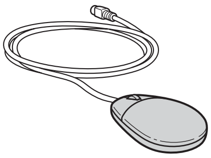
❏ キーボード（1） 本書



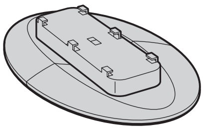
❏ パームレスト（1） 本書



❏ マウス（1） 本書



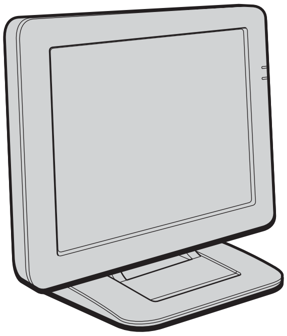
❏ スタンド（1） 本書



ご注意

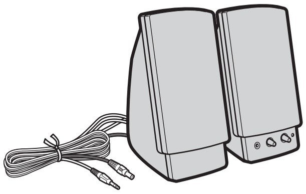
スタンドは必ず本機に取り付けてご使用ください。

❏ ディスプレイおよびその付属品（1） 本書



上のイラストは省スペース型のTFT液晶デジタルディスプレイ PCVD-15XD6です。お買い求めの機種によってはTFT液晶デジタルディスプレイ PCVD-17SD1を付属しています。
お買い求めの機種によっては、ディスプレイを付属していない機種もあります。

❏ アクティブスピーカー（1） 本書

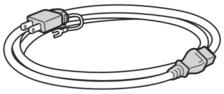


ちょっと一言

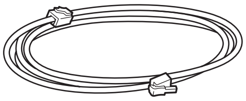
スピーカーは箱の中に入っています。

ケーブル

❏ 電源コード（1） 本書



❏ テレホンコード（1） 本書



説明書およびディスク

❑ **取扱説明書（本書、1）**

❑ **「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイド（1）**

❑ **リカバリディスクパッケージ（1）**

ご注意

「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイドおよびリカバリディスクは再発行できませんので、大切に保管してください。

❑ **Microsoft® Office XP Personalプレインストールパッケージ（Microsoft® Office XP Personal付属モデルのみ、1）**

ちょっと一言

- 本機の使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」をご覧ください。使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」（130ページ）をご覧ください。
- 各ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他

❑ **VAIOサービス・サポートのご案内（1）**

❑ **VAIOカルテ（1）**

❑ **ソフトウェア使用許諾契約書（1）**

PCV-JX11GNをお買い求めの方は、ソフトウェア使用許諾契約書は2つ付属しています。

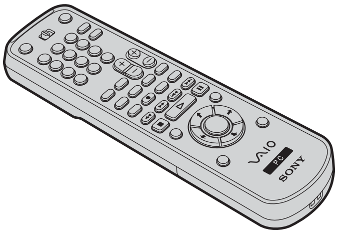
❑ **VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）**

❑ **その他パンフレット類**

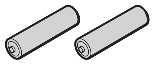
「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデルをお使いの方へ

PCV-JX11GBP/JX11GNをお買い求めの方は、左記のほかに以下のものが付属しています。

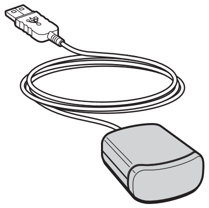
❑ **リモコン（1）**



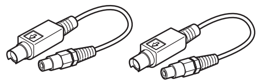
❑ **単3乾電池（2）**



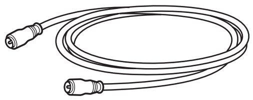
❑ **リモコン用受光ユニット（1）**



❑ **ビデオ接続用変換コネクタ（2）**



❑ **アンテナ接続ケーブル（1）**



❑ **「Giga Pocket はじめにお読みください」（1）**

❑ **「Giga Pocket」取扱説明書（1）**

各部のなまえ

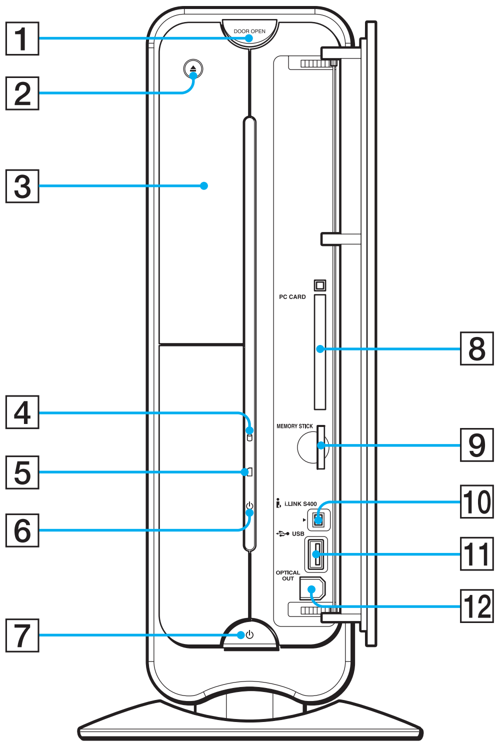
PCV-JX11GBP/JX11GNをお使いの場合、後面とリモコン各部のなまえについては、別冊の「Giga Pocketはじめにお読みください」をご覧ください。

ここでは、本機の各部のなまえについて紹介します。各部のなまえとはたらきについて詳しくは、(　)内のページおよび「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[各部の説明]をクリックして表示される情報をご覧ください。「サイバーサポート」の見かたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(130ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

イラストは、PCV-JX11BPのものです。実際のものと多少異なる場合があります。

前面



1 DOOR OPENボタン (34ページ、192ページ)

2 CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブのイジェクトボタン(211ページ)

3 CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブ (本書では、ディスクドライブと略します。)

4 アクセスランプ

5 MEMORY STICK (メモリースティック)アクセスランプ

6 電源ランプ(47ページ)

7 (電源)ボタン(47ページ)

8 PC CARD(PCカード)スロット (193ページ)

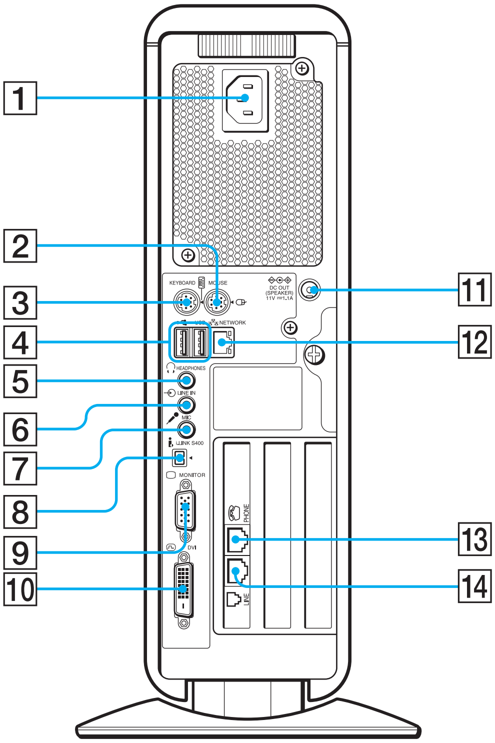
9 MEMORY STICK (メモリースティック)スロット

10 i.LINK S400コネクタ(4ピン) (182ページ)

11 USB(Universal Serial Bus) コネクタ(187ページ)

12 OPTICAL OUT(光デジタル出力) コネクタ(190ページ)

後面



1 AC INPUT（AC電源入力）プラグ（45ページ）

2 MOUSE（マウス）コネクタ（39ページ）

3 KEYBOARD（キーボード）コネクタ（39ページ）

4 USB（Universal Serial Bus）コネクタ（187ページ）

5 HEADPHONES（ヘッドホン）コネクタ（38ページ）

6 LINE IN（ライン入力）コネクタ

7 MIC（マイクロホン）コネクタ

8 i.LINK S400コネクタ（4ピン）（182ページ）

9 MONITOR（モニタ）コネクタ（37ページ）

10 DVI（ディーブイアイ）コネクタ（37ページ）

11 DC OUT（SPEAKER）アクティブスピーカー電源コネクタ（38ページ）

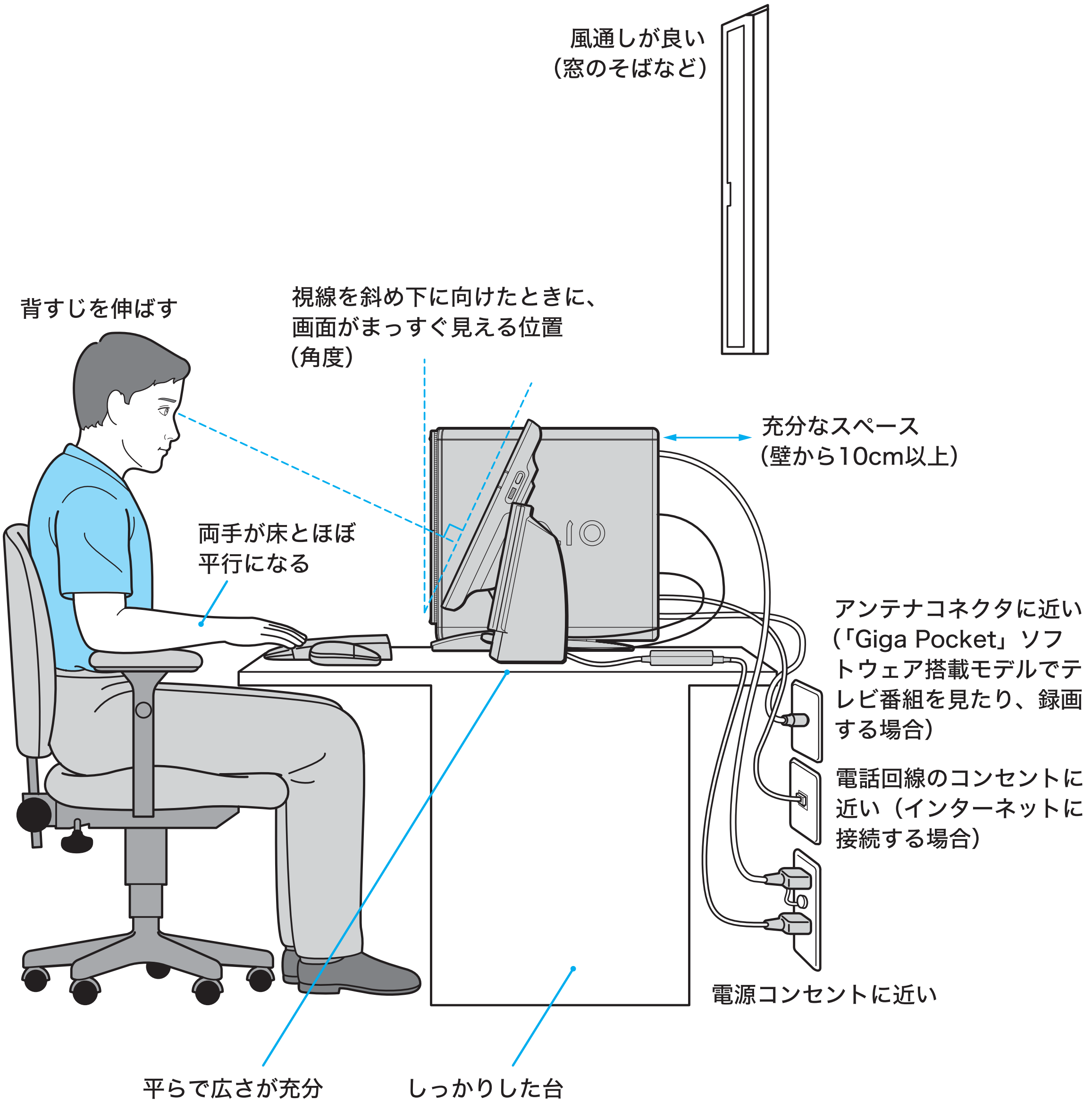
12 NETWORK（ネットワーク）コネクタ（189ページ）

13 PHONE（電話機）ジャック（41ページ）

14 LINE（電話回線）ジャック（42ページ）

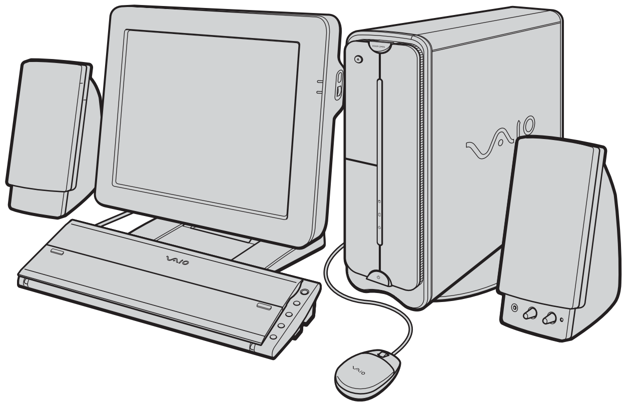
設置する

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。



設置のしかた

付属のスタンドを使って縦置きにして設置します。



本機にスタンドを取り付けるには

付属のスタンドを次の手順に従って本機の底面に取り付けてください。

1) 本機底面を上にして置く。

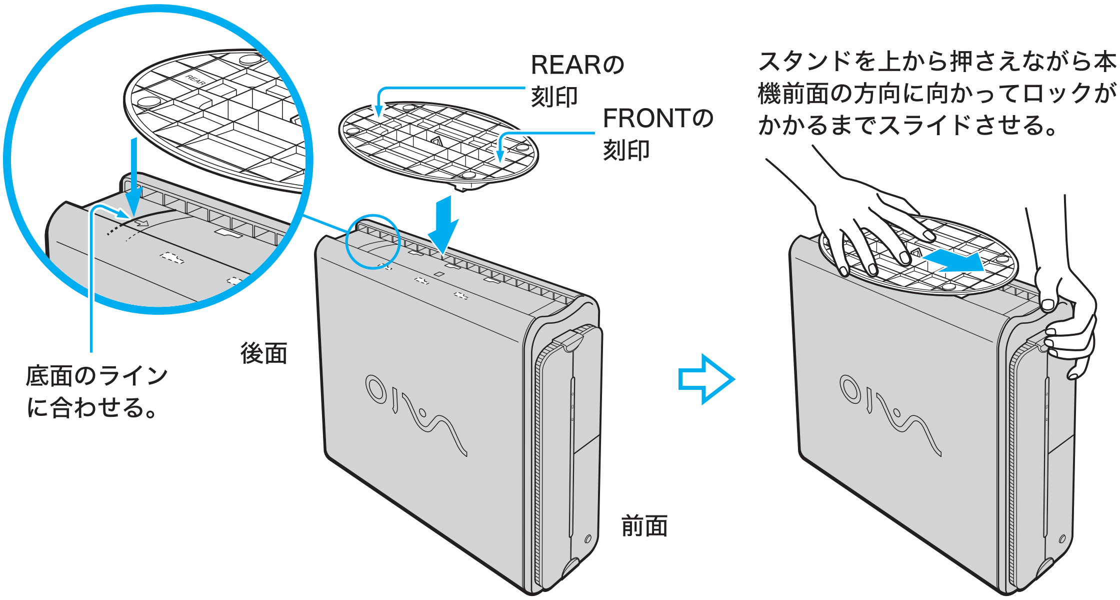
ご注意

本機のカバーに傷がつかないようにご注意ください。

2) スタンドをREAR（リア）の刻印を目印に本機底面の後側にあるラインに合わせる。

3) スタンドを上から押さえながら本機前面の方向に向かってロックがかかるまでスライドさせる。このとき、本機がすべらないように手で押さえる。

スタンドの突起が、底面の溝にしっかりと取り付けられたかどうか確認し、取り付け後は本機に衝撃を与えないように設置してください。



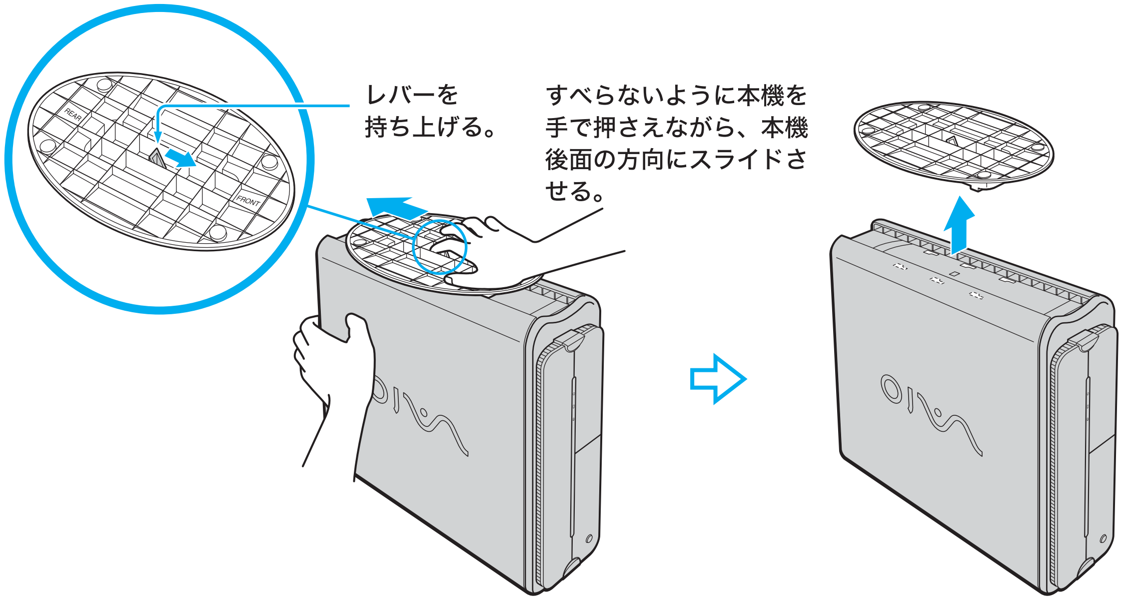
ご注意

- 本機を設置するときは必ずスタンドをご使用ください。スタンドを使わないと、空気取り入れ口がふさがれて本機内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- スタンドを設置するときは、本体が安定するところに置き、作業を行ってください。本体が倒れてしまうと破損や怪我の恐れがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- 本機の底面に対してスタンドが水平になるように取り付けてください。

本機からスタンドを取りはずすには

スタンド底面の真ん中にあるレバーをFRONT（フロント）側に持ち上げ、ロックをはずしながら、本機後面の方向にスライドさせる。

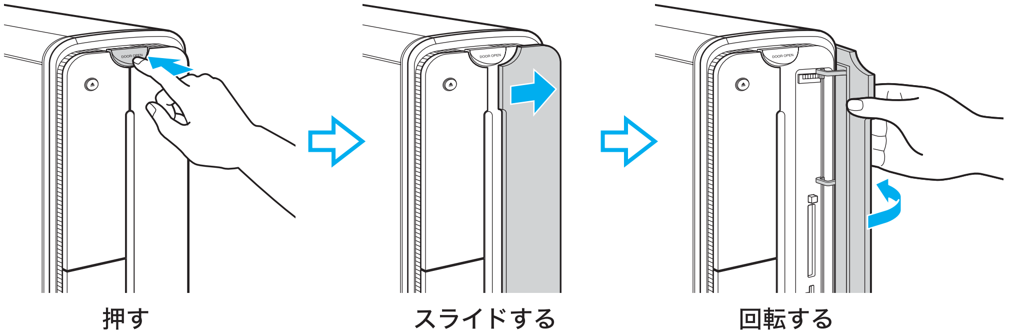
スタンドを取りはずす際は、本機がすべらないように本機後面を押さえて取りはずしてください。



本機の前面パネルを開けるには

本機前面のDOOR OPENボタンを押してください。

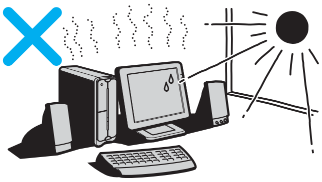
ロックがはずれますので手でフロントパネルを開けてください。



設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

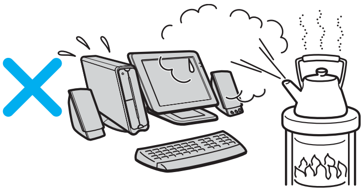
- ❑ 直射日光が当たる場所



- ❑ ほこりが多い場所

- ❑ 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く

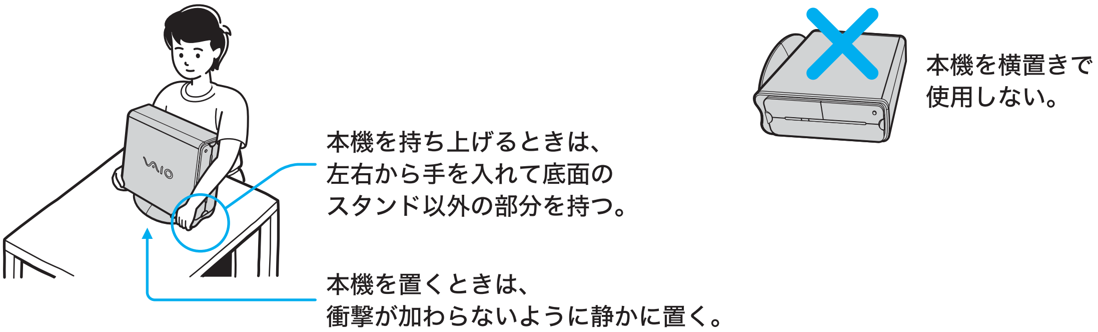
- ❑ 湿気が多い場所



- ❑ 暖房器具の近くなど、温度が高い場所

- ❑ 風通しが悪い場所

設置時のご注意



故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  ハードディスクは、ちょっとした衝撃や振動でも故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

このほかにも、設置の際の安全上の注意事項が8ページから記載されています。そちらもあわせてご覧ください。

接続する/準備する

PCV-JX11GBP/JX11GNをお使いの方は、別冊の「Giga Pocket はじめにお読みください」をご覧になり、リモコンやアンテナなどの準備も行ってください。

ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード、電源コードを以下の手順に従って接続します。

接続する前に

本機は、お買い求めになった機種によって、接続のしかたが異なります。

お買い求めになった機種名を確認し、その機種に合った接続手順を下記の表で確認してから、接続を行ってください。

機種名	手順	参照先
全機種	1ディスプレイを接続する 2アクティブスピーカーを接続する 3キーボードとマウスを接続する 4電話回線に接続する	本書 36ページ 38ページ 39ページ 41ページ
PCV-JX11GBP/JX11GNのみ	5リモコン用受光ユニットを接続する 6リモコンを準備する 7アンテナを接続する 8ビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーを接続する*	Giga Pocket はじめにお読みください 8ページ 9ページ 10ページ 12ページ
全機種	9電源コードを接続する	本書 45ページ

*ビデオデッキを接続するには、別売りのケーブルが必要となります。

ちょっと一言

特に記載のない場合、イラストはPCV-JX11BPのものです。

1 ディスプレイを接続する。

ご注意

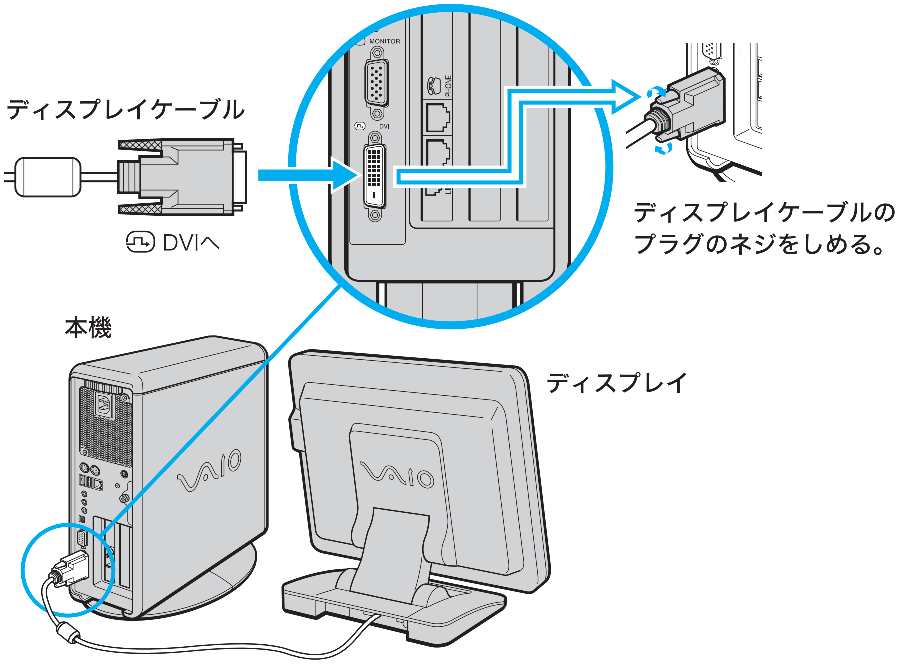
- 本機のDVI(ディーブイアイ)コネクタに接続できるTFT液晶デジタルディスプレイは、PCVD-17SD1とPCVD-15XD6のみです。
- MONITOR(モニタ)コネクタまたはDVI(ディーブイアイ)コネクタのいずれかにディスプレイを接続してください。
両方のコネクタにディスプレイを接続しないでください。
- 電源を入れたまま、ケーブル類をはずすと、ハードディスクなどの故障の原因となります。

•TFT液晶デジタルディスプレイを接続する場合

ディスプレイケーブルのプラグをDVI（ディーブイアイ）コネクタへ接続します。

ちょっと一言

イラストのTFT液晶デジタルディスプレイはPCVD-15XD6です。

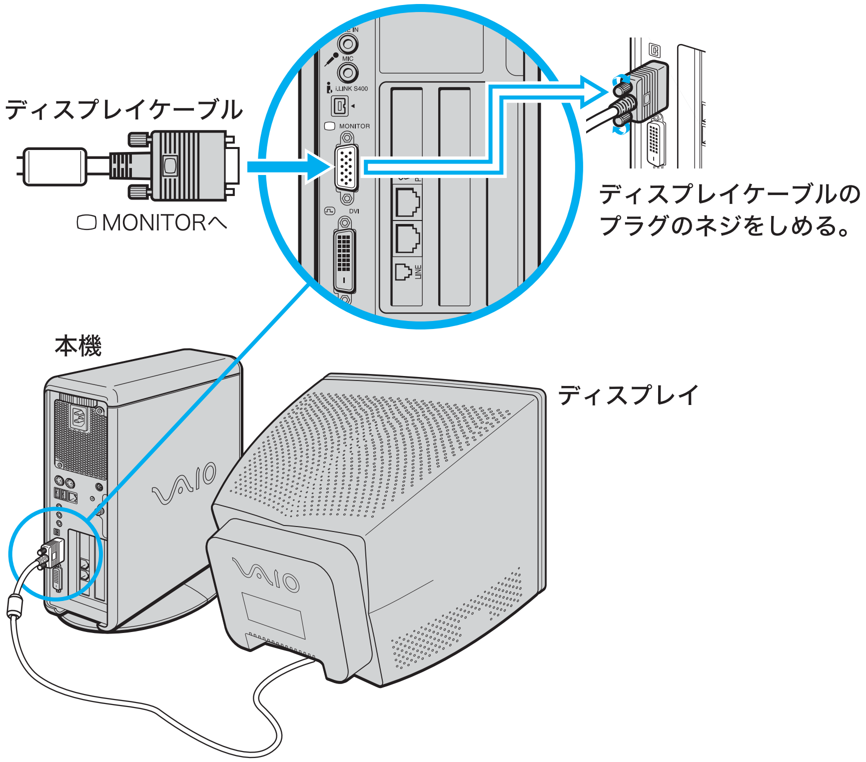


•ソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイを接続する場合

ディスプレイケーブルのプラグをMONITOR（モニタ）コネクタへ接続します。

ちょっと一言

イラストのソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイはPCVD-A202です。

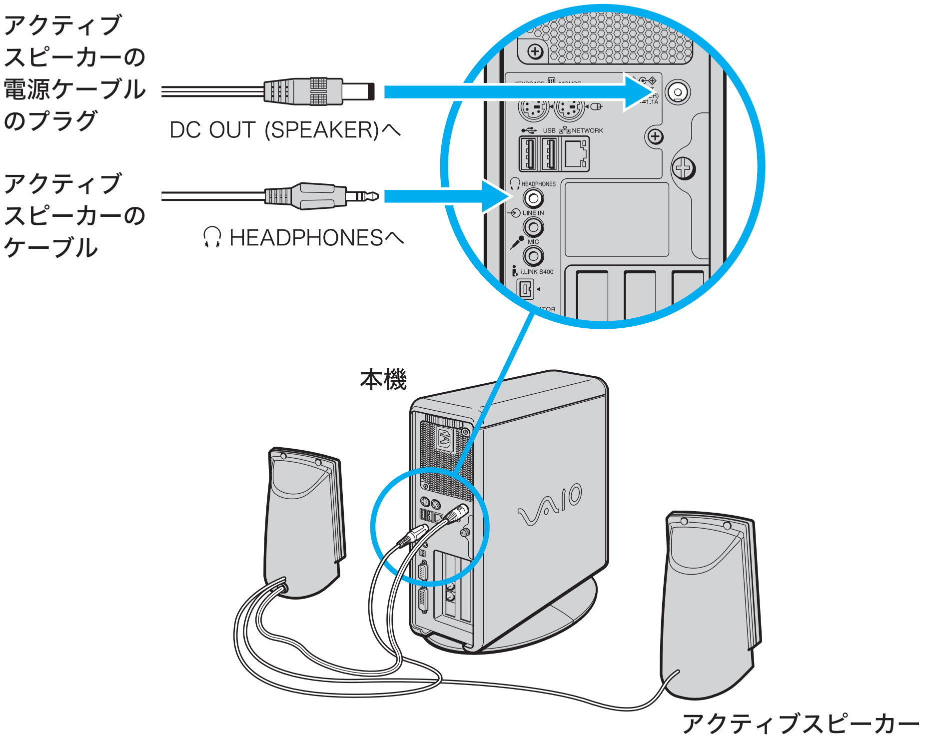


2 アクティブスピーカーを接続する。

ちょっと一言

付属のアクティブスピーカーの電源は、本機後面のアクティブスピーカー電源コネクタから供給されるため、ACアダプタなどを使って電源コンセントに接続する必要はありません。

1. **付属のアクティブスピーカーのケーブルのプラグを、HEADPHONES（ヘッドホン）コネクタへ接続します。**
2. **付属のアクティブスピーカーの電源ケーブルのプラグを、本機のアクティブスピーカー電源コネクタに接続します。**



ご注意

- ヘッドホンと付属のアクティブスピーカーは、同じHEADPHONES（ヘッドホン）コネクタに接続するため、同時に使用できません。
- 本機に付属しているスピーカー以外の製品は接続しないでください。
- 本機の電源が入っているときは、ケーブル類の抜き差しは行わないでください。

ちょっと一言

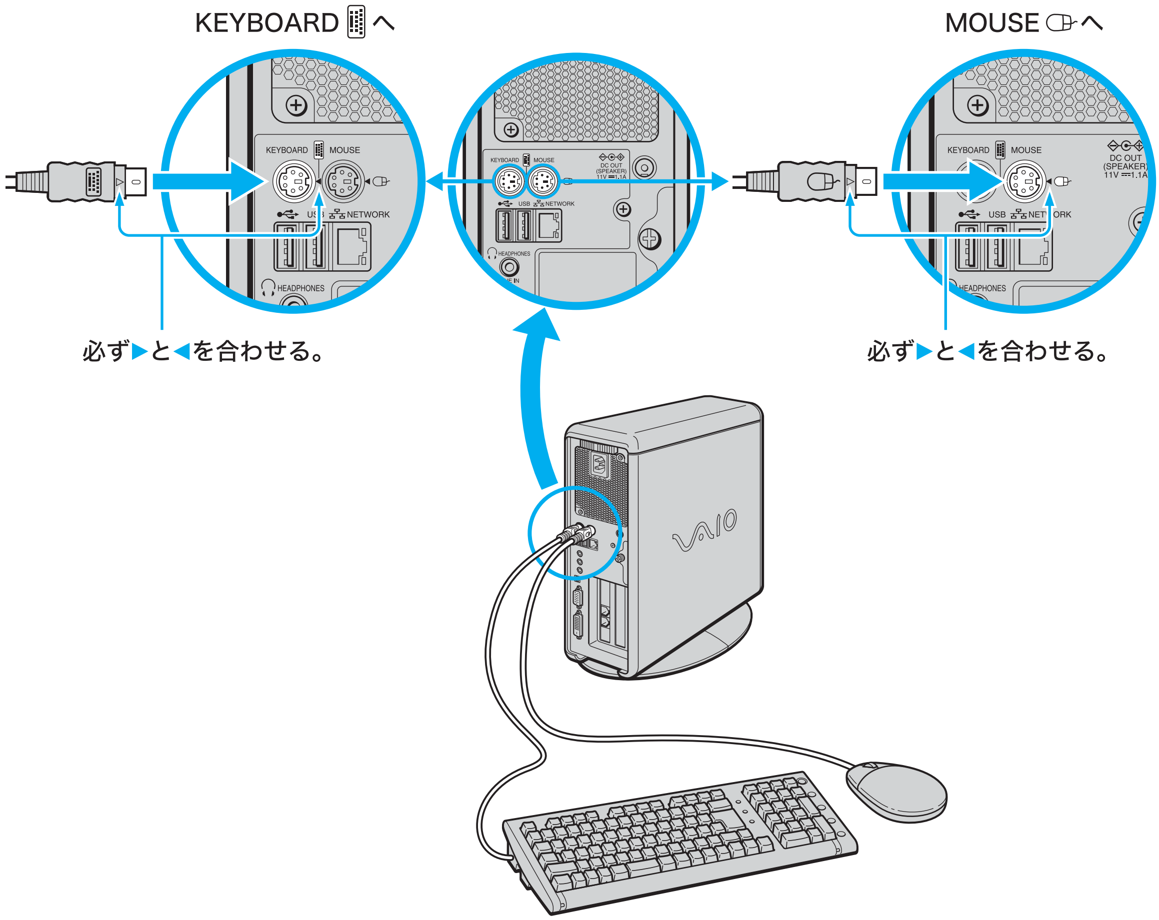
ヘッドホンを接続する場合は、付属のアクティブスピーカーのヘッドホンコネクタに接続してください。ヘッドホンを付属のアクティブスピーカーに接続すると、アクティブスピーカーから音が出なくなります。

3 キーボードとマウスを接続する。

キーボードとマウスのコネクタの位置を確認し、以下のイラストのようにそれぞれのコネクタの▶と本機後面の◀を合わせて接続します。

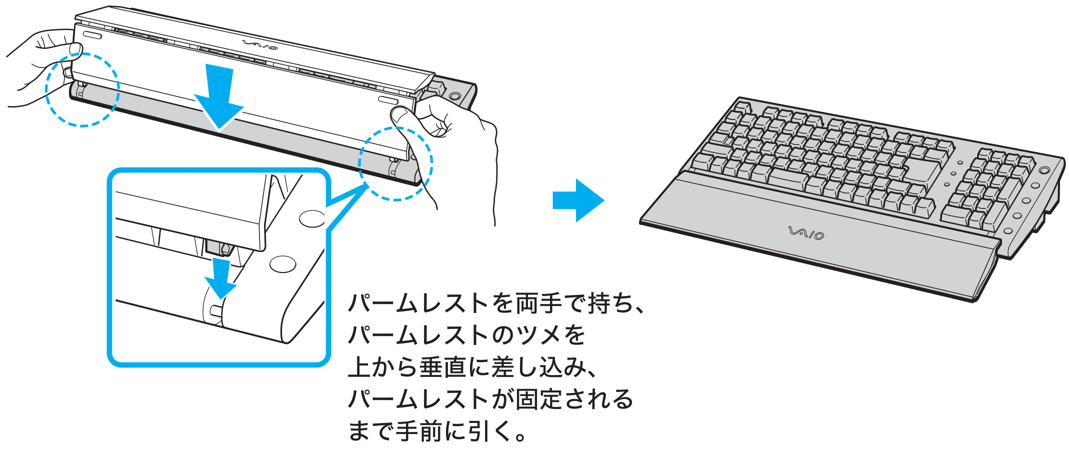
ご注意

コネクタの位置が間違っていたり、逆向きに接続すると、破損の原因となりますのでご注意ください。

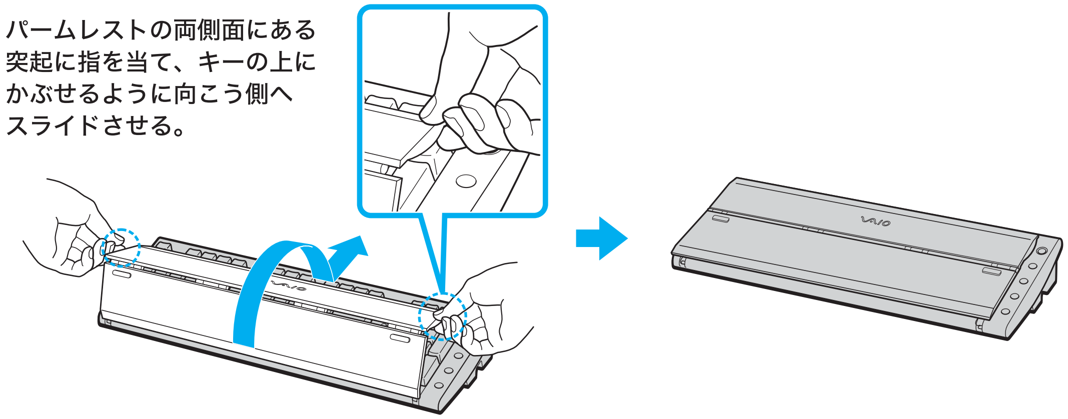


キーボードにパームレストを取り付けるには

パームレストを取り付けると、キーボードを使うとき手首に負担がかかりにくくなります。

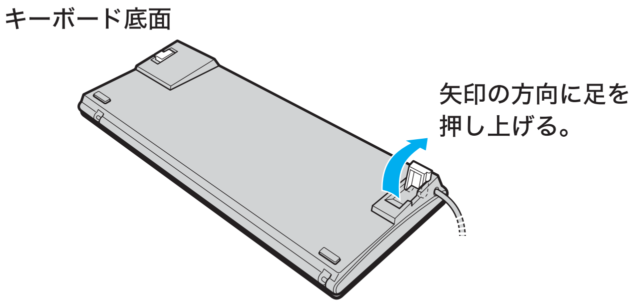


パームレストはキーボードを使わないときにキーボードのふたとしても使うことができます。



キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。



4 電話回線に接続する。

インターネットに接続するなどデータ通信をするときは、付属のテレホンコードを使って本機を電話回線につなぎます。
インターネットへの接続について詳しくは、「インターネットを始める」（79ページ）をご覧ください。

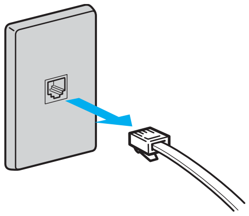
ちょっと一言

電話機を接続しない場合は、手順①②を行う必要はありません。手順③で本機を電話回線に接続してください。

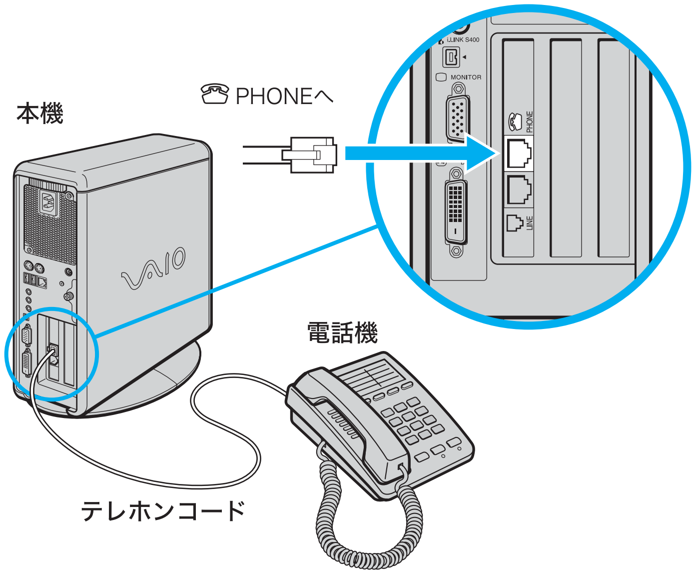
ご注意

誤ったつなぎかたは故障の原因となります。よく確認して正しくつないでください。

① お使いの電話機のテレホンコードを電話回線のモジュラジャックからはずす。



② ①ではずしたテレホンコードを本機のPHONE（電話機）ジャックにカチッと音がするまで差し込む。

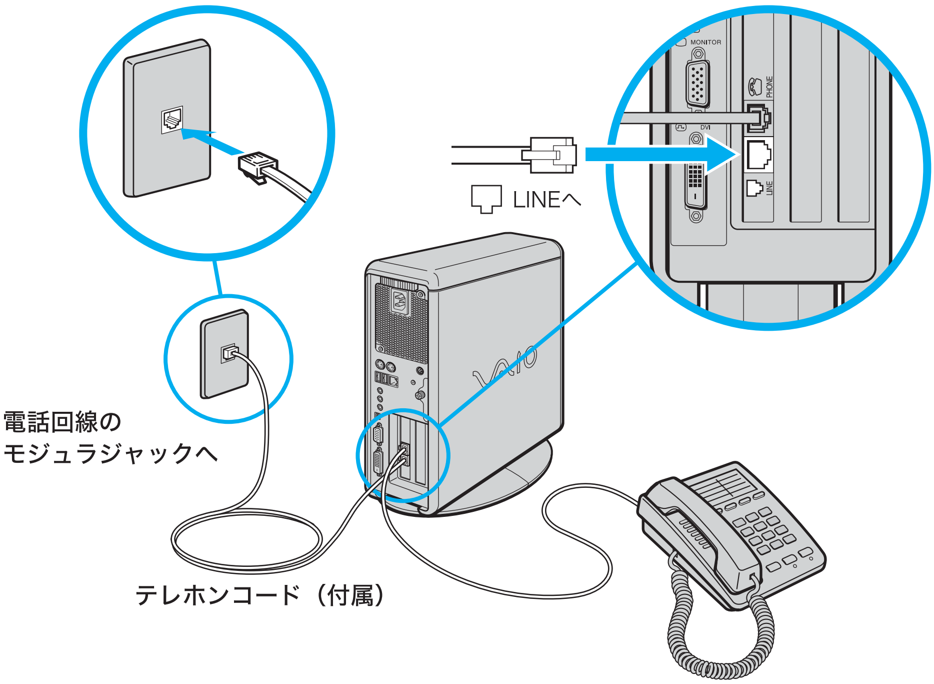


ご注意

テレホンコードは本機後面のNETWORK（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

接続する／準備する

3 付属のテレホンコードの一方を本機のLINE(電話回線)ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込む。

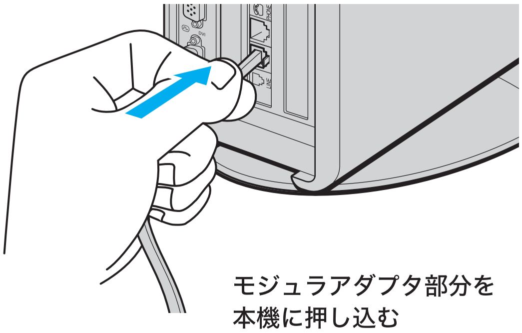


ちょっと一言

電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードに合わないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[電話回線のコンセントの種類]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

本機からテレホンコードを取りはずすには

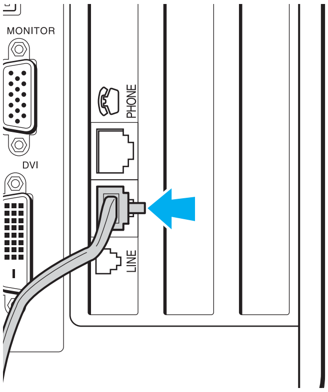
1 PHONE(電話機)ジャックまたはLINE(電話回線)ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。



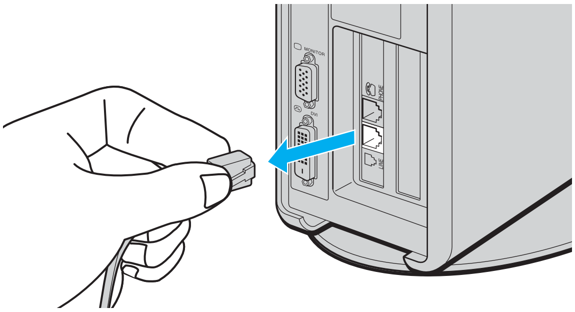
モジュラアダプタ部分を
本機に押し込む

2 モジュラアダプタのロックを押し上げ、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

この部分のロックを
押しながらつかむ



3 ロックを押しながら、斜め左方向に引き抜く。

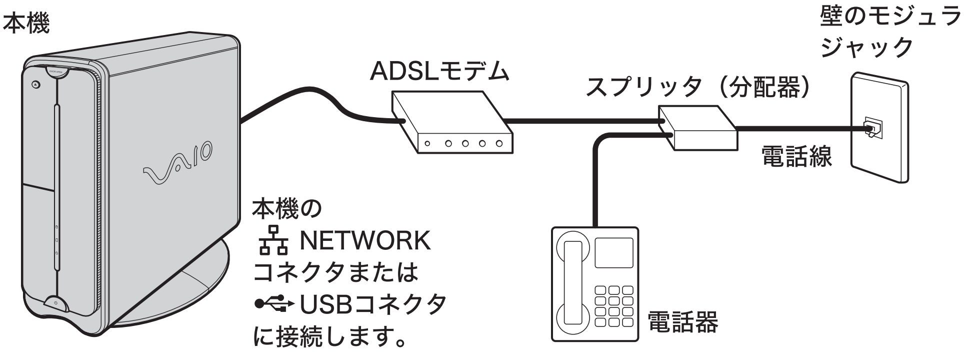


ADSLにつなぐときは

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。

接続についての設定は、「ADSLでインターネットに接続するには」(104ページ)をご覧ください。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。



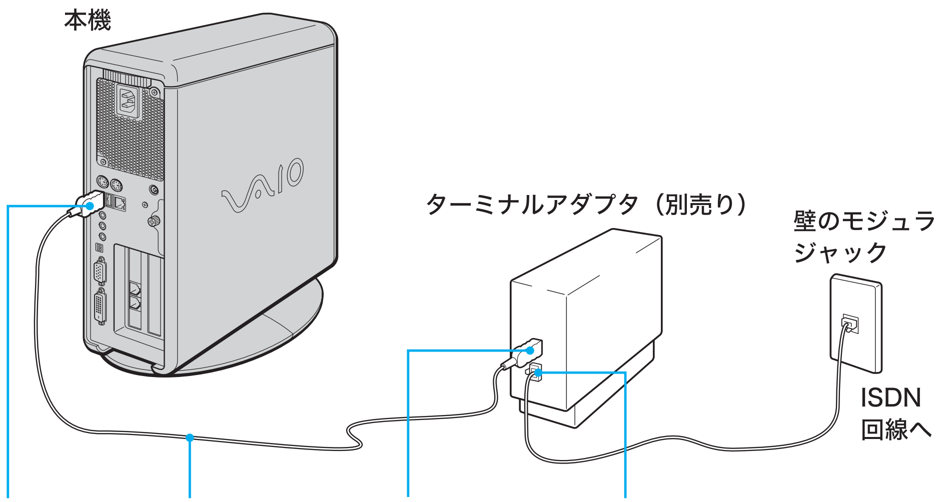
ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ADSL接続業者にお問い合わせください。

ISDN回線につなぐときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他に「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

インターネットに接続するときは、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。



ちょっと一言

PCV-JX11GBP/JX11GNをお使いの方は、別冊の「Giga Pocket はじめにお読みください」をご覧になり、引き続きリモコンやアンテナなどの準備を行ってください。

5 電源コードを接続する。

本機およびディスプレイを電源コンセントに接続します。

ご注意

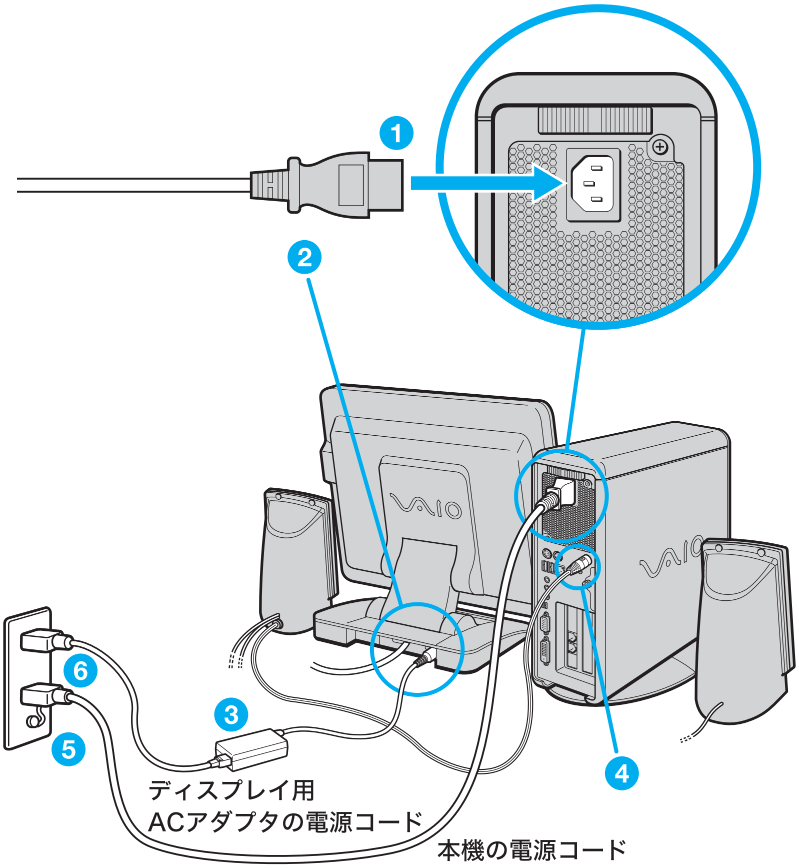
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。

TFT液晶デジタルディスプレイをお使いの場合

ちょっと一言

イラストのTFT液晶デジタルディスプレイはPCVD-15XD6です。

1. **付属の電源コードのプラグ（3ピン）を本機に差し込む。**
2. **ディスプレイ用ACアダプタのプラグをディスプレイに接続する。**
3. **ディスプレイ用ACアダプタに、ディスプレイ付属の電源コードを差し込む。**
4. **アクティブスピーカーの電源プラグが、本機後面のアクティブスピーカー電源コネクタに接続されていることを確認する。**
5. **本機の電源コードのアースを接続する。**
6. **本機およびディスプレイ用ACアダプタの電源コードのプラグを、壁の電源コンセントに差し込む。**

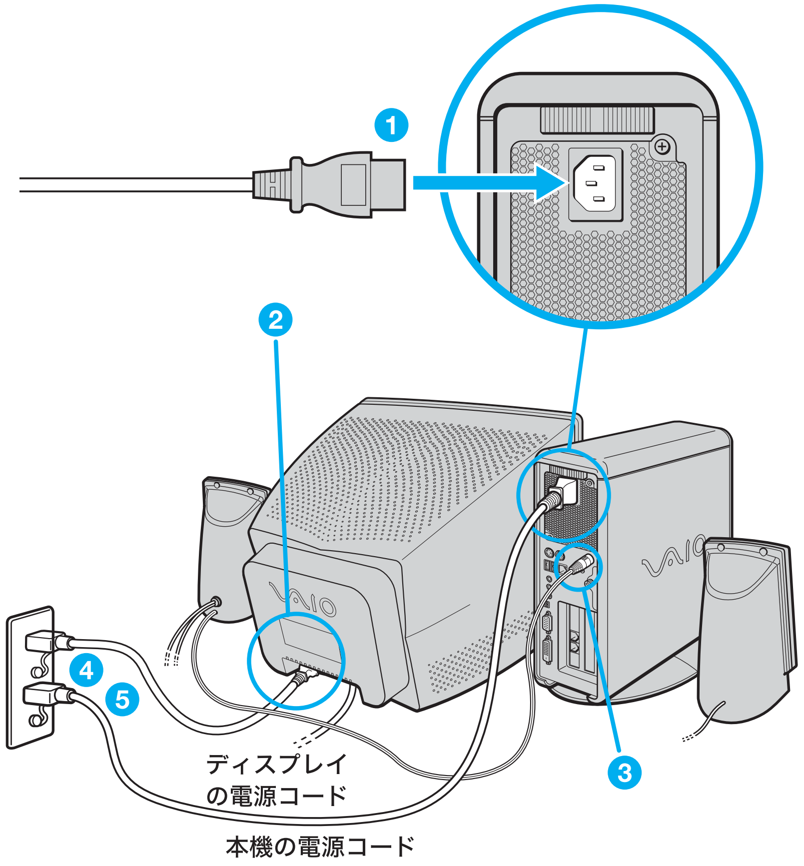


ソニートリニトロンカラーディスプレイをお使いの場合

ちょっと一言

イラストのソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイはPCVD-A202です。

1. **付属の電源コードのプラグ(3ピン)を本機に差し込む。**
2. **ディスプレイ付属の電源コードをディスプレイに接続する。**
3. **アクティブスピーカーの電源プラグが、本機後面のアクティブスピーカー電源コネクタに接続されていることを確認する。**
4. **本機およびディスプレイの電源コードのアースを接続する。**
5. **本機およびディスプレイの電源プラグを壁の電源コンセントに差し込む。**

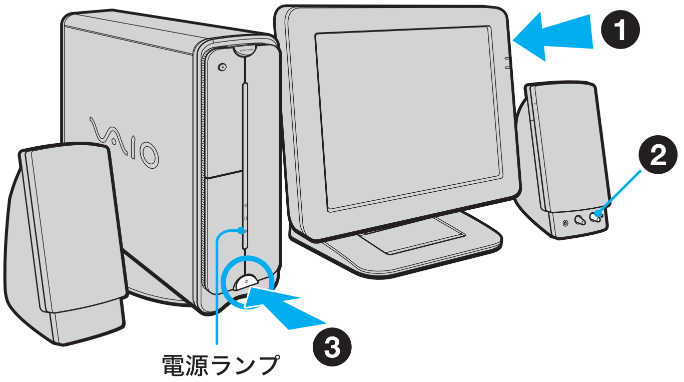


電源を入れる

ディスプレイ、本機の順に電源を入れる。

1. **ディスプレイの電源ボタンを軽く押してはなす。**
2. **スピーカーの音量つまみであらかじめ音量を小さくする。**
3. **本機の⏻（電源）ボタンを軽く押す。**

   電源が入ると、電源ランプが緑色に点灯します。



ちょっと一言

アクティブスピーカーが適切な音量になっているか確認してください。スピーカーの音量はスピーカーの音量つまみで調節します。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。「Windowsを準備する」（48ページ）の手順に従って、Windowsの準備を行ってください。

2回目以降に電源を入れたときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Windowsを準備する

本機をお使いいただくために、最初のステップとしてWindowsの準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある→(次へ)をクリックする。

ちょっと一言

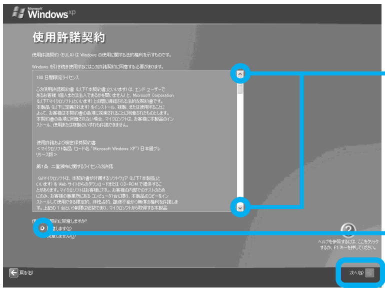
マウスの使いかたについて詳しくは、「マウスの操作」(58ページ)をご覧ください。

Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の◯をクリックして◉にし、→(次へ)をクリックする。

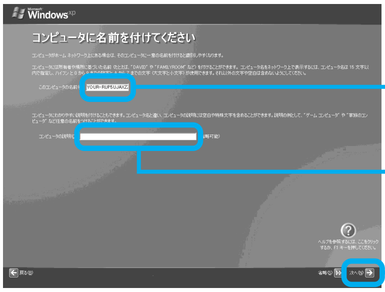


ここをクリックすると、文章が上下に移動する。

1. [同意します]をクリックする。
◯が◉になる。[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。
2. ここをクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、→(次へ)をクリックする。



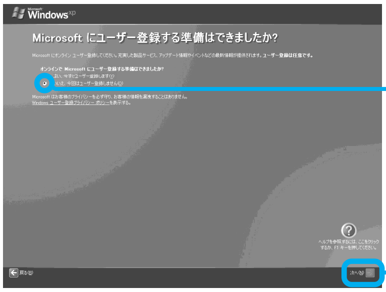
1. 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。
2. コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。
3. ここをクリックする。

「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されます。

4 「インターネット接続が選択されませんでした」画面右下の➡(次へ)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

5 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の◯をクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

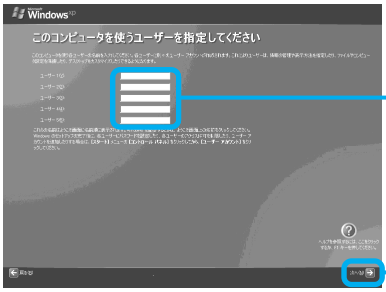


❶ ここをクリックする。
◯が◉になる。

❷ ここをクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

6 ユーザーの名前を入力し、➡(次へ)をクリックする。



❶ ここに名前を入力する。

❷ ここをクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ちょっと一言

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]をクリックし、[パソコンを家族で使う]をクリックして表示される情報をご覧ください。

7 画面右下の➡(完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

PCV-JX11GBP/JX11GNをお使いの方は、別冊の「Giga Pocket はじめにお読みください」の「テレビを見る準備をする」(14ページ)をご覧になり、引き続きテレビを見るための設定を行ってください。

ご注意

- ホームページを見たり、電子メールをやりとりするためには、さらにインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」(79ページ)をご覧ください。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。
  Windowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- 本機に付属のリカバリディスクに入っているOS(Operating System（オペレーティング システム）)以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
  本機のOSはMicrosoft® Windows® XP Home Edition*です。
  * 本書では、WindowsまたはWindows XPと略します。

OS(Operating System)とは

コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。

- 本機は、お買い上げ時に、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
  また、付属のリカバリディスクで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。

「電源を切る」(53ページ)からは、お好みに合わせて操作してください。

- ❑ **電源を切りたい(53ページ)**
- ❑ **コンピュータの基本操作について知りたい(56ページ)**
- ❑ **カスタマー登録したい(68ページ)**
- ❑ **インターネットに接続したい(79ページ)**
- ❑ **周辺機器の接続や拡張をしたい(182ページ)**

困ったときの解決方法を知りたいときは

「困ったときは」(137ページ)をご覧いただくか、「サイバーサポート」をご覧ください。使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(130ページ)をご覧ください。

複数ユーザーで使用する

本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには

本機では、設定したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

2名以上の複数ユーザーを設定するには、はじめて本機をお使いになる際のWindowsのセットアップ画面で設定することができます。

Windowsのセットアップについて詳しくは、「Windowsを準備する」（48ページ）をご覧ください。

Windowsのセットアップ完了後にユーザーを追加したり、変更したりするには、デスクトップ画面左下の をクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面で行います。詳しくは「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

ユーザーアカウントの種類について

本機では、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権限とアクセス許可が必要となり、ユーザーを設定する際にユーザーアカウントの種類を選びます。

ユーザーアカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があります。

	コンピュータの管理者	制限付きアカウント
プログラムとハードウェアをインストールする	√	
システム全体の変更を行なう	√	
個人ファイル以外のすべてのファイルにアクセスして読み取る	√	
ユーザー アカウントを作成または削除する	√	
ほかのユーザーのアカウントを変更する	√	
自分のアカウントの名前または種類を変更する	√	
自分の画像を変更する	√	√
自分のパスワードを作成、変更、または削除する	√	√

「コンピュータの管理者」を選ぶと

ユーザーアカウントの追加や変更、システムの変更など、Windowsのすべての設定が可能になります。

「制限付きアカウント」を選ぶと

自分の画像の変更や、パスワードの変更など一部の設定のみ変更することができます。また、ソフトウェアがインストールできない、起動できない、または機能の一部が使用できない、などのように動作が制限されることがあります。この場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権限を与える設定にして作業をやり直してください。

ユーザーアカウントについて詳しくは、デスクトップ画面左下の をクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

複数のユーザーを設定している際の「ユーザー切り替え」について

複数のユーザーを設定して本機をお使いの場合、ユーザーを切り替えるときは、起動しているソフトウェアをいったん終了させてからユーザーを切り替えてください。

「ヘルプとサポートセンター」について

「ヘルプとサポートセンター」は、WindowsやVAIOの使いかた、FAQ(よくある質問とその回答)の検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、表示されるメニューから[ヘルプとサポート]をクリックする。

「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。

1 ナビゲーションバー

よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。

ここからVAIOマニュアル「CyberSupport」を起動することもできます。

2 検索

WindowsやVAIOで調べたいことをキーワード検索できます。

3 Windows XPのヘルプ

WindowsやVAIOの使いかたやFAQ(よくある質問とその回答)をご覧になれます。

4 VAIOの情報はこちら

VAIOマニュアル「CyberSupport」や、VAIOカスタマーリンクのホームページなどを見ることができます。「CyberSupport」の使いかたについて詳しくは「「サイバーサポート」の使いかた」(130ページ)をご覧ください。

5 サポートツール

困ったとき、設定を変更したいとき、Windowsの操作を学習するときなどに役に立つソフトウェアを起動したり、関連する情報を見ることができます。

6 最新サポート情報

WindowsやVAIOの最新サポート情報を見ることができます。

ちょっと一言

「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(79ページ)をご覧ください。

電源を切る

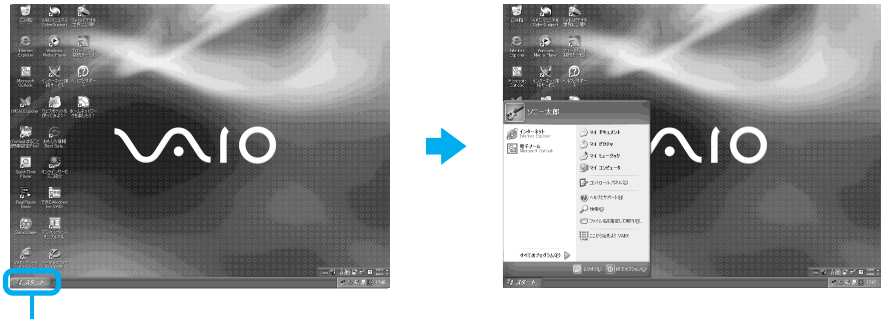
本機を使う準備が終わったところで、いったん電源を切ってみます。

ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因になることがあります。⏻(電源)ボタンを4秒以上押すと、電源が切れることがありますが、⏻(電源)ボタンを押して電源を切らないでください。

1 ディスプレイ画面左下の スタート をクリックする。

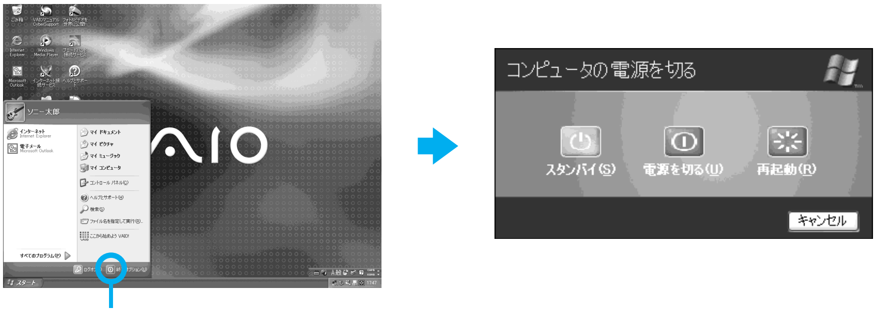
「スタート」メニューが表示されます。



ここをクリックする。

2 [終了オプション]をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。



ここをクリックする。

3 [電源を切る]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

ここをクリックする。

ちょっと一言

ソニー製のコンピューターディスプレイをお使いのときは、手順3で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。

4 ディスプレイの電源ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

ご注意

「Windowsを準備する」の手順6で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。

さらにいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび「サイバーサポート」をご覧ください。

コンピュータの基本操作

この章では、本機を使うための基本的な操作を説明します。

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき

本機の電源を入れた後、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。
「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

デスクトップ画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。

■デスクトップアイコン

1 ごみ箱
いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱の中に残っています。ごみ箱について詳しくは、「ファイルやフォルダを削除する」をご覧ください。

2 Internet Explorer
インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

3 VAIOマニュアル CyberSupport
VAIOの使いかたや楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。使いかたについて詳しくは「「サイバーサポート」の使いかた」をご覧ください。

4 インターネット接続サービス
インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ）と契約（オンラインサインアップ）します。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

5 できるWindows for VAIO
Windowsの使いかたを説明しています。

6 ヘルプとサポート
Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

7 各ソフトウェアのショートカット類
左隅に が付いたアイコンが各種あります。これらは簡単にソフトウェアを起動するためにデスクトップ画面上に置かれたものです。

8 タスクバー

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく3領域があり、それぞれ［スタート］ボタン、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域（タスクトレイ）に分かれます。

［スタート］ボタン
ここをマウスでクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

ウィンドウのボタン表示
使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。
デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

通知領域(タスクトレイ)
本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindowsの機能がここに表示されます。
アイコンが表示されていないときは をクリックすると表示されます。

■「スタート」メニュー

スタート をクリックすると「スタート」メニューが表示されます。
「スタート」メニューの左側には、最近使用したフォルダやソフトウェアのアイコンが表示されます。

⑨ ユーザー名

現在コンピュータを使用しているユーザーの名前が表示されます。

⑩ インターネット

インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⑪ 電子メール

電子メールをやりとりするときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⑫ マイドキュメント

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイドキュメントは、マイコンピュータの中にあるC:ドライブの中のものと同じです。

⑬ マイピクチャ

デジタル写真、イメージ、グラフィックなどを保管しておくフォルダが開きます。

⑭ マイミュージック

ミュージックファイルやオーディオファイルを保管しておくフォルダが開きます。

⑮ マイコンピュータ

ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

⑯ コントロールパネル

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。

⑰ ヘルプとサポート

Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

⑱ 検索

作成した文書や画像を探したり、インターネットなどで情報を検索するときに使います。

⑲ ファイル名を指定して実行...

作成した文書や画像を指定することでソフトウェアを起動することができます。また、参照(B)... をクリックすると作成した文書や画像を探し出せます。

⑳ ここから始めよう VAIO！

ソニー製ソフトウェアを起動するときに使います。

㉑ すべてのプログラム

本機に付属しているさまざまなソフトウェアを起動するときに使います。

㉒ ログオフ

本機を使用するユーザーを切り換えるときに使います。

㉓ 終了オプション

スタンバイ状態にするとき、電源を切るとき、再起動するときに使います。

ご注意

デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。

Winsowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

アイコンとは

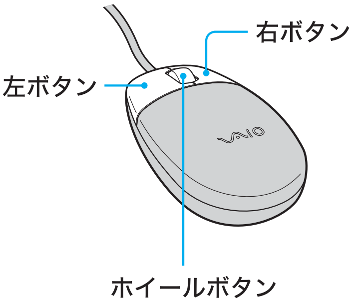
画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

ウィンドウとは

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」などを選んでクリックしたとき、デスクトップ画面に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

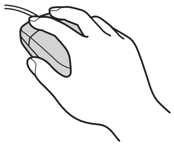
マウスの操作

マウスの各部のなまえとはたらき



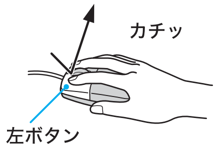
マウスの持ちかた

マウスは強く握ったり、押しつけたりせず、手のひらを軽く乗せるようにします。また、ボタンをクリックしやすいように、指先をボタンに乗せてください。



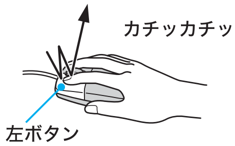
クリックする

左ボタンをカチッと1回押してすぐ離します。
ウィンドウを閉じたり、タスクバーでソフトウェアを選ぶときなどに行います。



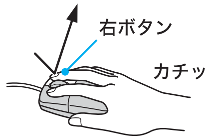
ダブルクリックする

左ボタンをカチカチッと2回すばやく押してすぐ離します。
画面上のアイコンからソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときなどに行います。



右クリックする

右ボタンを1回押してすぐ離します。
ショートカットメニューが表示されます。

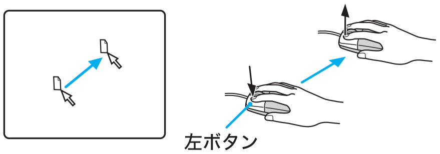


ドラッグする

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かしてからボタンを離します。

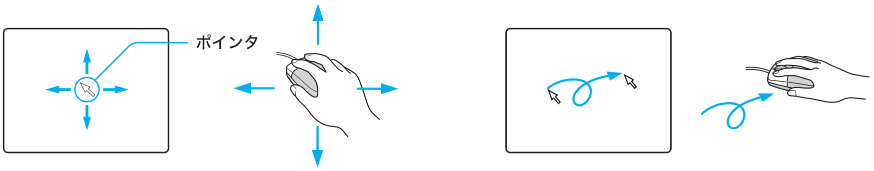
ドラッグアンドドロップする

文書や画像などをドラッグして、フォルダやソフトウェアのアイコンやウィンドウなどの上でマウスのボタンを離します。
ファイルをごみ箱アイコンに重ねて削除したりするときに行います。



マウスを動かすときは

マウスを動かすと、その動きに合わせてデスクトップ画面上の（ポインタ）も同じ方向に移動します。机の上など平らな場所に置き、滑らせるように動かします。マウスを動かすときは、腕全体を使うようにします。



ポインタとは

マウスを動かすと、画面上に表示されているが動きます。この矢印を「ポインタ」と言い、ポインタを希望の位置に合わせることを「ポイントする」と言います。

ポインタが見つからないときは

マウスを1度持ち上げて、机の上で動かしてください。

練習1：マウスの操作

❶ **デスクトップ画面上の（VAIOマニュアル CyberSupport）をダブルクリックしてみましょう。**

❷ **画面上部にある[できるWindows]をクリックし、左側の目次をクリックして、見たい情報を表示させてみましょう。**

（VAIO マニュアル CyberSupport）が見つからないときは

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘルプとサポート センター」画面から[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックします。
画面上部の[できるWindows]をクリックしてください。

（VAIO マニュアル CyberSupport）とは？

VAIOマニュアル「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」（以降「サイバーサポート」と略します）はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。

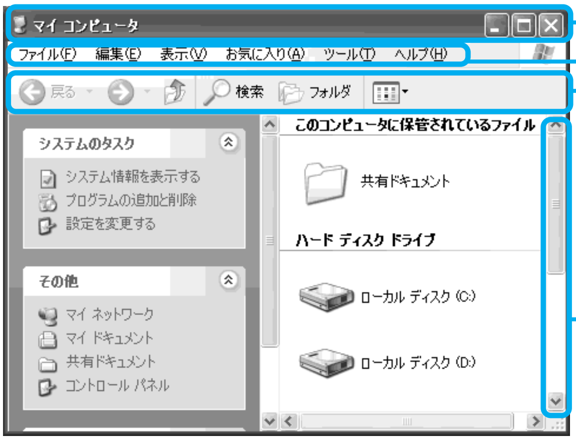
ウィンドウやファイルの操作

Windowsのウィンドウやファイルの操作説明については、「できるWindows」で詳しく説明されています。「できるWindows」をご覧になるには、「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]をクリックします。

ウィンドウの使いかた

「ウィンドウ」とは、Windowsでさまざまな操作をするときの画面のことです。

ウィンドウの各部のなまえとはたらき



タイトルバー
ウィンドウのなまえを表示します。

メニューバー
ウィンドウの中にある各装置を利用したり、内容を変更したりするときに使う機能が一列になって配置されます。

ツールバー
メニューバーと同様のはたらきをしますが、特によく使う機能がアイコン表示されます。

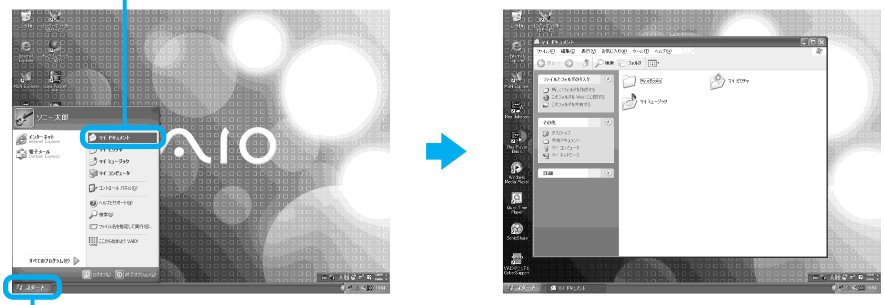
スクロールバー
ウィンドウの中にたくさんのフォルダなどがあって1度に表示できない場合に表示されます。このバーにポインタを合わせて上下に動かすか、上下の ^ v をクリックすると、隠れているフォルダなどを表示できます。

ウィンドウを開く

ここでは、[マイドキュメント]画面の開きかたを説明します。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、マウスを動かして、ポインタを［マイドキュメント］の上に合わせ、クリックします。

❷ ここをクリックする。



❶ ここをクリックする。

複数のウィンドウの操作

ウィンドウは2つ以上同時に開くこともできます。

複数のウィンドウを切り替えるには、使いたいウィンドウを最前面に表示させます。

マウスを動かし、タイトルバーなど、切り替えたいウィンドウのいずれかの部分をクリックします。

ちょっと一言

最前面に表示されているウィンドウは、タイトルバーが濃い色になります。この最前面に表示されているウィンドウのことを「アクティブなウィンドウ」と言います。

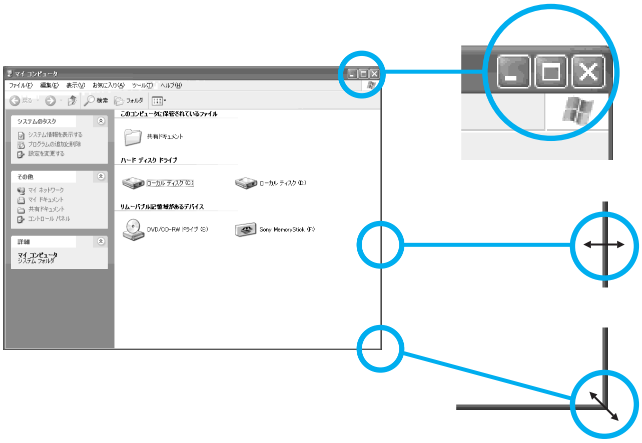
タスクバーを使って複数のウィンドウを切り替えるには

マウスを動かし、タスクバーに表示されているウィンドウのボタンの中から、切り替えたいウィンドウのボタンにポインタを合わせ、クリックします。

ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウ右上のボタンをクリックして、サイズを変えることができます。

ウィンドウのサイズを自由に変えるには、ウィンドウの角や辺にポインタを合わせます。マウスの左ボタンを押したまま、大きくしたいときは外側に、小さくしたいときは内側にマウスを動かします。



右上のボタン

- 最小化
  ウィンドウをデスクトップ画面下のタスクバーに収納します。
- 最大化
  ウィンドウをデスクトップ画面いっぱいに広げて表示します。
  最大化すると、□ が 🗗（元に戻す）と表示されます。
- 閉じる
  ウィンドウを閉じます。

最大化したウィンドウを元に戻すには

🗗（元に戻す）ボタンをクリックすると、最大化する前のサイズに戻ります。

最小化したウィンドウを元に戻すには

タスクバーの中に収納されたボタンクリックすると、最小化する前のサイズに戻ります。

「閉じる」と「最小化」の違い

ウィンドウを閉じると、そのウィンドウはデスクトップ画面から消えます。ウィンドウを最小化すると、そのウィンドウはデスクトップ画面からは見えなくなりますが、タスクバーにボタンとして残ります。ウィンドウを一時的に見えなくするときは、「最小化」のほうが便利です。

練習2：ウィンドウの操作

❶ 「練習1：マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面で、ウィンドウのサイズを変える練習をしてみましょう。

❷ 「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。

❸ 2つのウィンドウを切り替えたり、ウィンドウのサイズを変える練習をしてみましょう。

ファイルやフォルダの操作

ファイルを作る

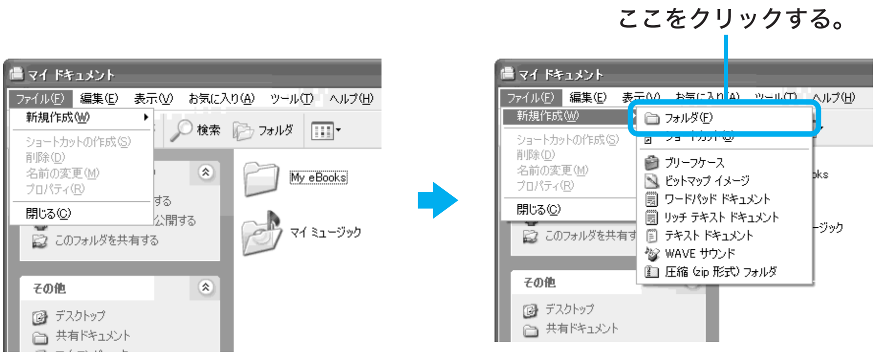
「ファイル」とは、保存された文書や画像のことです。

「ワードパッド」ソフトウェアなどで作成したファイルは、特に指定しない限り、(マイドキュメント)に保存されます。それぞれのファイルはのようにアイコンとして表示されます。ファイルを開くときは、アイコンをダブルクリックします。

フォルダを作る

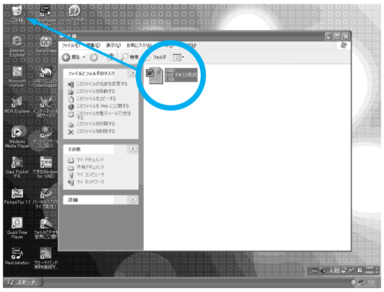
「手紙」フォルダや「画像」フォルダのように、「フォルダ」を作成して、種類や用途別に名前を付けてファイルを保存しておくと便利です。フォルダは、として表示されます。

「マイドキュメント」ウィンドウの中に新しいフォルダを作る場合は、「マイドキュメント」画面のメニューバーの[ファイル]をクリックし、表示されるメニューから[新規作成]、[フォルダ]の順にクリックします。



ファイルやフォルダを削除する

削除したいファイルやフォルダにポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押したまま、（ごみ箱）までマウスを移動して（ごみ箱）に重ね、マウスの左ボタンを離します（ドラッグアンドドロップ）。



ちょっと一言

削除したいファイルやフォルダを右クリックして、表示されるメニューから「削除」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選んでも、削除することができます。

（ごみ箱）を空にするには

（ごみ箱）に移動したファイルなどは、（ごみ箱）から取り出すことができます。完全に削除するには、（ごみ箱）をダブルクリックして、「ごみ箱」画面で「ごみ箱を空にする」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選びます。

ごみ箱のアイコンが（紙くずあり）から（紙くずなし）に変わります。

練習3：ファイルやフォルダの操作

❶「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。

❷ フォルダを作ったり、「ワードパッド」などのソフトウェアからファイルを作ってみましょう。

❸ ファイルやフォルダを「ごみ箱」に移動して削除してみましょう。

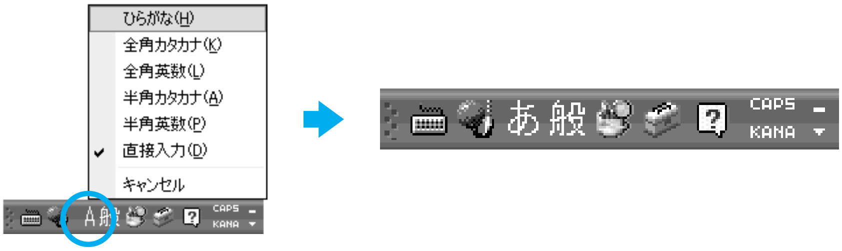
文字の入力

文字の入力について詳しくは、「できるWindows」で詳しく説明されています。「できるWindows」をご覧になるには、「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]をクリックします。

入力する文字を選ぶ

入力したい文字に応じて、デスクトップ画面右下に表示されている「MS-IMEツールバー」を使って、入力文字を切り替えます。

MS-IMEツールバーの[A]にポインタを合わせてクリックし、表示される文字入力選択メニューから、入力文字を選びます。



MS-IME ツールバーが表示されていないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある JP をクリックします。表示されたMS-IMEメニューの中の[言語バーの表示]をクリックします。
MS-IMEツールバーについて詳しくは、MS-IMEのヘルプをご覧ください。

ひらがなを入力するには

MS-IMEのツールバーの[A]をクリックして、[ひらがな]をクリックします。
ツールバーの表示が[あ]になり、ひらがなが入力できる状態になります。

カタカナを入力するには

MS-IMEのツールバーの[あ]をクリックして、[全角カタカナ]をクリックします。
ツールバーの表示が[カ]になり、カタカナが入力できる状態になります。

アルファベットを入力するには

MS-IMEのツールバーの[カ]をクリックして、[直接入力]をクリックします。
ツールバーの表示が[A]になり、アルファベットが入力できる状態になります。

入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。
お好みに合わせて、入力方法を選んでください。
なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

❑ ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。1 文字を入力するために 2 つまたは 3 つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどうですが、英文タイプライターに慣れている方はこちらが便利です。

❑ かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。1 文字につき 1 つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50 音それぞれのキーの配置を覚える必要があります。

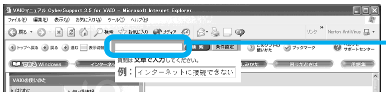
かな入力とローマ字入力を切り替えるには

MS-IMEツールバーの[KANA]をクリックするか、Ctrl(コントロール)キーを押しながらCaps Lock 英数(キャプス・ロック/英数)キーを押すと、ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

練習4:文字の入力

「練習1:マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面上部の[検索]欄に文字を入力してみましょう。
ここでは「マウス」と入力してみます。

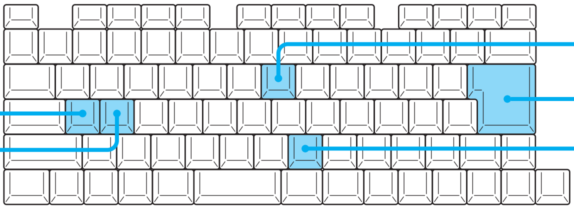
❶ [検索]欄にポインタを合わせて、クリックします。



❷ MS-IMEのツールバーから[全角カタカナ]を選びます。

❸ ローマ字入力の方法で、「マウス(MAUSU)」とキーボード上のアルファベットを入力します。

❹ Enter(エンター)キーを押します。



これで「マウス」と入力できました。

検索をクリックすると、「マウス」に関する情報が表示されます。

「できるWindows XP for VAIO」の使いかた

「できるWindows XP for VAIO」は、Windowsの基本的な使いかたを解説した電子マニュアルです。Windowsの使いかたについて詳しくは、「できるWindows XP for VAIO」をご覧ください。

❶ デスクトップ画面上の（VAIOマニュアルCyberSupport）をダブルクリックする。

「サイバーサポート」画面が表示されます。

❷ 「サイバーサポート」画面上部の できるWindows をクリックする。

ここをクリックする。

「できるWindows XP for VAIO」が表示されます。

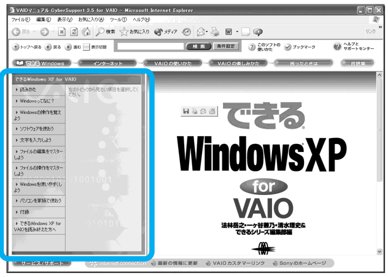
ちょっと一言

デスクトップ画面上の（できるWindows for VAIO）をダブルクリックしても、「できるWindows XP for VAIO」を表示できます。

「できるWindows XP for VAIO」の画面の見かた

「できるWindows XP for VAIO」画面左側の目次から、表示したい項目をクリックします。

表示したい項目をクリックする。



「できるWindows XP for VAIO」では、以下のような内容を説明しています。

- マウスの使いかた
- ソフトウェアの起動方法
- ウィンドウの操作方法
- 文字の入力方法
- ファイルの操作方法

カスタマー登録する／インターネットに接続する

この章では、オンラインでカスタマー登録する手順と
インターネット接続サービスへのオンライン入会手順を
説明します。

カスタマー登録する

ここでは、オンラインでカスタマー登録する手順を説明します。

VAIOカスタマーご登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクからお買い上げ日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします。（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません。）なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（228ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先

ソニーマーケティング株式会社　VAIOカスタマー専用デスク　電話番号：03-5977-7255

営業時間：月〜金　10：00から18：00まで（土日祝日、年末年始を除く）

VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。

ちょっと一言

- 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入のうえ、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  1. お客様にお知らせした使用目的のために業務を委託する協力会社に開示することがあります。（ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）
  2. 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関に開示することがあります。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で、変更手続きが行えます。

  また、デスクトップ画面左下の

をクリックして［ここから始めようVAIO！］をクリックして表示される画面で、［VAIOカスタマー登録のおすすめ］をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 13才より小さいお子さまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

次の手順を行うには、本機が電話回線につながっている必要があります。「VAIOオンラインカスタマー登録」にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタをつないでください。つなぎかたについては「接続する／準備する」（36ページ）の「ISDN回線につなぐときは」をご覧ください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

ご注意

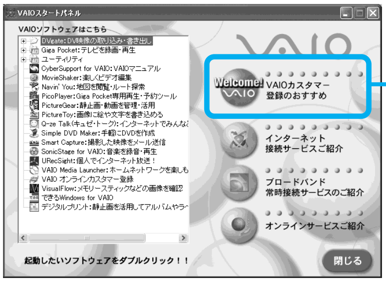
VAIOオンラインカスタマー登録は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ行うことができます。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[ここから始めようVAIO！]をクリックする。

ここをクリックする。

「VAIOスタートパネル」画面が表示されます。

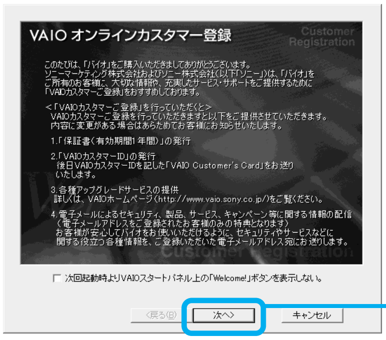
2 「VAIOカスタマー登録のおすすめ」をクリックする。



ここをクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」の画面が表示されます。

3 次へ> をクリックする。



ここをクリックする。

「VAIOカスタマーID VAIOカスタマーパスワード」画面が表示されます。

1つ前の画面が見たいときは

< 戻る(B) をクリックします。

カスタマー登録をしない、または後でするときは

[キャンセル]をクリックして表示される画面で[終了(E)]をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。その後の手順について詳しくは86ページをご覧ください。

4

[次へ>]をクリックする。

「VAIOカスタマーご登録を行っていただくときのご注意」の画面が表示されます。

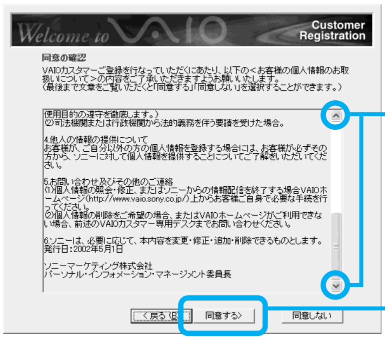
5

[次へ>]をクリックする。

「同意の確認」画面が表示されます。

6

[∨]または[∧]をクリックして、画面に表示された内容をすべて読み、内容に同意するときは[同意する>]をクリックする。



❶ ここをクリックすると文章が上下に移動する。

❷ ［同意する］をクリックする。
［同意しない］をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示され、［終了］をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示される。

「登録種別の選択」画面が表示されます。

7

「新規」の○をクリックして◉にし、[次へ>]をクリックする。

❶ ここをクリックする。

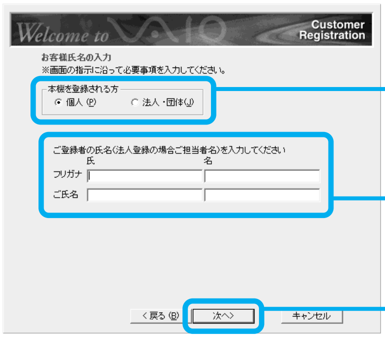
❷ ここをクリックする。

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 本機を含めてバイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。

8 お客様のお名前を漢字で、ふりがなをカタカナで入力し、［次へ>］をクリックする。



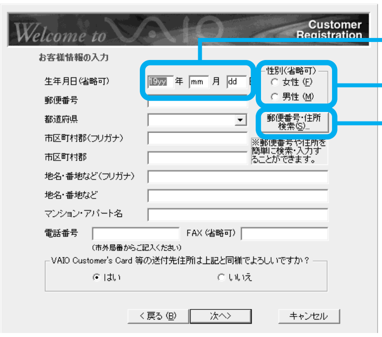
「法人・団体」を選んだときは、法人、団体用の情報を入力する画面が表示される。画面の指示に従って情報を入力してから手順11に進む。

❶ お名前とふりがなを入力する。

❷ ここをクリックする。

「お客様情報の入力」画面が表示されます。

9 生年月日（任意）を入力し、性別（任意）を選び、［郵便番号・住所検索(S)...］をクリックする。



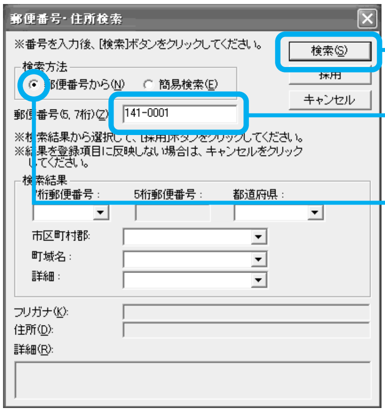
❶ 生年月日を入力する。

❷ 性別を選ぶ。

❸ ここをクリックする。

「郵便番号・住所検索」画面が表示されます。

10 [検索方法]で「郵便番号から」の○をクリックして◉にし、ご自分の郵便番号を入力してから 検索(S) をクリックする。

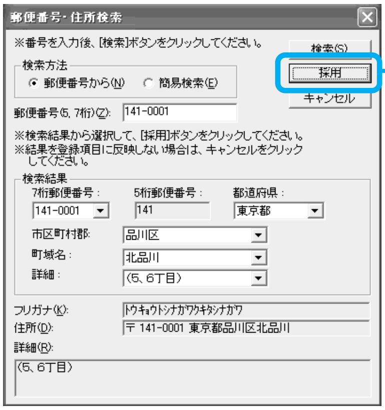


❸ ここをクリックする。

❷ 郵便番号を入力する。
-（ハイフン）は入力しない。

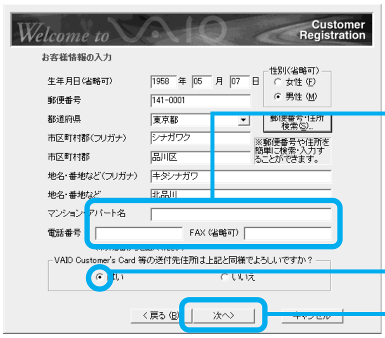
❶［郵便番号から］をクリックする。

自動的に入力された住所を確認し、正しければ 採用 をクリックしてください。
「郵便番号・住所検索」画面が閉じ、郵便番号や住所が自動的に入力されます。



ここをクリックする。

11 残りの空欄を入力し、「VAIO Customer's Card」など送付先が入力した住所でよければ「はい」の○をクリックして◉にし、 次へ> をクリックする。



❶ 地名、番地やマンション、アパート名が必要な場合は入力する。電話番号を入力するときは、-（ハイフン）は入力しない。

❷ ここをクリックする。

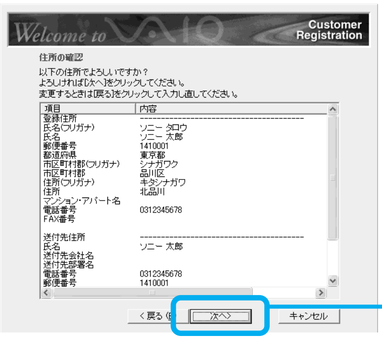
❸ ここをクリックする。

「住所の確認」画面が表示されます。

入力した住所とは別の住所に「VAIO Customer's Card」と保証書などを送付してほしいときは

「いいえ」の◯をクリックして◉にしてください。「VAIO Customer's Card／保証書の送付先」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

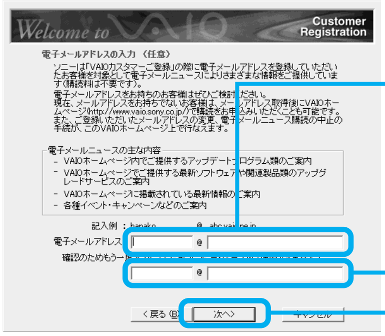
12 住所をご確認のうえで、[次へ>]をクリックする。



ここをクリックする。

「電子メールアドレスの入力（任意）」画面が表示されます。

13 すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、[次へ>]をクリックする。



1 電子メールアドレスを入力する。電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに［次へ］をクリックする。

2 確認のため、もう1度入力する。

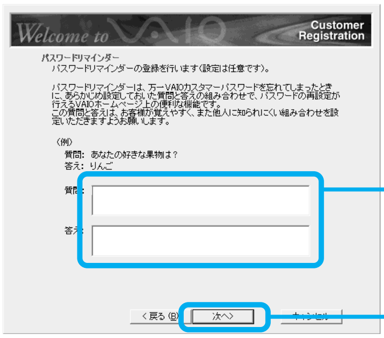
3 ここをクリックする。

「パスワードリマインダー」画面が表示されます。

電子メールアドレスとは

インターネットなどのネットワークを使ってコンピュータ同士でメッセージをやりとりするシステムを電子メール（Eメール）といいます。電子メールアドレスとは、アルファベットや数字で表された電子メールの宛先のことで住所と同じ役割をします。

14 質問と答えを入力し、次へ> をクリックする。



❶ 質問と答えを入力する。質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに［次へ］をクリックする。

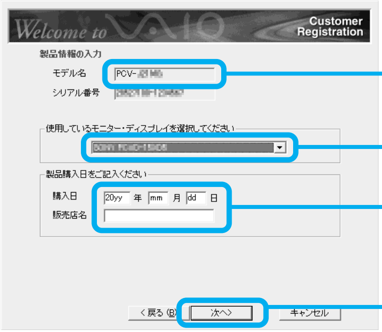
❷ ここをクリックする。

「製品情報の入力」画面が表示されます。

パスワードリマインダーとは

パスワードリマインダーとは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定が行える便利な機能です。

15 本機のモデル名を確認し、使用しているディスプレイを ▼ をクリックして選び、本機の購入日や販売店名を入力し、次へ> をクリックする。



❶ ここがお使いの機種かを確認する。

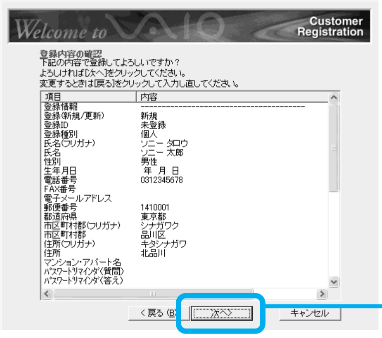
❷ ここをクリックして選ぶ。

❸ ここに入力する。

❹ ここをクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

16 ご登録いただく内容をご確認のうえで、次へ> をクリックする。



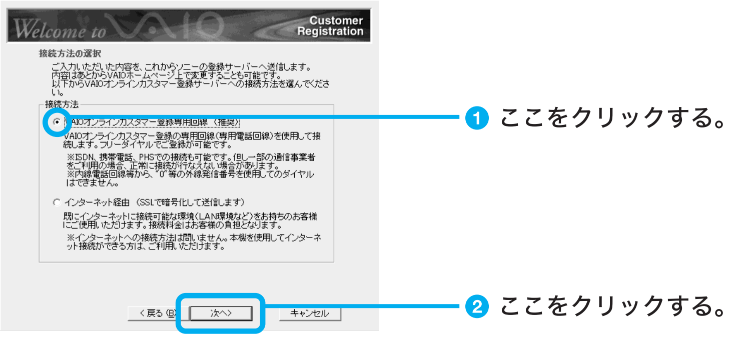
ここをクリックする。

「接続方法の選択」画面が表示されます。

ちょっと一言

登録内容を変更するときは < 戻る(B) をクリックし、変更したい画面まで戻り、入力し直します。

17 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の○をクリックして◉にし、次へ>をクリックする。



「発信方式の設定」画面が表示されます。

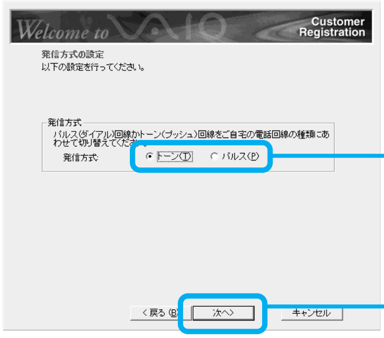
ご注意

- 外線発信（0発信）はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ちょっと一言

- 次へ>をクリックすると、「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、次へ>をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで次へ>をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作して手順19に進んでください。
また、LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

18 お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、[次へ>]をクリックする。



❶ 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式／パルス式ダイヤルを選ぶ。

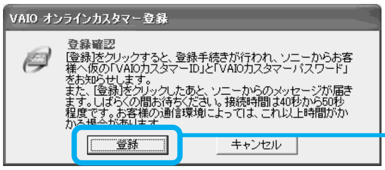
❷ ここをクリックする。

「登録確認」画面が表示されます。

ちょっと一言

トーン式ダイヤルとは：電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
パルス式ダイヤルとは：ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

19 電話回線がつながっていることを確認し、[登録]をクリックする。



ここをクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

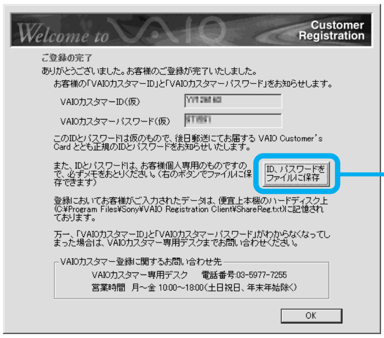
ご注意

ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ちょっと一言

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」や「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。また、次の手順20～21の操作を行い、仮の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」をデータとして保存しておくことをおすすめします。

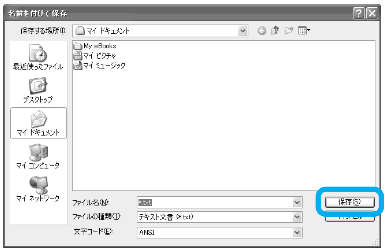
20 [ID、パスワードをファイルに保存]をクリックする。



ここをクリックする。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

21 ファイルに任意の名前を付け、[保存(S)]をクリックする。



ここをクリックする。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

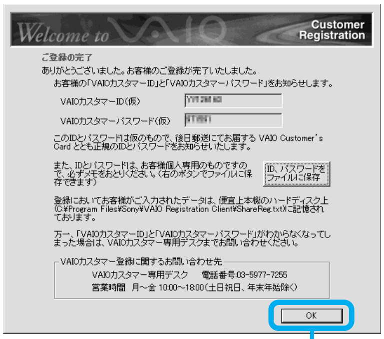
ちょっと一言

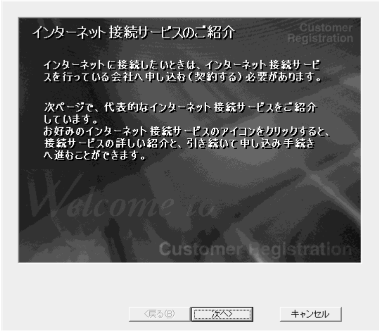
保存されたファイルは、デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックし、[マイドキュメント]をクリックすると表示されます。

お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存され、「ご登録の完了」画面が表示されます。

22 [OK] をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。





ここをクリックする。

ちょっと一言

- [OK] をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ>] をクリックしてください。「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、バイオに関するサービス・サポート情報やVAIOのホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

23 [次へ>] をクリックする。

インターネット接続サービスの紹介画面が表示されます。

インターネットに接続するときは86ページへお進みください。

インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は [キャンセル] をクリックします。

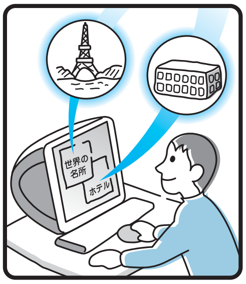
インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとコンピュータとの間を仲介する役割を持っています。インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

インターネットを始める

インターネットとは

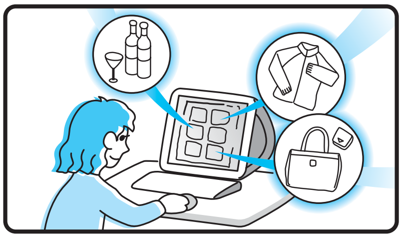
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットを利用するために必要な準備やホームページの見かた、電子メールのやりとりのしかたを説明します。



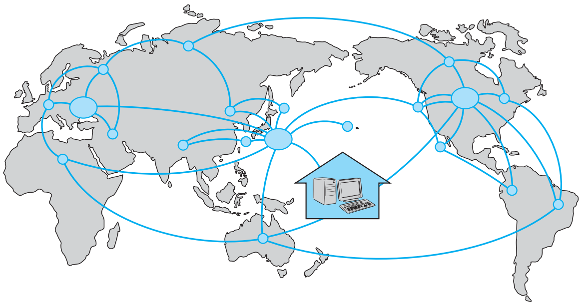
ホームページを見る

・調べたい情報を検索する。
・世界の景色を見る。
・ホテルや乗物の予約をする。
・趣味の仲間をさがす。
・オンラインショッピングをする。

オンラインショッピングをする

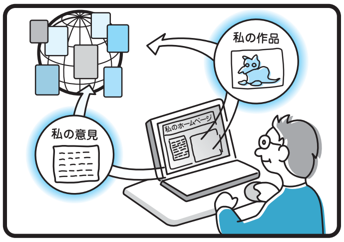


食べ物や衣類など、家に居ながら遠く離れた外国でも行きつけのお店の感覚で買い物ができます。



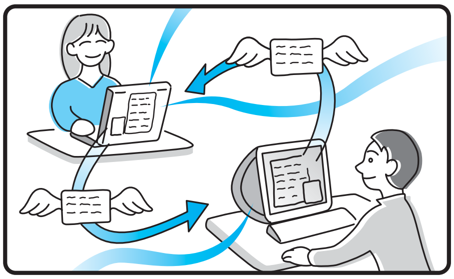
情報を発信する

・自分の意見を発言する。
・趣味の仲間をつのる。
・絵や文芸作品を発表する。
・仕事の広告を出す。



電子メールをやりとりする

電子メールで時差を気にせず世界中の人たちとコミュニケーション。



インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。

また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線とISDN（アイエスディーエヌ）回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。

ISDNとは

NTTのデジタル通信網を使った回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。
ISDN回線をお使いになる場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

ADSLについて

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。
ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

本機からADSL接続サービスの申し込みを行うことができます。デスクトップ画面左下のスタートをクリックし、[ここから始めようVAIO！]、[ブロードバンド常時接続サービスのご紹介]の順にクリックして表示される画面から申し込みを行ってください。

ターミナルアダプタについて

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をISDN回線につなぐための機器です。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他にこの機器が必要になります。ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。一般電話回線に接続する場合、本機にはモデムが内蔵されていますので、準備する必要はありません。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア（「ウェブブラウザ」と言います）が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

Outlook Express

情報管理ソフトウェア（電子メール機能付き）

Microsoft Outlook（Microsoft Office XP 付属モデルのみ）

本書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの楽しみかた］をクリックして、［付属ソフトウェアの一覧］→［コミュニケーション］の順にクリックして表示される各ソフトウェアの情報をご覧ください。

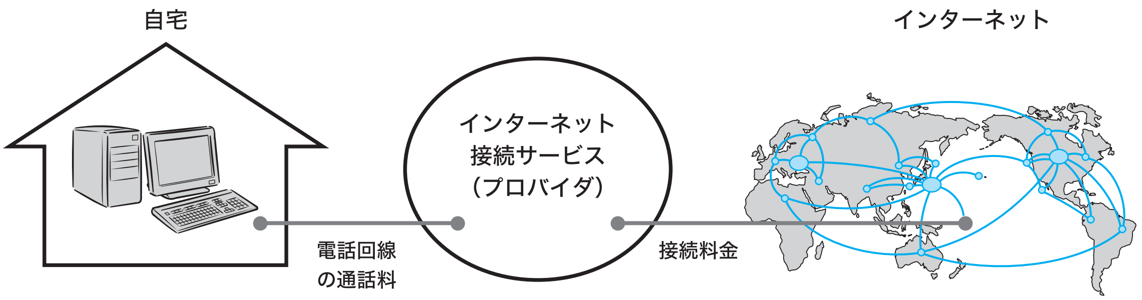
インターネット接続サービス（インターネットサービスプロバイダ：ISP）

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」または単に「プロバイダ」と言います（以下、「プロバイダ」と記します）。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。

プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。



ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上でのトラブルについて

さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

ちょっと一言

コンピュータウイルスについて詳しくは、「コンピュータウイルスについて」（206ページ）をご覧ください。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、インターネットに接続しているコンピュータの情報などが漏れてしまう可能性があります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

OS とは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。
リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使用しているWindowsも代表的なOSの1つです。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼できるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアによっては国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。知らない間に接続してしまい、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人の情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

- 本機が正しく電話回線につながっているか（41ページ）
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか

ISDN回線をご利用の場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

ちょっと一言

イラストは、お使いの機種とは異なる場合があります。

1 プロバイダと契約しましょう（86ページ）

プロバイダと契約します。

契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

2 チェックシートを作成しましょう（90ページ）

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください（88ページ）。

ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

3

接続のための設定をしましょう(95ページ)

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

4

電子メールソフトウェアの設定をしましょう(108ページ)

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。

5

インターネットに接続してみましょう(114ページ)

契約したプロバイダに接続します。

インターネットに接続したあとは

ホームページを見てみましょう(117ページ)

ホームページを見る練習をします。

電子メールをやりとりしてみましょう(124ページ)

電子メールをやりとりする練習をします。

1 プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。

数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。

プロバイダと契約するには、オンラインサインアップを使うと便利です。以下の手順に従って、オンラインサインアップしてください。

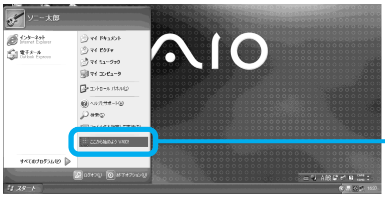
オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。
- オンラインサインアップソフトウェアによっては、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーしか使えない場合があります。どのプロバイダのオンラインサインアップソフトウェアでも使えるように「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

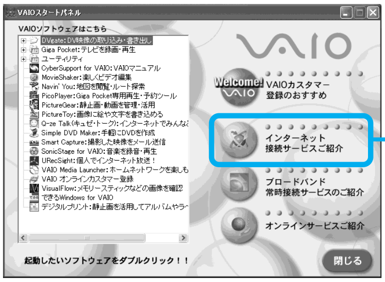
1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[ここから始めようVAIO！]をクリックする。



ここをクリックする。

「VAIOスタートパネル」の画面が表示されます。

2 [インターネット接続サービスご紹介]をクリックする。



ここをクリックする。

「インターネット接続サービス」画面が表示されます。

3　入会したいプロバイダをクリックし、料金やサービス内容を確認したあと、画面の指示に従って操作する。

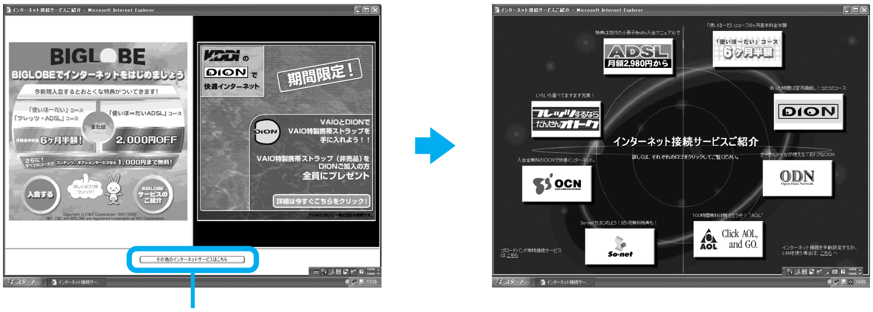
BIGLOBEに入会したい方はこちら

DIONに入会したい方はこちら

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

ちょっと一言

その他のプロバイダにオンラインサインアップしたいときは「インターネット接続サービスご紹介」画面下の、［その他のインターネットサービスはこちら］をクリックしてください。
表示される画面で、お好みのプロバイダを選んで、料金やサービスの内容を確認したあとオンラインサインアップを行ってください。



ここをクリックする。

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの楽しみかた]をクリックして、[付属ソフトウェアの一覧]→[コミュニケーション]→[インターネット接続サービス/ブロードバンド常時接続サービスご紹介]の順にクリックして表示される情報をご覧いただくか、以下の各プロバイダへお問い合わせください。
また、以下のプロバイダ以外と契約するときは、契約するプロバイダにWindowsのユーザー制限についてお問い合わせください。

プロバイダ一覧

名称	お問い合わせ	Windows XP ユーザー権限
AOL	株式会社ドコモAOL　AOLメンバーサポートセンター 会員サポート・入会問い合わせ:0120-275-265(フリーダイヤル) 受付時間:9時～21時(年中無休) 電子メール:AOLjapanMS@aol.com	制限ユーザー以上
BIGLOBE	BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク 電話番号:0120-86-0962(フリーダイヤル)/携帯電話:03-3947-0962 受付時間:24時間365日 電子メール:お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。 http://support.biglobe.ne.jp/ask.html ホームページ:http://support.biglobe.ne.jp/	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
DION	KDDIカスタマーサービスセンター サービス内容に関するお問い合わせ 電話番号:0077-7192(無料) 接続・設定などに関するお問い合わせ 電話番号:0077-20227(有料、全国一律1分10円) 上記番号につながらない場合 札幌:011-232-7012/東京:03-5348-3975(有料) ADSLコースのサービス内容、接続・設定などに関するお問い合わせ 電話番号:0077-7084(無料)	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
@nifty	ニフティ株式会社　@nifty入会センター 電話番号:0120-816-042(フリーダイヤル) 携帯・PHS・国際電話の場合:03-5753-2374 (電話料金はお客様ご負担となります)	制限ユーザー以上
ODN	日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター 電話番号:0088-86(無料 ODNダイヤルアップサービス) 0088-222-375(無料 J-DSLフレッツADSLプラン)	制限ユーザー以上
P'zDialer(ぷらら)	株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイヤル」 入会専用:0120-488912 テクニカル:03-5954-5311	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
So-net	So-netインフォメーションデスク 電話番号:0570-00-1414(全国共通) 携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。 札幌:011-711-3765/仙台:022-256-2221/東京:03-3446-7555 名古屋:052-819-1300/大阪:06-6577-4000/広島:082-286-1286 福岡:092-624-3910 受付時間:10時～21時　年中無休 ファックス番号:03-3446-7557 電子メール:info@so-net.ne.jp ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/access/	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
OCN	OCNインフォメーションデスク 電話番号:0120-047-815(フリーダイヤル) 受付時間:9時～21時(月～金曜日)/9時～17時(土曜日・日曜日・祝日) 電子メール:info@ocn.ad.jp	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
イー・アクセスADSL	イー・アクセス株式会社 電子メール:info@eaccess.net 電話番号:0120-2754-37 受付時間:10時～18時(毎日)	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ

プロバイダとの契約後にインターネット接続を手動で設定する、または LAN（ネットワーク）を使って接続するときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、郵送されてきた資料の設定情報をご覧になり、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右上の ☒ をクリックします。

プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。
すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

2 チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、下記の「チェックシート」をあらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」（95ページ）および「電子メールソフトウェアの設定をする」（108ページ）の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。

次ページの「設定項目について」の説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- このチェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- このチェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、この説明書は大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「❹パスワード（PPP）」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「⓮パスワード（POPアカウントパスワード）」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。（プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります。）

ちょっと一言

- 他人に見られることがないように、このページを複写したうえで各項目を記入し、厳重に保管することをおすすめします。
- 複写した紙に記入しておくと、95ページからの設定を行うときに便利です。

チェックシート

設定項目	あなたの設定値	例（So-netの場合）
❶ダイヤルアップ接続名		So-net東京第16
❷電話番号（アクセスポイント）		03-5792-9060
❸ユーザー名（PPP）		ichiro@aa2
❹パスワード（PPP）		
❺市外局番		03
❻トーン／パルス（電話回線の種類）		
❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）	. . .	202.238.95.24
❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）	. . .	202.238.95.26
❾ 表示名（差出人フィールドでの表示）		Ichiro Suzuki
❿電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⓫受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
⓬送信メール（SMTP）サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
⓭POPアカウント名		ichiro
⓮パスワード（POPアカウントパスワード）		
⓯インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ちょっと一言

「❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」、「❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」、「⓫受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」、「⓬送信メール（SMTP）サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

❶ ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の

をクリックして、[コントロールパネル]、[ネットワークとインターネット接続]、[ネットワーク接続]の順にクリックして表示される接続名です。
お好みの名前をご記入ください。

例：So-net東京第16

❷ 電話番号（アクセスポイント）

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号（接続先の電話番号）をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例：03-5792-9060

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので、利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

❸ ユーザー名（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。

例：ichiro@aa2

ちょっと一言

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワークに接続する方法の1つです。
電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

❹ パスワード（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

ちょっと一言

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

❺ 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例：03

❻ トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式：

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式：

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。

請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。

電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

❼ DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例：202.238.95.24

ちょっと一言

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

❽ 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

「❼DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「❽別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例：202.238.95.26

❾ 表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例：Ichiro Suzuki

ちょっと一言

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

❿ 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。

プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

⓫ 受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

⓬ 送信メール(SMTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「⓫受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

⓭ POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「❿電子メールアドレス」の「@」(アットマーク)より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「⓮パスワード」の両方が必要になります。

例：「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

ちょっと一言

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「❸ユーザー名」と同じ場合もあります。

⓮ パスワード(POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。

電子メールを見るためには、「⓭POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ちょっと一言

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

⓯ インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

3 接続のための設定をする

❑ **一般電話回線で接続される方は、このままお進みください。**

❑ **ADSL（PPPoE）を使ってインターネットに接続する場合は、「ADSLでインターネットに接続するには」（104ページ）をご覧ください。**

「チェックシートを作成する」（90ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについては、「電源を入れる」（47ページ）をご覧ください。

2 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[インターネット]をクリックする。

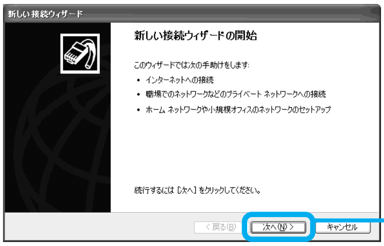
ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されないときは

接続のための設定が終わったあとは スタート 、[インターネット]の順にクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[新しい接続ウィザード]の順にクリックします。

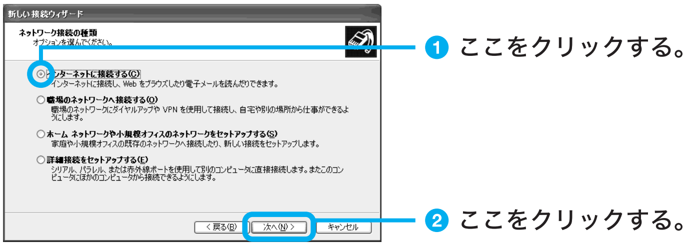
3 次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

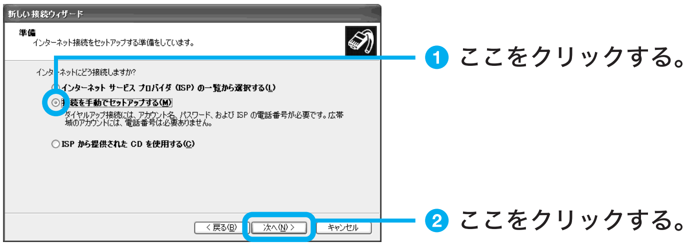
「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

4 [インターネットに接続する]の○をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



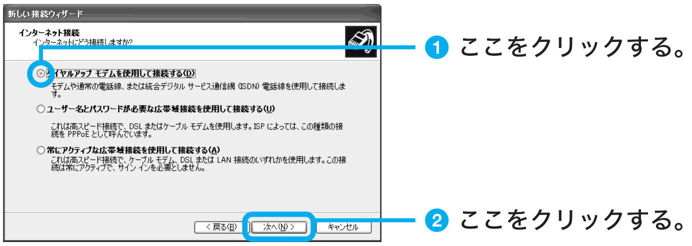
「準備」画面が表示されます。

5 [接続を手動でセットアップする]の○をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



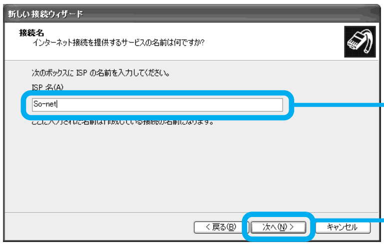
「インターネット接続」画面が表示されます。

6 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]の○をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



「接続名」画面が表示されます。

7 「ISP名」(ダイヤルアップ接続名)を入力し、[次へ(N) >]をクリックする。

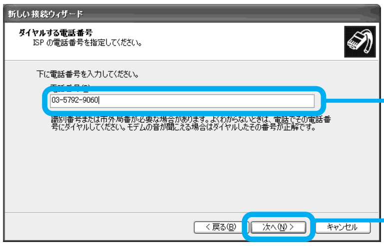


チェックシートの❶ダイヤルアップ接続名を入力する。

ここをクリックする。

「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

8 アクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ(N) >]をクリックする。

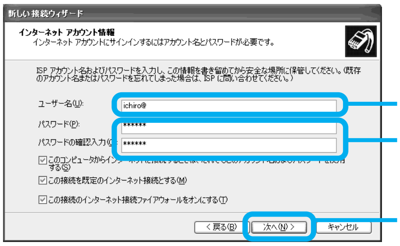


チェックシートの❷電話番号（アクセスポイント）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

9 ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、[次へ(N) >]をクリックする。



チェックシートの❸ユーザー名（PPP）を入力する。

チェックシートの❹パスワード（PPP）を入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

ちょっと一言

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「＊」で表示されます。

10 完了 をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

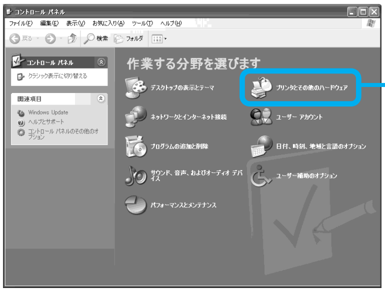
ちょっと一言

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

11 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

12 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。



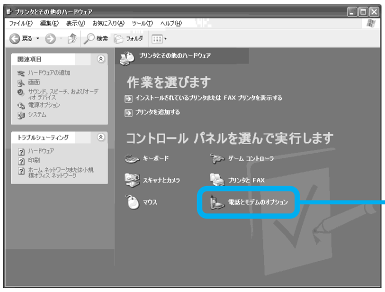
ここをクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

ちょっと一言

手順12および13の画面での操作はお買い上げ時の状態のものです。

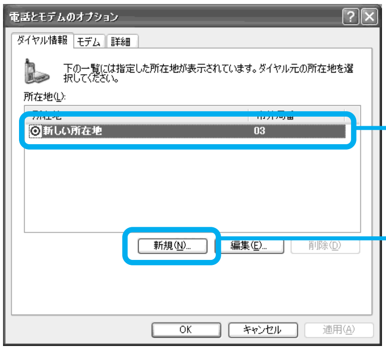
13 [電話とモデムのオプション]をクリックする。



ここをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

14 設定されている所在地をクリックして選び、［編集(E)...］をクリックする。

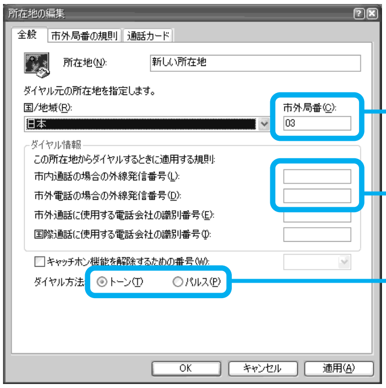


所在地を選ぶ。

リストにないときはここをクリックする。
「新しい所在地」画面が表示されます。

「所在地の編集」画面が表示されます。

15 各項目を以下のように設定し、［OK］をクリックする。



チェックシートの❺市外局番。
ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

外線発信番号が必要な場合は「0」と入力する。

チェックシートの❻トーン／パルス（電話回線の種類）を選ぶ。

16 「電話とモデムのオプション」画面の［OK］をクリックする。

17 デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［接続］にポインタを合わせ、［すべての接続の表示］をクリックする。

ここをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます（お買い上げ時のウィンドウの設定の場合）。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

18 ダイヤルアップ接続（チェックシート ❶）のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

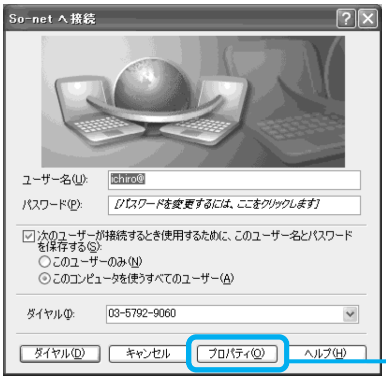
ここをダブルクリックする。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順19に進むこともできます。

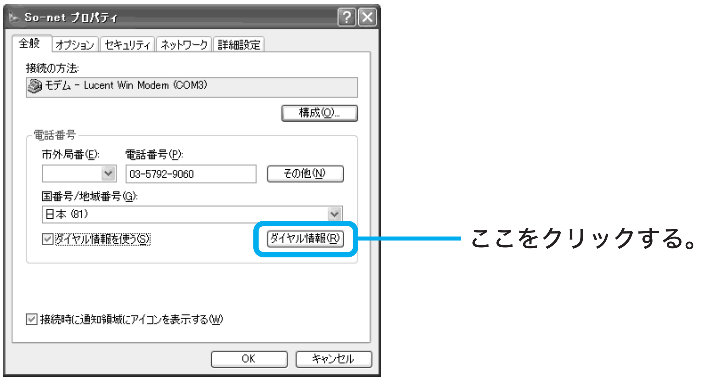
19 プロパティ(P) をクリックする。



ここをクリックする。

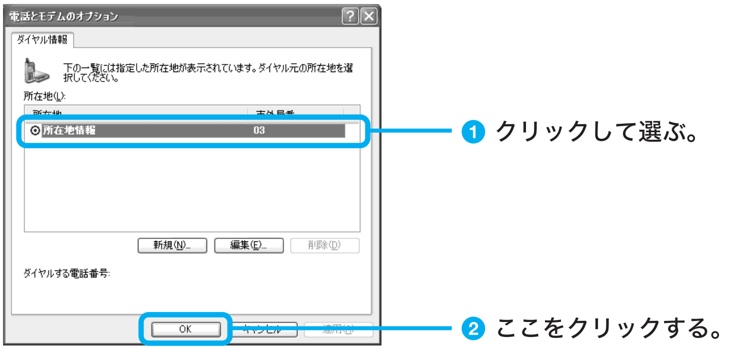
ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。

20 [ダイヤル情報を使う]の□をクリックして☑にし、[ダイヤル情報(R)]をクリックする



「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

21 複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選び、[OK]をクリックする。

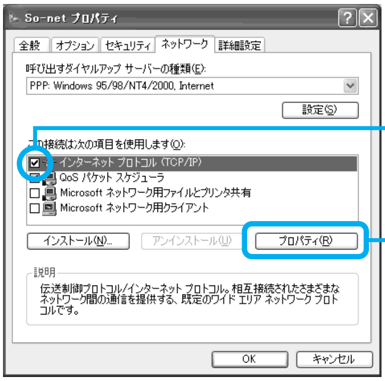


手順22～25は、チェックシートに❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)および❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を記入した場合(プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ、操作を行ってください。

22 [ネットワーク]タブをクリックする。

ここをクリックする。

23 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル(TCP/IP)]の☐をクリックして☑にし、[プロパティ(P)]をクリックする。



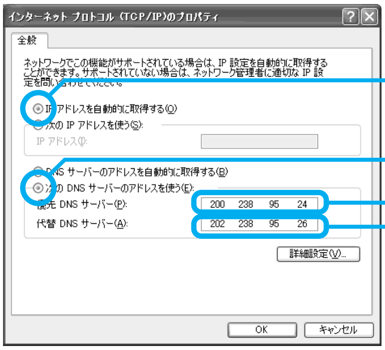
❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。

24 各項目を以下のように設定する。

- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。



ここをクリックする。

ここをクリックする。

チェックシートの❼DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）を入力する。

チェックシートの❽別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）を入力する。

ちょっと一言

「❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

25 OK をクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が閉じます。

26 ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で OK をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

27 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で キャンセル をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

ADSLでインターネットに接続するには

ADSL、またはケーブルモデム（ケーブルテレビ回線）で PPPoE を使用してインターネットに接続するには、下記の手順に従って操作してください。

ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

1

デスクトップ画面左下の をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

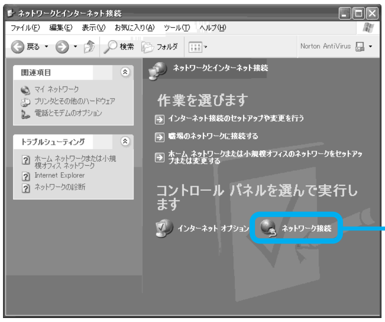
2

「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3

「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]をクリックする。



ここをクリックする。

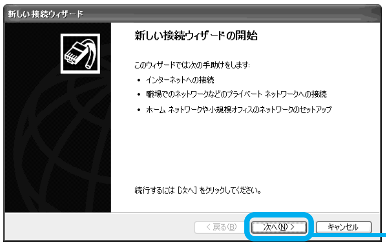
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から[新しい接続を作成する]をクリックする。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

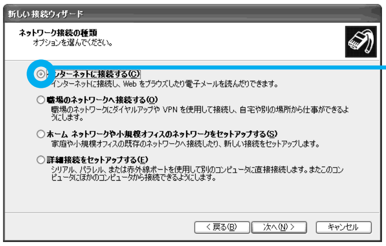
5 「新しい接続ウィザードの開始」画面で［次へ(N) >］をクリックする。



ここをクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

6 「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の○をクリックして◉にし、［次へ(N) >］をクリックする。

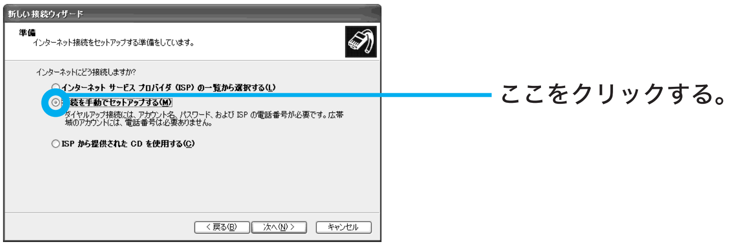


ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

7

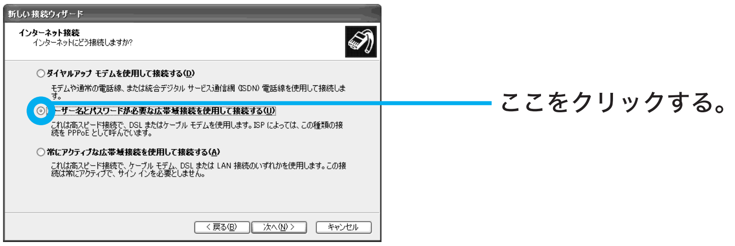
「準備」画面で[接続を手動でセットアップする]の○をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。



「インターネット接続」画面が表示されます。

8

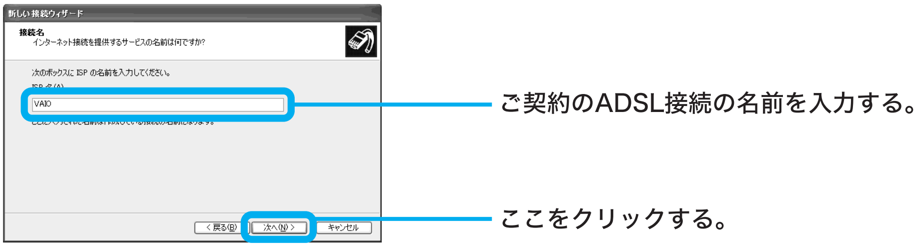
「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する]の○をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。



「接続名」画面が表示されます。

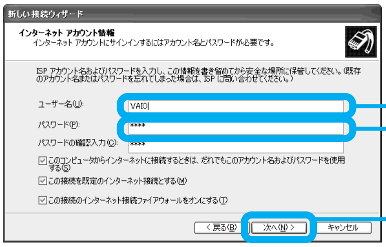
9

「接続名」画面で「ISP 名」にご契約のADSL接続業者の名前を入力し、[次へ(N) >]をクリックする。



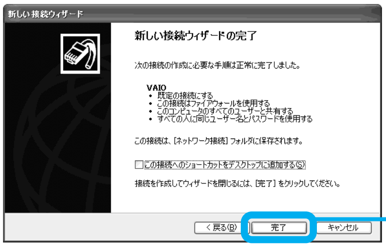
「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

10 「インターネットアカウント情報」画面で、ユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、［次へ(N) >］をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

11 ［完了］をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。

これでADSL、またはケーブルモデム（ケーブルテレビ回線）でPPPoEを使用してインターネットに接続するための設定は終わりです。

4 電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。
ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」*を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

* 本書で使われている「Outlook Express」ソフトウェアの画面のイラストは、本機にインストールされているバージョンです。

ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[電子メール]をクリックする。

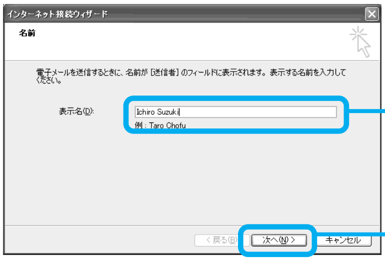
ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動し、インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

ご注意

Microsoft Office XP付属モデルをお使いの方は、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[すべてのプログラム]、[Outlook Express]の順にクリックして、「Outlook Express」ソフトウェアを起動してください。

2 表示したい名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。



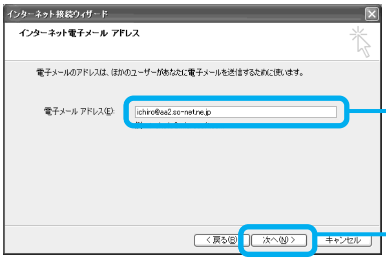
チェックシートの❾表示名（差出人フィールドでの表示）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。

3

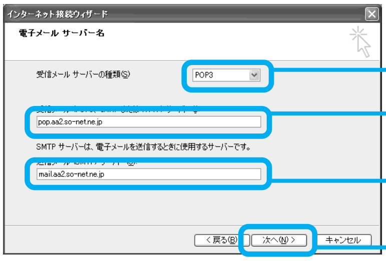
電子メールアドレスを入力して、[次へ(N) >]をクリックする。



「電子メールサーバー名」画面が表示されます。

4

受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、[次へ(N) >]をクリックする。



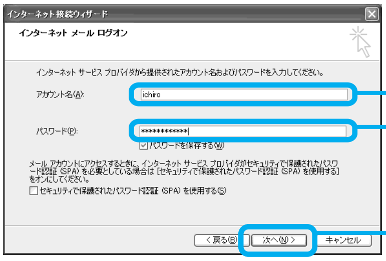
「インターネットメールログオン」画面が表示されます。

ちょっと一言

「⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」の名前と「⑫送信メール（SMTP）サーバー」の名前は同じ場合があります。

5

POPアカウント名とパスワードを入力し、[次へ(N) >]をクリックする。

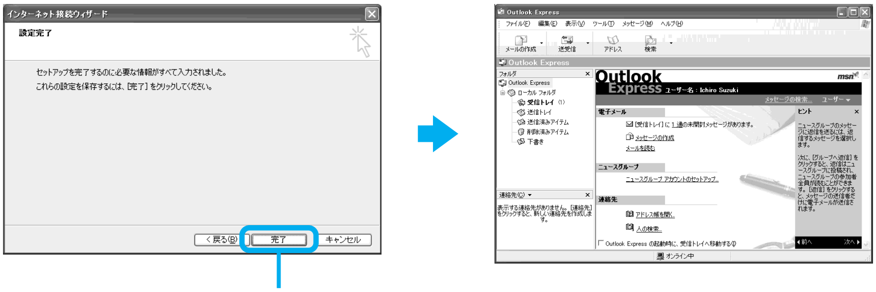


「設定完了」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「パスワード」は「＊」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の□をクリックして☑にすると、実際にインターネットに接続するときの「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面（114ページ）でパスワードを入力する手間が省けます。

6 完了をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアの設定が完了します。

ご注意

完了をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

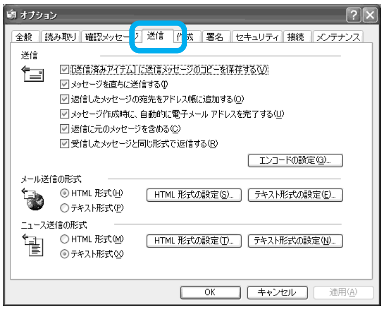
「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。

HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。

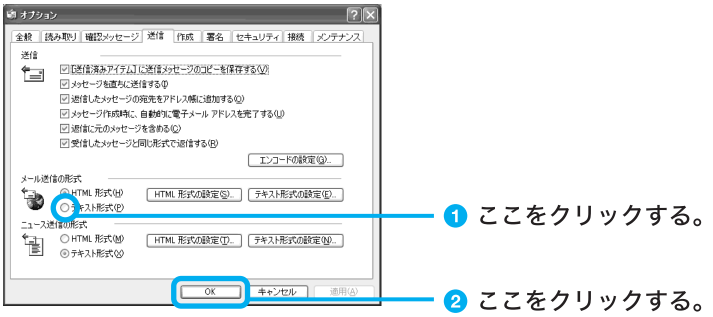
メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

1 **「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[オプション]をクリックする。**
「オプション」画面が表示されます。

2 **[送信]タブをクリックする。**
「送信」画面が表示されます。



3 **「メール送信の形式」で[テキスト形式]をクリックし、[OK]をクリックする。**
送信するメッセージがテキスト形式になります。

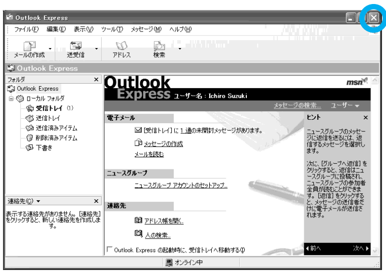


電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

HTML とは

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。

7 画面右上の☒(「閉じる」ボタン)をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

ちょっと一言

電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」画面で[ツール]をクリックし、[アカウント]をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で[追加]をクリックし、[メール]タブをクリックします。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「⓯インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

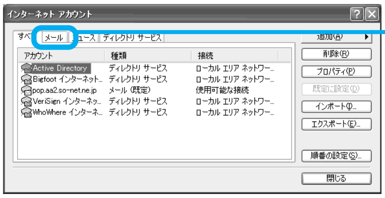
1 「Outlook Express」画面で、[ツール]をクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

2 [アカウント]をクリックする。

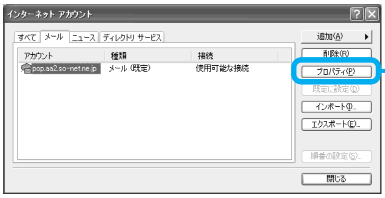
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 [メール]タブをクリックする。



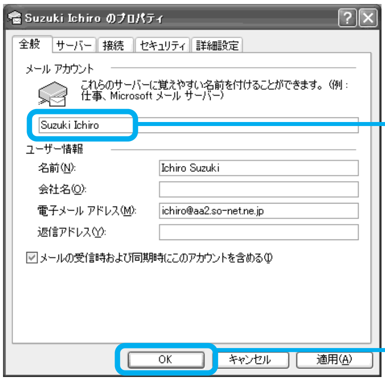
「メール」画面が表示されます。

4 [プロパティ(P)]をクリックする。



プロパティ画面が表示されます。

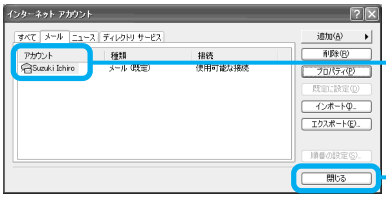
5 「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分を変更し [OK]をクリックする。



ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

6

名前を変更した場合は、変更されているか確認して、［閉じる(C)］をクリックする。

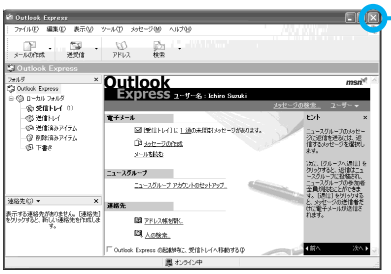


ここが変更されているかどうか確認する。

ここをクリックする。

7

「Outlook Express」画面で右上の☒（「閉じる」ボタン）をクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

5 インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。
ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[接続]、[ダイヤルアップ接続名(チェックシートの❶)]の順にクリックする。

下の例では[So-net]をクリックします。

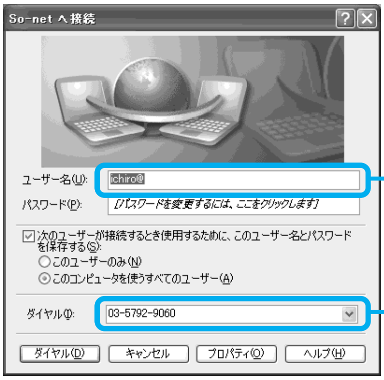
ここをクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されます。

2

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面の各項目を入力または確認する。

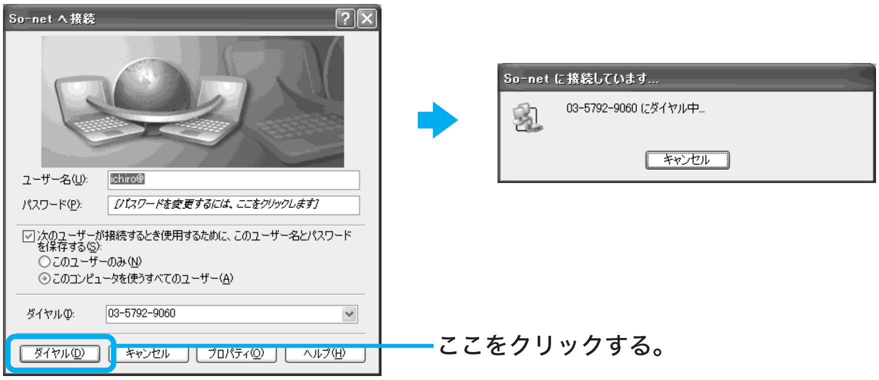
❶ **ユーザー名(チェックシートの❸)と電話番号(チェックシートの❷)が正しいか確認する。**



ここを確認する。

❷ ダイヤル(D) をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。



「現在(ダイヤルアップ接続名)に接続しています。」画面が表示されたときは、

OK をクリックします。

OK をクリックする前に[今後、このメッセージを表示しない]の☐をクリックして☑にしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に が表示されます。ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、「ホームページを見る」(117ページ)以降をご覧ください。

接続を切断するときは：116ページの「接続を切断するには」をご覧ください。

接続できなかった場合は：「主なトラブルとその解決方法」の「モデム／インターネット」(157ページ)をご覧ください。

パスワード(チェックシートの❹)を変更するには

手順2の「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で[パスワード]に新しいパスワードを入力します。

ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の☐をクリックして☑にし、ユーザーの種類を選ぶと、パスワードを保存することができ、次回からパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

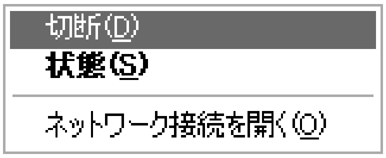
- 「パスワード」(チェックシートの❹パスワード(PPP))は「＊」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」(108ページ)の手順5で「パスワードを保存する」の☐をクリックして☑にしておくと入力された状態で表示されます。

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断します。

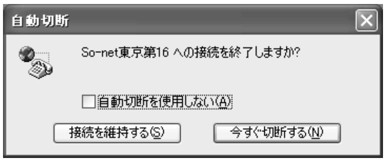
接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- **デスクトップ画面右下のを右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。**



- **デスクトップ画面右下のをダブルクリックして表示される「(ダイヤルアップ接続名)の状態」画面で 切断(D) をクリックする。**

- **「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了すると表示される「自動切断」画面で 今すぐ切断する(N) をクリックする。**



ちょっと一言

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません。
- 「自動切断」画面は「自動切断を使用しない」のをクリックしてにすると、次回インターネットに接続したときからは表示されません。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

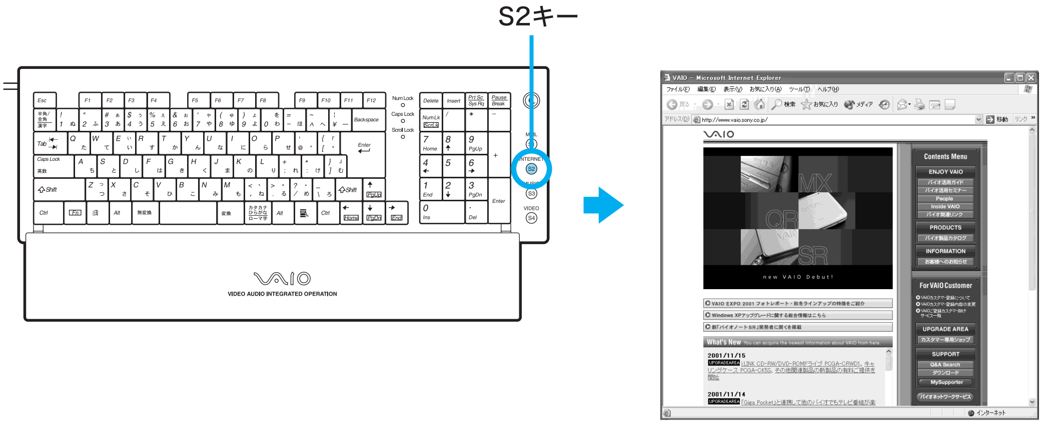
以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下にが表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下記の操作を行うと、「インターネット接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」(114ページ)の手順に従い、インターネットに接続し、を表示させてください。

1 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

キーボードのS2キーを押す。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。



ちょっと一言

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[インターネット]をクリックする方法もあります。

ご注意

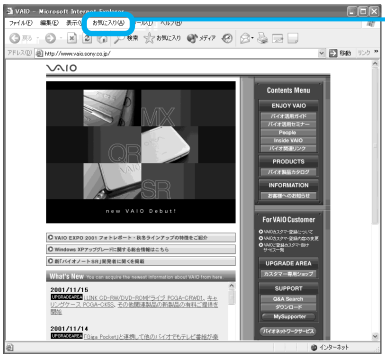
「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。上の図は、最初に表示されるホームページをVAIOホームページに設定したときの例です。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ホームページが表示されなかった場合は、「主なトラブルとその解決方法」の「モデム／インターネット」(157ページ)をご覧ください。

2「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

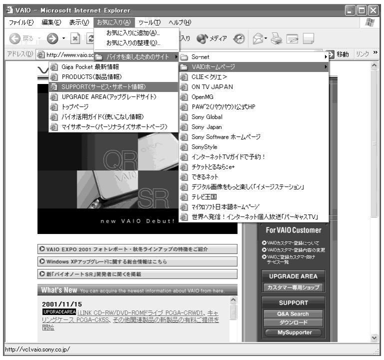
1 **メニューバーの[お気に入り]をクリックする。**



メニューが表示されます。

2 **[バイオを楽しむためのサイト]にポインタを合わせ、[VAIOホームページ]、[SUPPORT(サービス・サポート情報)]の順にクリックする。**

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。



3 ホームページの URL（ユーアールエル）を入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（URL：http://vcl.vaio.sony.co.jp/）を見てみます。

URL とは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と言います。アドレスバーにURLを入力することでホームページが見られます。

1 アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。

「~」（チルダ）を入力するには

インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」（チルダ）を入力するには、「直接入力」または「半角英数」を選び、Shift（シフト）キーを押しながら ~ キーを押します。

2 キーボードの Enter（エンター）キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

4 リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

マウスを使って（ポインタ）を[ENJOY VAIO]に移動して、に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ここをクリックする。

ちょっと一言

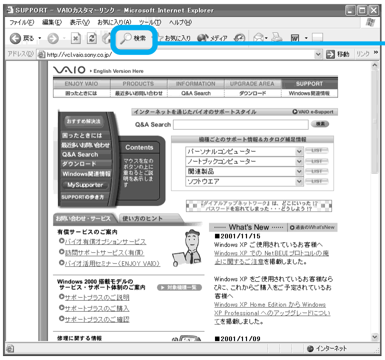
ホームページの中で、（ポインタ）がに変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

5 目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。

ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1 ツールバーの検索をクリックする。

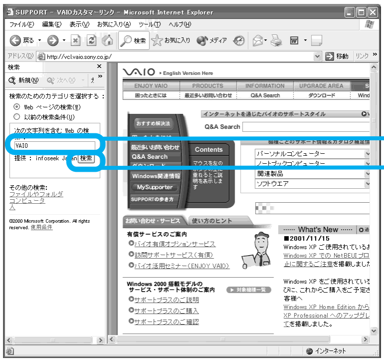


ここをクリックする。

検索画面が表示されます。

2

検索画面の中央上にある［　　　　　　］の中に「VAIO」と入力し、［検索］をクリックする。



ここに「VAIO」と入力する。
ここをクリックする。

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

3

検索結果から、見たいホームページをクリックする。

クリックしたホームページが表示されます。

6 よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。
ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

ちょっと一言

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1

アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。

ここに入力する。

2 キーボードの⏎(エンター)キーを押す。

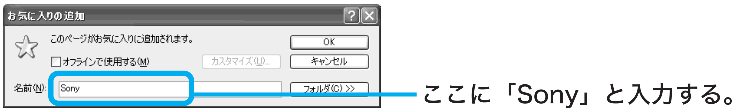
Sony online Japanのホームページが表示されます。

3 メニューバーの[お気に入り]をクリックし、次に[お気に入りに追加]をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4 「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、OKをクリックする。

ここでは「Sony」と入力します。



Sonyホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

7「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1 **メニューバーの[ファイル]にポインタを合わせ、クリックする。**

ファイルメニューが表示されます。

2 **[閉じる]にポインタを合わせ、クリックする。**

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3 **デスクトップ画面右下のを右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。**

インターネットへの接続が切断されます。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わったあとなどは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

1「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、[電子メール]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ご注意

Microsoft Office XP付属モデルをお使いの方は、デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、[すべてのプログラム]、[Outlook Express]の順にクリックして「Outlook Express」ソフトウェアを起動してください。

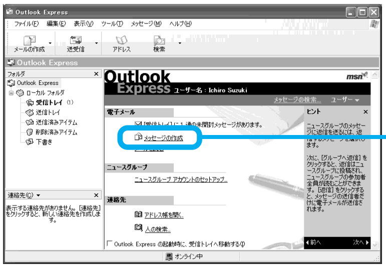
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1

[メッセージの作成]をクリックする。



「メッセージの作成」画面が表示されます。

ちょっと一言

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときはインターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

オフライン作業とは

「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェアを使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

2

メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入力してみます。

タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。

文字の入力のしかたについて詳しくは、「文字の入力」(64ページ)をご覧ください。

3 ツールバーの[送信]をクリックする。

ここをクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたら、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」のツールバーの[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

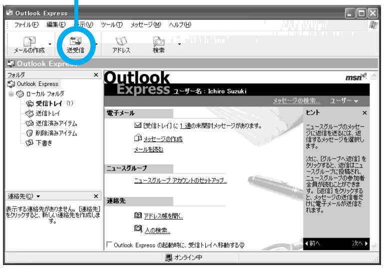
3 電子メールを受信する

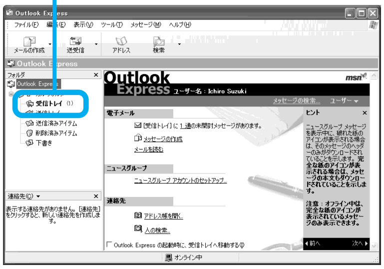
手順 2 で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

インターネットに接続した状態で、ツールバーの[送受信]をクリックする。

手順 2 で送った電子メールが届きます。

ここをクリックする。　　メールが届く。





ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか？」というメッセージが表示されます。この場合は、[はい(Y)]をクリックしてください。

ちょっと一言

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう(116ページ)。

4 受け取った電子メールを見る

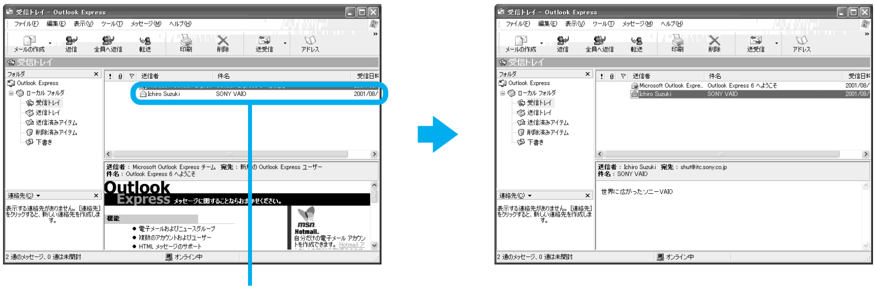
手順3で届いた電子メールを見てみます。

1 [受信トレイ]をクリックする。

ここをクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。



ここをクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

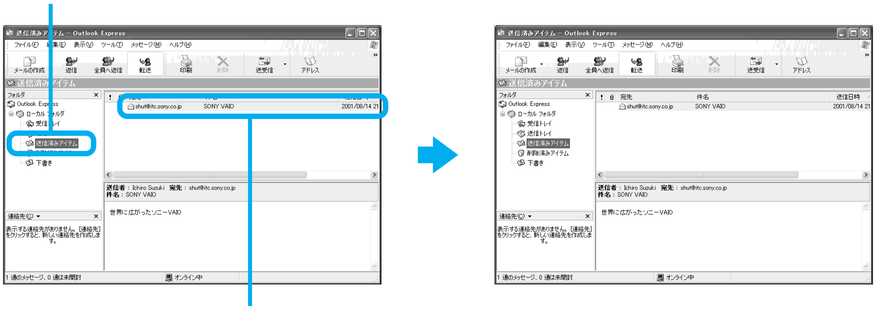
5 送った電子メールを見る

手順2で送った電子メールを見てみます。

[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



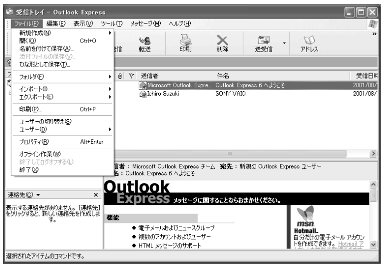
ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「主なトラブルとその解決方法」の「モデム／インターネット」(157ページ)をご覧ください。

6「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 ［ファイル］にポインタを合わせ、クリックする。



ファイルメニューが表示されます。

2 ［終了］にポインタを合わせ、クリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下の を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

本機の使いかたがわからないときに

この章では、電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたなどについて説明します。

「サイバーサポート」の使いかた

「サイバーサポート」ってなに？

「サイバーサポート」はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。

デスクトップ画面にあるこのアイコンをダブルクリックする。

「サイバーサポート」は、VAIOの使いかたや楽しみかたをデスクトップ画面上で説明する電子マニュアルです。本書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。

「サイバーサポート」画面の見かた

ちょっと一言

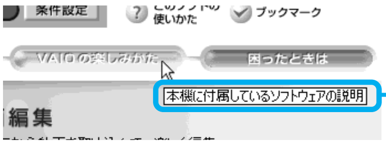
画面は実際のものと異なる場合があります。

1 ナビゲーションボタン	
トップへ戻る	「サイバーサポート」の最初に表示される画面に戻ります。
戻る　進む	前に見ていた画面に戻ったり、また進んだりできます。
表示切替	一部のボタンを隠して、本文ページをより広く表示できるようにします。（135ページ）

2 マニュアル表示ボタン	
できるWindows	Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。
インターネット	インターネットに接続して、ホームページや電子メールを楽しむための説明を見ることができます。
VAIOの使いかた	本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。
VAIOの楽しみかた	本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。
困ったときは	困ったときや、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。
用語集	コンピュータ用語の説明を見ることができます。
サービス/サポート	サービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。
3 キーワード検索エリア	
検索	キーワードや質問文を入力して情報を探すことができます。(134ページ)
条件設定	検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで情報を探すことができます。(134ページ)
4	
このソフトの使いかた	「サイバーサポート」の使いかたを見ることができます。
ブックマーク	よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼び出すことができます。
ヘルプとサポートセンター	「ヘルプとサポートセンター」(52ページ)を見ることができます。
5	
本機に付属しているソフトウェアの楽しみかたの紹介です。	
6	
最新の情報に更新	「サイバーサポート」で検索できる情報を更新します。(136ページ)
VAIOカスタマーリンク	VAIOカスタマーリンクのホームページを見ることができます。(136ページ)
Sonyのホームページ	ソニーのホームページを見ることができます。

ちょっと一言

「サイバーサポート」画面にある各ボタンにポインタを近づけると、ボタンをクリックしたときに表示される情報の内容が表示されます。



ここに情報が表示される。

「サイバーサポート」を見るには

ご注意

「サイバーサポート」は必ず「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」ソフトウェアを使って表示させてください。「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」以外のソフトウェアでは正しく表示されないことがあります。

「サイバーサポート」を見るには、「Windowsを準備する」(48ページ)の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、以下のように操作します。

「サイバーサポート」を開くには

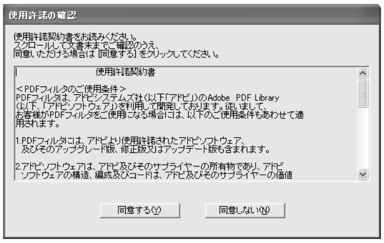
デスクトップ画面上の(VAIOマニュアルCyberSupport)をダブルクリックする。

「サイバーサポート」画面が表示されます。

デスクトップ画面にある
このアイコンを
ダブルクリックする。

ちょっと一言

- デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から[VAIOマニュアルCyberSupport]をクリックしても「サイバーサポート」を表示できます。
- 初めて「サイバーサポート」を開いたときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは、[同意する]をクリックしてください。
[同意しない]をクリックすると、「サイバーサポート」を開くことができません。



「サイバーサポート」を閉じる

「サイバーサポート」画面の右上のをクリックする。

「サイバーサポート」が終了します。

ちょっと一言

- 「サイバーサポート」画面右上の(最小化)ボタンを使って、「サイバーサポート」をデスクトップ画面から隠す(最小化する)ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「サイバーサポート」をデスクトップ画面上に表示させたまま他のソフトウェアなどを操作することもできます。

目次から情報を探す

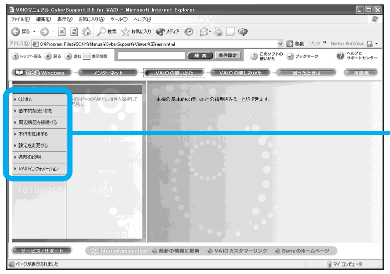
「サイバーサポート」画面上部の[できるWindows]、[インターネット]、[VAIOの使いかた]、[VAIOの楽しみかた]、画面下部の[サービス／サポート]のボタンをクリックすると、左画面に目次が、右画面に情報が表示されます。左画面の目次から、探したい情報をクリックして選んでください。

1 「サイバーサポート」画面にあるいずれかのボタンをクリックする。

いずれかのボタンをクリックする。

クリックしたボタンに含まれる情報の目次が左画面に表示されます。

2 目次から表示したい項目を選び、クリックする。



表示したい項目をクリックする。

項目の最初に ▶ がついている項目をクリックすると、▶ が ▼ になり、さらに詳しい項目が表示されます。

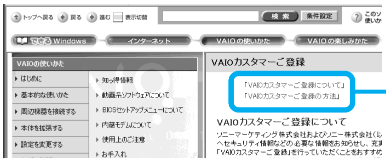
3 知りたい項目をクリックする。

右画面にその情報が表示されます。

知りたい項目をクリックする。

ページの見かた

- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容の見出しをクリックすると、同じページ内の目的の情報が表示されます。



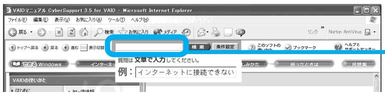
見出しをクリックする。

- 本文中の【詳細】をクリックすると、その内容のさらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- 「ここにも注目」の見出しをクリックすると、見ているページに関連する項目のあるページが表示されます。

キーワードで情報を探す

1

「サイバーサポート」画面上部の［　　　　　検索］にキーワードや質問文を入力する。



ここに入力する。

2

［検索］をクリックする。

検索結果の一覧が表示されます。一覧から見たい情報を選びます。

ちょっと一言

［条件設定］をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することができます。

困ったときの情報の探しかた

1

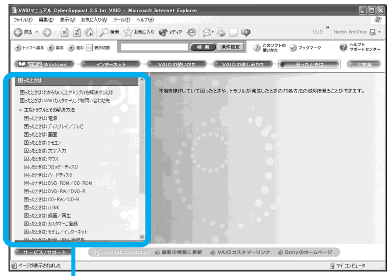
「サイバーサポート」画面上部にある［困ったときは］をクリックする。

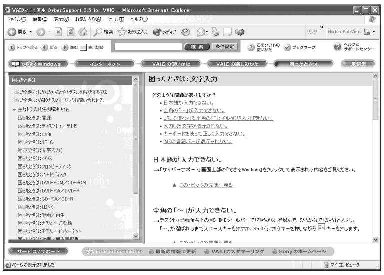
「困ったときは」の目次が表示されます。

2

左画面の表示したい項目を選び、クリックする。

右画面にトラブルとその解決方法が表示されます。





表示したい項目をクリックする。

ちょっと一言

「サイバーサポート」画面上部のキーワード検索エリアにある［条件設定］をクリックしてキーワード検索をすると、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから上記以外のトラブル解決方法を見ることができます。

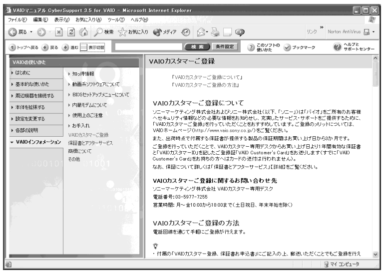
画面の大きさを切り替える

「サイバーサポート」画面上部の 表示切替 をクリックします。

サービス/サポート などの一部のボタンが隠れ、より多くの情報が1度に表示されるようになります。

隠れたボタンを元に戻すには、もう1度 表示切替 をクリックします。

ここをクリックする。

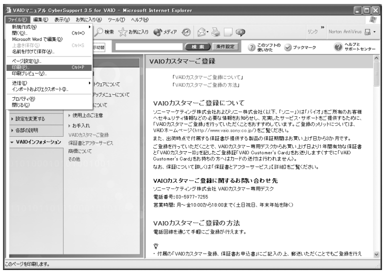


ちょっと一言

より多くの情報が表示されるように、「Microsoft Internet Explorer」のツールバーの表示を一部隠すことができます。
[表示]メニューから[ツールバー]を選び、[標準のボタン]などをクリックします。再度クリックすると元の表示に戻ります。

見ている画面を印刷する

[ファイル]メニューから[印刷]を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して 印刷(P) をクリックします。



ちょっと一言

印刷をするにはあらかじめプリンタを接続、設定しておく必要があります。

VAIOについての最新情報を見る

VAIOカスタマーリンクのホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(79ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには

「サイバーサポート」画面下部の VAIOカスタマーリンク をクリックすると、VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

「サイバーサポート」で検索できる情報を更新するには

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」で検索できる情報を、更新することができます。

更新のしかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面下部の 最新の情報に更新 をクリックして表示される画面をご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(79ページ)をご覧ください。

ご注意

初めて更新するときは、数10分時間がかかることがあります。

その他のマニュアルについて

「サイバーサポート」以外に、本機に付属しているマニュアルについては、「マニュアルについて」(5ページ)をご覧ください。

また、トラブルの対処方法については、「わからないことやトラブルを解決する」(138ページ)もあわせてご覧ください。

困ったときは

この章では、本機を操作していて困ったことやトラブルの
解決方法を説明します。

わからないことやトラブルを解決する

本機を操作していてトラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 電子マニュアルやヘルプで調べる。

- **本書の**140ページ**からの説明をご覧ください。**
- **デスクトップ画面上の**（VAIO**マニュアル** CyberSupport）**をダブルクリックして、「サイバーサポート」を起動させ、「困ったときは」や関連する項目「主なトラブルとその解決方法」から該当する項目をクリックして表示される情報をご覧ください。**

  「サイバーサポート」画面上部のキーワード入力エリアにキーワードや質問文を入力しをクリックすることで、「サイバーサポート」の内容やVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから自動的にその解決方法を検索できます。をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することもできます。
  なお、「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、130ページをご覧ください。

ちょっと一言

「サイバーサポート」は、デスクトップ画面左下のをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から、[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックしても起動することができます。

- **ソフトウェアのヘルプや電子マニュアル**
- Windows**のヘルプ**

  デスクトップ画面左下のをクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

2 VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する。

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載していますのでご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/

サイバーサポートをはじめてお使いになるときは

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、製品出荷後の最新情報を提供しています。VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」の「キーワード検索」で検索できる情報を更新してください。
更新するには、インターネットに接続した状態で、「サイバーサポート」画面下部のをクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは、数10分時間がかかることがありますので、ご注意ください。また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（79ページ）をご覧ください。

3 VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる。

以下のお問い合わせ先にご相談ください。

VAIOカスタマーリンク

電話番号

(0466)30-3000

- お問い合わせには、「VAIO カスタマーID」が必要です。
- 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

受付時間

平日　10時～20時

土、日、祝日　10時～17時

(年末年始は除く)

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(229ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

1. **お客様のVAIOカスタマーID**
2. **本機の型名:保証書に記載されています**
3. **本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)**
4. **カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号**

ちょっと一言

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

5. **本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)**
6. **表示されたエラーメッセージ**
7. **本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン**
8. **トラブルが発生する前または直前に行った操作**
9. **トラブルがどのくらいの頻度で再現するか**
10. **その他お気づきの点**

修理の場合は

11. **VAIOカルテ(修理をお申込みになるとき)**
12. **筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です)**

主なトラブルとその解決方法

ここでは、主なトラブルとその解決方法について説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(53ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。他の方法で電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。
接続し直すときは、必ず「電源を切る」(53ページ)の手順に従い、いったん電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

症状		ページ
⏻電源	電源が入らない。	143ページ
	電源が切れない。	143ページ
	本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。	144ページ
	電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。	144ページ
	電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。	144ページ
▢ディスプレイ/テレビ	画面に何も表示されない。	145ページ
	画像が乱れる。	145ページ
	画質が悪い。	145ページ
	画像の端が欠ける。	145ページ
	表示サイズ、表示位置がおかしい。	145ページ
	画面に細い横線が出る。	146ページ
画面	画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。	146ページ
スピーカー	音が出ない。	147ページ
文字入力	日本語が入力できない。	148ページ
	全角の「~」が入力できない。	148ページ
	URLで使われる半角の「~」(チルダ)が入力できない。	148ページ
	入力した文字が表示されない。	148ページ
	キーボードを使って正しく入力できない。	149ページ
	IMEの言語バーが表示されない。	149ページ

症状		ページ
マウス	マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。	150ページ
	画面上のポインタが動かない。	150ページ
	スクロールしない。	150ページ
	マウスを動かしてもカーソルが動かない。	150ページ
フロッピーディスク	フロッピーディスクを認識しない。	151ページ
	フロッピーディスクが取り出せない。	151ページ
	「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。	151ページ
	「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。	151ページ
	フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。	151ページ
ハードディスク	誤ってハードディスクを初期化してしまった。	152ページ
	ハードディスクの内容を誤って消してしまった。	152ページ
	ハードディスクから起動できない。	152ページ
DVD-ROM／CD-ROM	CD-ROMが再生されない、または音楽CDの再生時、ノイズが聞こえたり、音がとぎれる。	152ページ
	DVD-ROMが再生できない、またはDVDビデオの再生時、画像または音がとぎれる。	153ページ
	DVD-ROMが取り出せない。	153ページ
	エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。	153ページ
	「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の（iPower!）をクリックすると、再生ウィンドウが黒くなる。	154ページ
	「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動できない。	154ページ
CD-RW／CD-R	CD-Rに書き込めない。	154ページ
	CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。	154ページ
i.LINK	本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。	155ページ
	「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。	155ページ
	i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。	155ページ
	本機および本機と接続したi.LINK対応機器が正しく動作しない。	155ページ
カスタマーご登録	オンラインでカスタマー登録できない。	156ページ

症状		ページ
モデム／インターネット	モジュラジャックが取りはずせない。	157ページ
	インターネットに接続できない。	157ページ
動画／静止画編集	「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。	176ページ
	「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。	176ページ
	「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画／静止画を電子メールで送れない。	176ページ
エラーメッセージ	電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。	177ページ
	電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、Windowsから起動できない。	177ページ
	電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。	177ページ
	「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。	177ページ
	「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。	177ページ
	電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。	177ページ
	電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。	178ページ
	「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される。	178ページ
	「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。	178ページ
	「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。	179ページ

電源

電源が入らない。

→ 本機の電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。（45ページ）

→ すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認する。（36ページ）

→ スイッチ付テーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入ってるかどうか、また、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認する。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認したうえで、それぞれの操作を行ってください。

→ キーボードが正しく接続されているか確認する。（39ページ）

→ 「スタート」メニューから［終了オプション］を選んでも電源が切れないときは、「サイバーサポート」画面上部の［VAIOの使いかた］をクリックして、［基本的な使いかた］→［電源を入れる／切る］→［電源を切る］→［「コンピュータの電源を切る」画面で［電源を切る］をクリックしても電源が切れないときは］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

→ 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認する。

→ 「電源を切る」（53ページ）の操作を行っても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合は、キーボードの Enter（エンター）キーを押してください。

→ 「スタート」メニューの［終了オプション］を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Alt（オルト）キーを押しながら F4 キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、［電源を切る］をクリックする。
Alt（オルト）キーを押しながら F4 キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Ctrl（コントロール）キーと Alt（オルト）キーを押しながら Delete（デリート）キーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックし、表示されるリストから［コンピュータの電源を切る］をクリックしてください。

→ 前述のいずれの操作を行っても電源が切れない場合は、本機前面の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源ランプが消灯するか確認してください。ただし、この操作をすると、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。また、本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、Safe(セーフ)モードで起動することがあります。その場合は、デスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」(53ページ)の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

→ 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動する。再起動できない場合は、本機前面の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この操作を行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、フロッピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押してください。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrl(コントロール)キーとAlt(オルト)キーを押しながらDelete(デリート)キーを2回押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。
詳しくは、「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(208ページ)および「パーティションサイズを変更する」(219ページ)をご覧ください。

ディスプレイ／テレビ

画面に何も表示されない。

→ 本機とディスプレイの電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。（45ページ）

→ 本機とディスプレイを正しく接続する。（36ページ）

→ 本機とディスプレイの電源スイッチが入っているか確認する。（47ページ）

→ ディスプレイの明るさボタンとコントラストボタンで調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

→ 本機後面のMONITORコネクタとDVIコネクタの両方にディスプレイを接続していないか確認する。

→ PCVD-15XD6などをお使いの場合は、ディスプレイに付属のACアダプタを接続しているか確認する。付属のACアダプタ以外で接続していると、正常に画面が表示されないことがあります。

画像が乱れる。

→ ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離す。

画質が悪い。

→ ディスプレイの調整ボタンで画質を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

画像の端が欠ける。

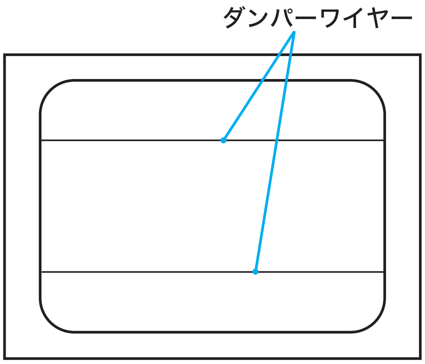
→ ディスプレイの調整ボタンで表示位置を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整ボタンで設定する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

画面に細い横線が出る。

→ トリニトロン管内部のアパチャーグリルに取り付けられたダンパーワイヤーの影です。ダンパーワイヤーは、アパチャーグリルの振動を抑える働きをしています。アパチャーグリルは、ソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイPCVD-A202などのトリニトロン管特有の構造です。
故障ではありません。



ソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイPCVD-A202

画面

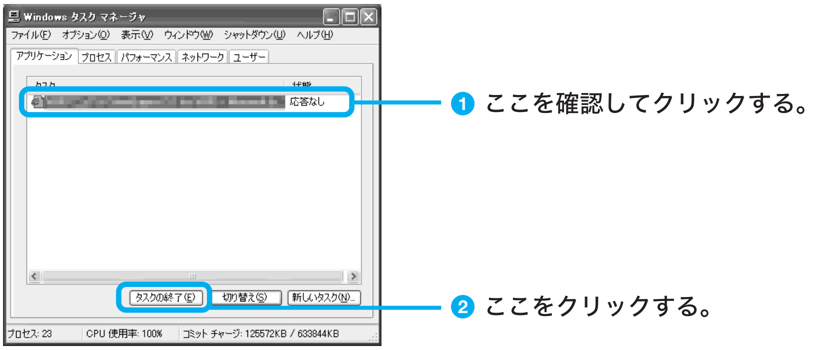
画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。

→ 以下の手順に従って操作し、本機を再起動させる。

1 **Ctrl（コントロール）キーとAlt（オルト）キーを押しながらDelete（デリート）キーを押す。**

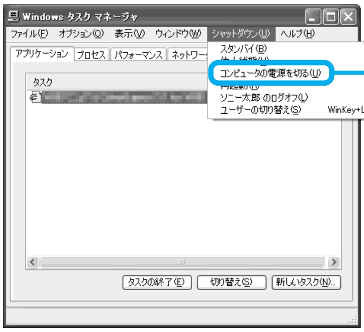
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。

「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させる。



2　**「Windowsタスクマネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。**

本機の電源が切れたあと、10秒後に本機の⏻(電源)ボタンを押して、再び電源を入れる。



→ 上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(電源)ボタンをランプが消えるまで(4秒以上)押して電源を切ったあと、10秒後に本機の⏻(電源)ボタンを押して再び電源を入れる。

ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

スピーカー

音が出ない。

→ アクティブスピーカーを接続している場合は、スピーカーの音声ケーブルが本機にしっかり接続されているか確認する。

→ アクティブスピーカーの電源コードが本機後面にしっかり接続されているか確認する。(38ページ)

→ アクティブスピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。(47ページ)

→ Windowsの音量がミュートまたは最小になっていないか確認する。

1　**デスクトップ画面左下の** **をクリックし、[コントロールパネル]をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　**[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックし、[サウンドとオーディオデバイス]をクリックする。**

「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。

3　**[音量]タブをクリックする。**

音量がミュートまたは最小になっているときは、音量を上げてください。

文字入力

日本語が入力できない。

→ 「文字の入力」(64ページ)をご覧ください。

全角の「～」が入力できない。

→ デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで、ひらがなで「から」と入力し、「～」が選ばれるまで [ ](スペース)キーを押すか、[Shift](シフト)キーを押しながら[^]キーを押す。

URLで使われる半角の「~」(チルダ)が入力できない。

→ デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「直接入力」または「半角英数」を選んで、[Shift](シフト)キーを押しながら[^]キーを押す。

入力した文字が表示されない。

→ 本機とキーボードが正しく接続されているか確認する。(39ページ)

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない(タイトルバー(ウィンドウの上の部分)は薄い色になります)。
文字を入力したいソフトウェアのウィンドウのどこかをクリックするか、[Alt](オルト)キーと[Tab](タブ)キーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする(タイトルバーが濃い色になります)。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上のNum Lock（ナム・ロック）ランプが消灯していないかを確認する。消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。NumLk ScrLk（ナム・ロック）キーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

→ キーボードの設定が「日本語PS/2キーボード（106/109キーCtrl＋英数）」に設定されているか確認する。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。

「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。

3　（システム）をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4　[ハードウェア]タブをクリックする。

5　デバイス マネージャ(D) をクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6　キーボードの項目をクリックする。

「日本語PS/2キーボード（106/109キーCtrl＋英数）」と表示されます。

上記と異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

IMEの言語バーが表示されない。

→ IMEの言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し言語バーを表示させてください。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

2　[日付、時刻、地域と言語のオプション]、[地域と言語のオプション]アイコンを順にクリックする。

「地域と言語のオプション」画面が表示されます。

3　[言語]タブをクリックし、詳細(D)... をクリックする。

「テキストサービスと入力言語」画面が表示されます。

4　言語バー(B)... をクリックする。

「言語バーの設定」画面が表示されます。

5　[言語バーをデスクトップ上に表示する]の□をクリックして☑にし、OK をクリックする。

6　「テキストサービスと入力言語」画面、「地域と言語のオプション」画面でそれぞれ OK をクリックして画面を閉じる。

ちょっと一言

言語バー右上の（最小化ボタン）をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

困ったときは

マウス

マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。

→ マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻す。

画面上のポインタが動かない。

→ 本機とマウスが正しく接続されているか確認する。(39ページ)

→ マウスの内部が汚れている場合は、マウスを掃除する。(226ページ)

→ (ウィンドウズ)キーを押して「スタート」メニューを表示させ、PgUp(ページアップ)キーまたはPgDn(ページダウン)キーを押して[終了オプション]を選んで、Enter(エンター)キーを押す。「コンピュータの電源を切る」画面が表示されたらPgUp(ページアップ)キーまたはPgDn(ページダウン)キーで[電源を切る]を選んでEnter(エンター)キーを押し、電源が切れた後10秒後に本機の⏻(電源)ボタンを押して再び電源を入れる。

→ (ウィンドウズ)キーを使って電源を切れない場合は、Ctrl(コントロール)キーとAlt(オルト)キーを押しながらDelete(デリート)キーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面を表示させ、[シャットダウン]メニューから[再起動]を選び、本機を再起動する。

→ DVD-ROM／CD-ROMを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、Ctrl(コントロール)キーとAlt(オルト)キーを押しながらDelete(デリート)キーを押し、DVD-ROM／CD-ROMを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動する。

スクロールしない。

→ スクロール機能に対応していないソフトウェアを起動している。スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

マウスを動かしてもカーソルが動かない。

→ オートスクロール設定になっている。ホイールボタンを押して、オートスクロールの状態を解除してください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクを認識しない。

→ 本機とUSBフロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認する。

→ フロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブからいったん取り出し、入れ直してみる。

フロッピーディスクが取り出せない。

→ 「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクを入れる／取り出す]→[フロッピーディスクを取り出すには]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直す。

「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデータを使う]→[フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた]→[フロッピーディスクを使う]→[フロッピーディスクのデータを使う]→[フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがきちんと入っているか確認する。

→ 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容がウィンドウで表示されている。ウィンドウ表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(208ページ)をご覧ください。

ハードディスクの内容を誤って消してしまった。

→ リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(208ページ)をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

→ ディスクドライブにリカバリディスクが入っていないか確認する。

→ ディスクドライブにブータブルCD、またはブータブルDVDが入っていないか確認する。

→ 上記の操作を行っても起動できない場合は、リカバリディスクを使って、本機を再セットアップする。詳しくは「リカバリディスクで本機を再セットアップする」(208ページ)をご覧ください。

DVD-ROM/CD-ROM

CD-ROMが再生されない、または音楽CDの再生時、ノイズが聞こえたり、音がとぎれる。

→ CD-ROMをディスクドライブに入れてください。

→ CD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。CD-ROMは文字が書いてある面を外側にして入れます。

→ CD-ROMの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。

→ 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。

→ 使用できないディスクの可能性があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[VAIOインフォメーション]→[知っ得情報]→[使用できるディスク]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。

DVD-ROMが再生できない。またはDVDビデオの再生時、画像または音がとぎれる。

→ DVD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。DVD-ROMは再生したい面を内側にして入れます。

→ 地域番号（リージョンコード）が違うDVD-ROMを入れている。本機では、地域番号（リージョンコード）として「2」または「ALL」が記されていないDVD-ROMは再生できません。

→ DVD-ROMの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。

→ 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。

→ 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。

DVD-ROMが取り出せない。

→ DVD-ROMはイジェクトボタンを押しても、状態によっては取り出せないことがあります。

エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。

→ ハードウェアアクセラレータが最大になっているか確認する。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[デスクトップの表示とテーマ]をクリックする。**
「デスクトップの表示とテーマ」画面が表示されます。

3 **[画面]をクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **[設定]タブをクリックする。**
「設定」画面が表示されます。

5 **詳細設定(V) をクリックする。**
プロパティ画面が表示されます。

6 **[トラブルシューティング]タブをクリックする。**
「トラブルシューティング」画面が表示されます。

7 **「ハードウェアアクセラレータ」のスライダを動かし、最大に設定する。**

8 **OK をクリックする。**
「設定」画面が表示されます。

9 **「画面のプロパティ」画面で OK をクリックする。**

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の（iPower!）をクリックすると、再生ウィンドウが黒くなる。

→ 「コンピュータの管理者」権限でログオンして、（ipower!）をクリックする。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の（iPower!）をクリックすると、再生ウィンドウ上に「ReadMe」が表示されます。ただし、初めて「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの（iPower!）をクリックするユーザーの権限が「制限付きアカウント」の場合、再生ウィンドウが黒くなり、「ReadMe」が正常に表示されません。この場合、いったん「コンピュータの管理者」権限でログオンし直してから、（iPower!）をクリックしてください。1度この操作を行えば、「制限付きアカウント」権限のユーザーが（iPower!）をクリックしても、「ReadMe」が正常に表示されます。

「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動できない。

→ エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動できないことがあります。
この場合は、エクスプローラを終了させてから、ソフトウェアを起動してください。

CD-RW／CD-R

CD-Rに書き込めない。

→ CD-Rは1度書き込むと書き換えはできません。ソフトウェアによっては、ディスクに空きがあるときは追記が可能な場合があります。

→ CD-Rはディスクがいっぱいになると、1度書き込んだデータを削除しても空き容量は増えません

CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。

→ CD-RWを使用して作成した音楽CDはCD-RWに対応しているドライブでのみ再生できます。

i.LINK

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。

→ i.LINK対応機器の電源を切り、いったんi.LINKケーブルを抜き差ししてから、電源を入れ直してください。

「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。

→ 他のソフトウェアが起動していないか確認する。他のソフトウェアが起動中に「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器への録画を繰り返し行うと、録画ができなくなることがあります。この場合は、本機を再起動してください。

i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。

→ お使いの機種によっては、本機とデータのやりとりができない場合があります。詳しくは、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(185ページ)をご覧ください。

→ i.LINKケーブルをいったん抜いてもう1度挿し直してください。しばらく待って接続できないときは再起動してください。

→ ネットワークの設定によっては、省電力モードから復帰後に接続できなくなることがあります。その場合は、省電力モードに入らないようにしてご使用ください。

本機および本機と接続したi.LINK対応機器が正しく動作しない。

→ 本機にi.LINK対応機器を接続すると、まれに正しく動作しないことがあります。この場合は、下記の手順に従って操作してください。

1 **本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。**

2 **本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。**

本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の

をクリックし、[終了オプション]をクリックして表示される「コンピュータの電源を切る」画面で、[電源を切る]を選んで電源を切ってください。
本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

3 **本機およびi.LINK対応機器の電源コードをいったん抜いて、接続し直す。**

4 **本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。**

5 **i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。**

カスタマーご登録

オンラインでカスタマー登録できない。

→ カスタマー登録するときは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

→ 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。（41ページ）

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

→ ISDN回線をお使いの場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタをつないでください。（44ページ）

→ ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては、正しく通信できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

モデム／インターネット

モジュラジャックが取りはずせない。

→ 「接続する／準備する」(36ページ)の手順4の「本機からテレホンコードを取りはずすには」をご覧ください。

インターネットに接続できない。

→ インターネットへの接続から、ホームページの閲覧や電子メールのやりとりは、以下の手順で行われています。

1 **本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ(ISDN回線の場合)を認識する。**

2 **本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかける。**

3 **プロバイダのサーバーに接続され、プロバイダと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われる。**

4 **プロバイダのサーバーが、ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目を確認する。**
ここまでで問題がなければ、本機がインターネットに接続します。

5 **ウェブブラウザ(「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど)でホームページを見る。**

6 **電子メールをやりとりする。**

インターネットに接続できない場合は、上記の各手順で問題があることが考えられます。次のチェック項目に従って接続や設定を確認してください。
それでも接続できないときは、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

ご注意

接続や設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンして確認してください。

1 本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ(ISDN回線の場合)を認識していない。

以下の点をご確認ください。

	チェック項目	ここをご覧ください
❏	内蔵モデムは認識されていますか?また接続した電話回線は内蔵モデムで使用できるものですか?	A-1(160ページ) A-2(161ページ)
❏	ISDN回線に接続していませんか?	B-1(164ページ) B-2(164ページ) B-3(164ページ)
❏	テレホンコードは正しく接続されていますか?	C-1(164ページ) C-2(164ページ) C-3(164ページ)

2 本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかけていない。

以下の点をご確認ください。

	チェック項目	ここをご覧ください
❏	ダイヤル方法は正しいですか?	D-1(165ページ) D-2(165ページ)
❏	接続先(プロバイダのアクセスポイント)の電話番号は間違っていませんか?	E-1(166ページ)
❏	トーンを待ってダイヤルする設定になっていませんか?	F-1(167ページ)
❏	内蔵モデムやターミナルアダプタが3回以上連続してダイヤルしていませんか?	G-1(167ページ)

3 プロバイダのサーバーと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われていない。

以下の点をご確認ください。

	チェック項目	ここをご覧ください
❏	ネゴシエーションは正しくできていますか?	H-1(168ページ)
❏	「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報など、他の電話番号にダイヤルしても接続できませんか?	I-1(169ページ) I-2(169ページ)

4 ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目がプロバイダのサーバーによって認証されない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
❑	ユーザー名やパスワードは正しく設定されていますか？	J-1（169ページ）
❑	ユーザー名やパスワードを忘れてしまったのですか？	K-1（170ページ）
❑	ダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	L-1（171ページ）
❑	ネットワークの設定は正しいですか？	M-1（172ページ）
❑	ダイヤルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直しても接続できませんか？	N-1（173ページ）

5 ウェブブラウザ（「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど）でホームページを見ることができない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
❑	ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	O-1（174ページ）
❑	ホームページのURLをアドレスバーに入力してホームページを見るとき、URLは正しいですか？	P-1（174ページ）

6 電子メールをやりとりできない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
❑	電子メールソフトウェアの設定は正しいですか？	Q-1（175ページ） Q-2（176ページ）

A-1 PBXなどの交換機や他の通信機器を経由して接続している。

NTTの一般電話回線と直接接続してください。本機の内蔵モデムは一般電話回線との接続を前提としています。集合住宅などで、PBXなどの交換機を経由する場合は、PBXなどの交換機が一般電話回線用のモデムに対応しているか確認してください。対応していない場合、接続できなかったり、本機の故障や破損の原因となることがあります。また、接続できても途中でとぎれたり、通信速度が遅いことがあります。

PBXなどの交換機を経由して0発信で接続するときは、以下の手順に従って操作し、外線発信番号を「0」(0発信)にしてください。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

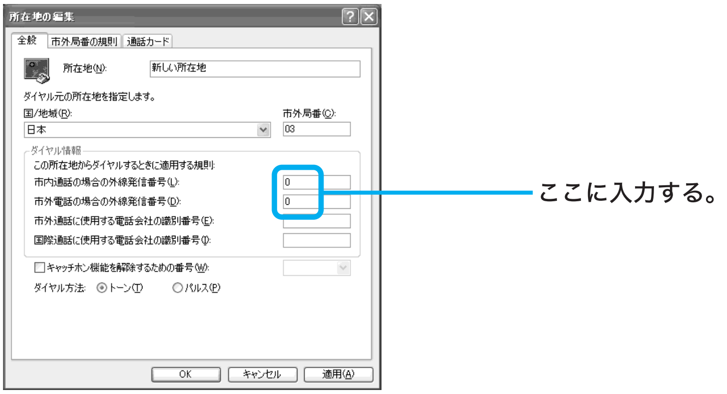
3　[電話とモデムのオプション]をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4　「ダイヤル情報」タブをクリックし、［編集(E)...］をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

5　「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で「0」(ゼロ)と入力する。



6　［OK］をクリックする。

7　[モデム]タブをクリックする。

「モデム」画面が表示されます。

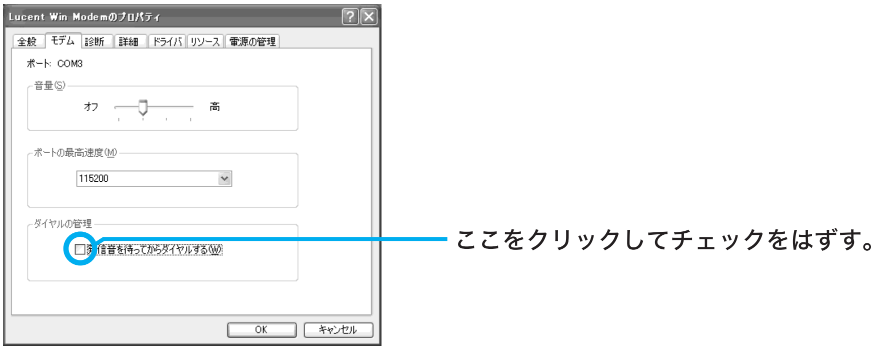
8　お使いのモデムをクリックして選び［プロパティ(P)］をクリックする。

内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

9　[モデム]タブをクリックする。

「モデム」画面が表示されます。

10 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。



11 [OK]をクリックする。

12 「電話とモデムのオプション」画面で[OK]をクリックする。

A-2 以下の手順に従って操作し、内蔵モデムが正しく認識されているか確認してください。

1 内蔵モデムが本機に認識されているか確認します。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

3 [電話とモデムのオプション]をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 [モデム]タブをクリックする。

「モデム」画面が表示されます。

5 お使いのモデムをクリックして選び[プロパティ(P)]をクリックする。

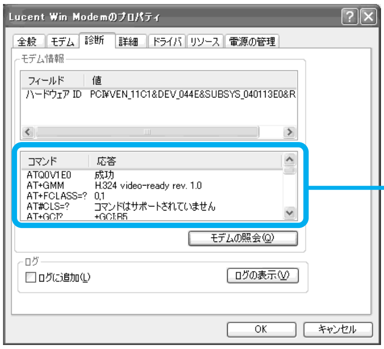
内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

6 [診断]タブをクリックする。

7 **[モデムの照会(Q)]をクリックする。**

コマンドに対して応答メッセージが表示されたら、内蔵モデムは正しく認識されています。

コマンドに対して応答メッセージが表示されない場合は、本機を再起動して手順1〜7をもう1度行ってください。



ここに表示される。

2 内蔵モデムが他のデバイスと競合していないか確認します。

1 **デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。**

「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。

3 **[システム]をクリックする。**

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 **[ハードウェア]タブをクリックする。**

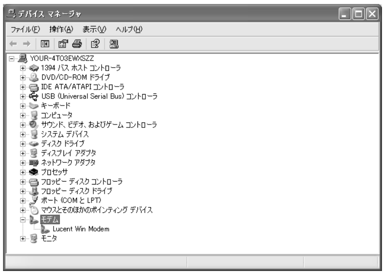
「ハードウェア」画面が表示されます。

5 **[デバイス マネージャ(D)]をクリックする。**

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6 **(モデム)をダブルクリックする。**

お使いのモデムのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。



3 内蔵モデムの設定をいったん削除し、もう1度、組み込み直します。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする。

「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。

3　［システム］をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4　［ハードウェア］タブをクリックする。

「ハードウェア」画面が表示されます。

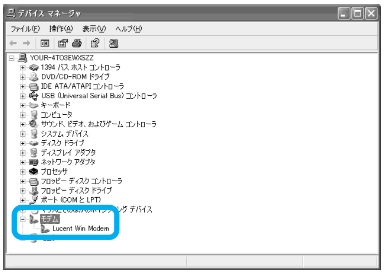
5　デバイス マネージャ(D) をクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

6　［モデム］をダブルクリックする。

7　お使いのモデムをクリックして選び、メニューバーの［操作］をクリックして表示されるメニューから［削除］をクリックする。

「デバイスの削除の確認」画面が表示されます。



8　OK をクリックする。

内蔵モデムの設定が削除されます。

9　「デバイスマネージャ」画面の × をクリックして画面を閉じる。

10　「システムのプロパティ」画面で OK をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が閉じます。

11　本機を再起動する。

再起動時に内蔵モデムが検出され、対応するドライバが自動的に組み込まれます。

B-1 一般電話回線がある場合は、一般電話回線に接続し直してください。

契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。
オンラインサインアップ後に、ISDN回線に接続し直してください。

B-2 ISDN回線しかない場合は、本機の内蔵モデムをターミナルアダプタのアナログポートに接続するか、または、ターミナルアダプタの設定を行い、内蔵モデムの代わりに使用してください。

ターミナルアダプタの設定について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。
オンラインサインアップ後に、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタを接続し直してください。

B-3 ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認してください。

詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

C-1 本機を電話回線に接続するときは、付属のテレホンコードをお使いください。

C-2 「発信音が聞こえません」または「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」というメッセージが表示されるときは、テレホンコードが本機側および壁側、ターミナルアダプタなどへしっかりと奥まで接続されているか確認してください。

C-3 電話回線のコンセントと本機の間に付属以外の分配器などの機器をつなげないでください。

D-1 以下の手順に従って操作し、ダイヤル方法（トーン／パルス）が正しく設定されているか確認してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

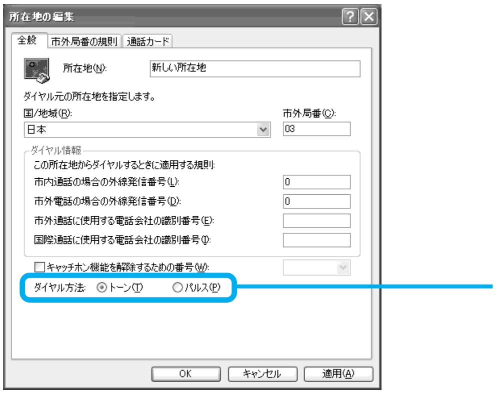
3 [電話とモデムのオプション]をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 編集(E)... をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

5 「ダイヤル方法」が90ページで作成したチェックシートの❻トーン／パルス（電話回線の種類）と同じか確認する。



6 OK をクリックする。

7 「電話とモデムのオプション」画面で OK をクリックする。

ちょっと一言

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で、「ダイヤル情報を使う」がチェックされている必要があります。詳しくは、「接続のための設定をする」（95ページ）の手順20をご覧ください。

D-2 お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）などの電話会社にお問い合わせください。

E-1 以下の手順に従って操作し、接続先の電話番号を確認してください。

1　デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

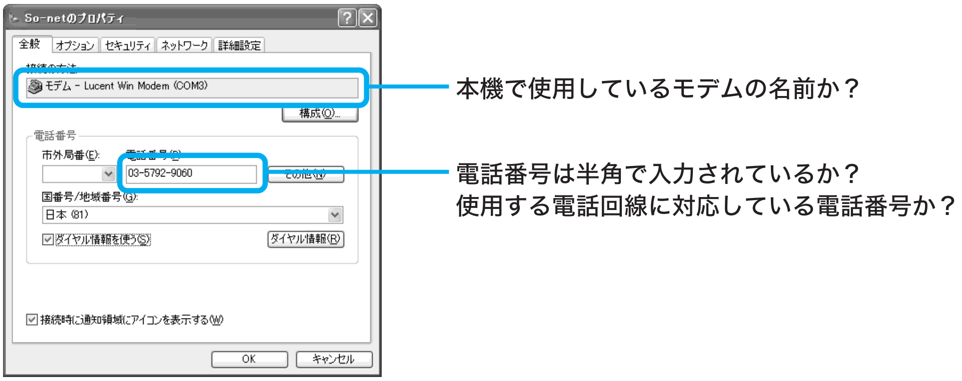
3　[ネットワーク接続]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　ダイヤルアップ接続名（90ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5　「接続の方法」の表示内容および「電話番号」の入力欄が間違っていないか確認する。



ちょっと一言

プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号を分けていることもあります。使用する電話回線に合った電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

F-1 以下の手順に従って操作し、トーンを待ってダイヤルする設定を解除してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。
「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

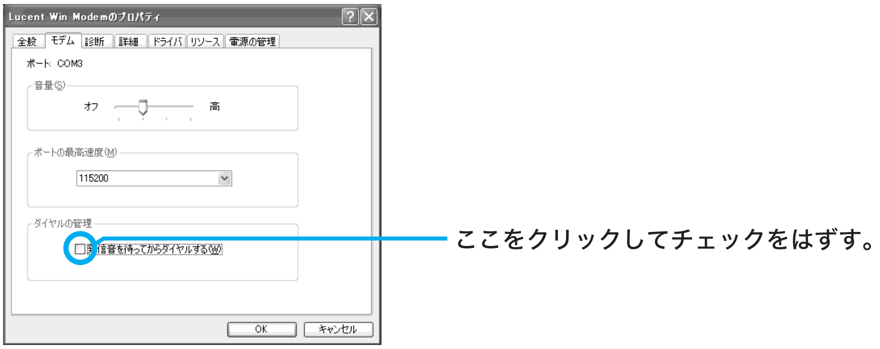
3 [電話とモデムのオプション]をクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 [モデム]タブをクリックする。
「モデム」画面が表示されます。

5 お使いのモデムをクリックして選び、 プロパティ(P) をクリックする。
内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

6 [モデム]タブをクリックする。
「モデム」画面が表示されます。

7 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。



8 OK をクリックする。

9 「電話とモデムのオプション」画面で OK をクリックする。

G-1 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかる場合があります。3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

H-1 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、以下のような問題が考えられます。

ネゴシエーションとは？

内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダのサーバーとの間で必要な信号のやりとりを行うことで、接続先につながると、「ピーヒョロロロ…」という音がします。

電話回線の問題

- 電話回線の状態が良くない。
- 電話回線が混み合っている。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみてください。

接続先（プロバイダのアクセスポイント）の問題

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更するには、以下の手順に従って操作します。

1 **デスクトップ画面左下の** **をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。**

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

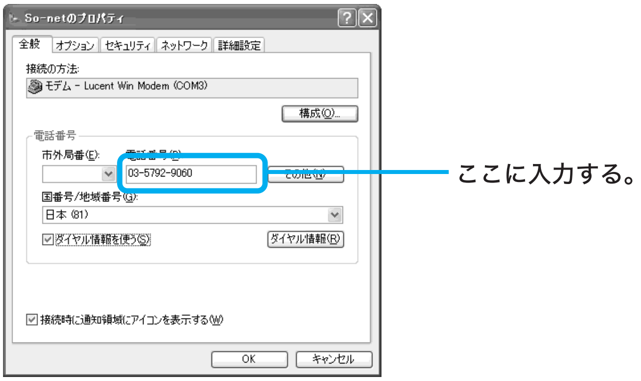
3 **[ネットワーク接続]をクリックする。**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 **ダイヤルアップ接続名（90ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。**

プロパティ画面が表示されます。

5 **「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。**



6 **をクリックしてプロパティ画面を閉じる。**

I-1 以下の手順に従って操作し、「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報の電話番号に接続できるか試してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[通信]、[ハイパーターミナル]の順にクリックする。

「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

2 「名前」に任意の名前を入れ、 OK をクリックする。

ここに入力する。

3 「電話番号」に時報の番号（117）を入れ、 OK をクリックする。

「接続」画面が表示されます。

4 ダイヤル(D) をクリックする。

I-2 お使いになっているソフトウェアの設定を確認してください。

J-1 「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示されるときは、ユーザー名やパスワードを確認してください。

ご注意

上記のメッセージは、ユーザー名やパスワードが正しくないときにのみ表示されるわけではありません。

ユーザー名とパスワードを確認するには、以下の手順に従って操作します。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3　［インターネットオプション］をクリックする。

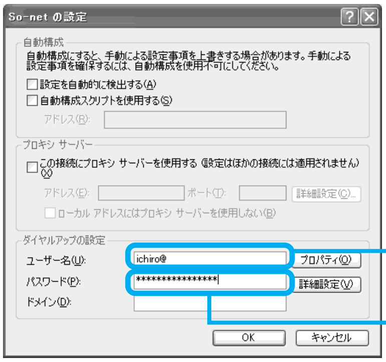
「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

4　［接続］タブをクリックする。

5　「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の中のダイヤルアップ接続名（90ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を選び、［設定(S)...］をクリックする。

設定画面が表示されます。

6　「ダイヤルアップの設定」の「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。



ここがチェックシートの❸ユーザー名（PPP）と同じか？

チェックシートの❹パスワード（PPP）をもう1度半角で入力してみてください。

K-1 プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

L-1 ユーザー名やパスワードを確認して接続してもJ-1（169ページ）で説明したメッセージが表示されるときは、以下の手順に従って、ダイヤルアップネットワークの設定を確認してください。90ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3 [ネットワーク接続]をクリックする。

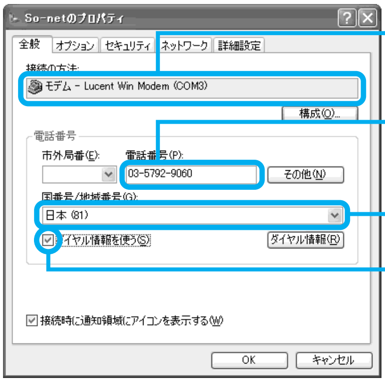
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 ダイヤルアップ接続名（90ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名）を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5 各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

「全般」タブ



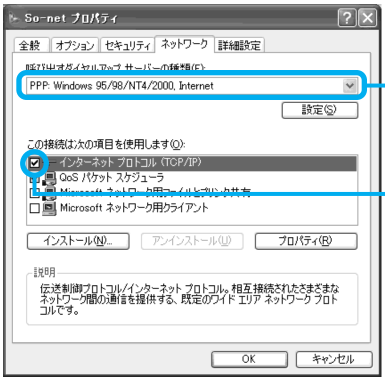
本機内蔵のモデムの名前か？

チェックシートの❷電話番号（アクセスポイント）と同じか？半角で入力されているか？

日本（81）が選ばれているか？

ここがチェックされているか？

「ネットワーク」タブ

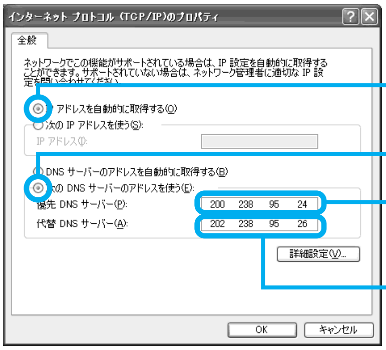


「PPP：Windows 95/98/NT4/2000,Internet」が選ばれているか？

ここがチェックされているか？

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面

「ネットワーク」タブで[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックして選び [プロパティ(P)] をクリックすると表示されます。



ご注意

プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない(自動設定)場合は、[次のDNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をクリックしてください。

ちょっと一言

DNSサーバーアドレス(プライマリDNSとセカンダリDNS)がチェックシートと異なる場合は、[次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

M-1 以下の手順に従って操作し、ネットワークの設定を確認してください。

1　デスクトップ画面左下の [スタート] をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3　[ネットワーク接続]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　ダイヤルアップ接続名(90ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする。

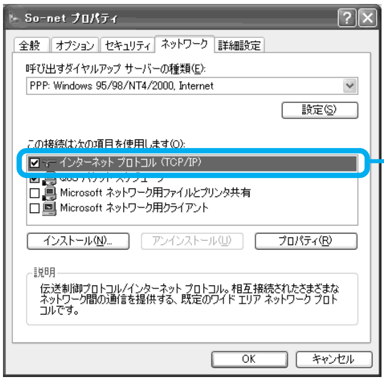
プロパティ画面が表示されます。

5　[ネットワーク]タブをクリックする。

「ネットワーク」画面が表示されます。

6　**「この接続は次の項目を使用します」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」があるか確認する。**

「この接続は次の項目を使用します」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」がない場合は、［インストール(N)...］をクリックして追加してください。



この項目があるか？

N-1 ダイヤルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直して接続してみてください。

ダイヤルアップ接続アイコンを作り直すには、以下の手順に従って操作します。

1　**デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2　**[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。**

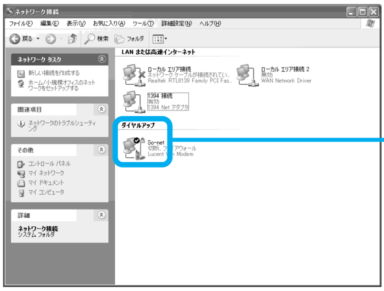
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3　**[ネットワーク接続]をクリックする。**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4　**ダイヤルアップ接続名(90ページで作成したチェックシートの❶ダイヤルアップ接続名)のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。**

ダイヤルアップアイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。



このアイコンを削除する。

5　**［はい(Y)］をクリックする。**

ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。

6　**「ネットワークタスク」の中の[新しい接続を作成する]をクリックする。**

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

7　**[次へ(N) >]をクリックする。**

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

8　**[インターネットに接続する]の◯をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。**

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

以下の手順は「接続のための設定をする」(95ページ)の手順3〜25の操作を行ってください。

インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワーク接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。

このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

O-1 L-1(171ページ)やM-1(172ページ)の操作を行い、ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定を再度確認してください。

P-1 アドレスバーに入力されている英数字を確認してください。また、URLは半角で入力してください。

URLの中には「~」(チルダ)という特殊な記号を入力するものもあります。「~」を入力するには、MS-IMEツールバーで「半角英数」または「直接入力」を選び、[Shift](シフト)キーを押しながら[^へ]を押します。

Q-1 「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合は、以下の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。90ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックします。

2　画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［アカウント］をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3　［メール］タブをクリックする。

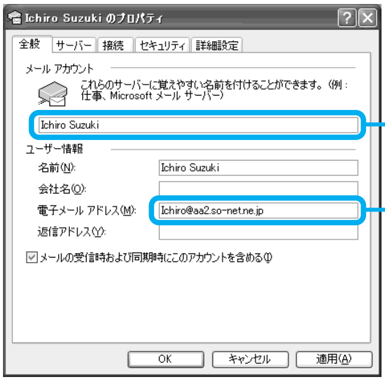
「メール」画面が表示されます。

4　お使いのアカウントをクリックして選び、［プロパティ(P)］をクリックする。

お使いのアカウントのプロパティ画面が表示されます。

5　各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

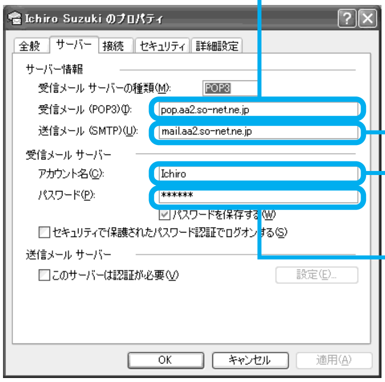
「全般」タブ



チェックシートの⑮インターネットメールアカウント名はお好みの名前を入れる。

チェックシートの⑩電子メールアドレスと同じか？

「サーバー」タブ



チェックシートの⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバーと同じか？

チェックシートの⑫送信メール（SMTP）サーバーと同じか？

チェックシートの⑬POPアカウント名と同じか？

チェックシートの⑭パスワード（POPアカウントパスワード）をもう１度入力してみてください。

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

Q-2 「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧になり、90ページで作成したチェックシートの❿〜⓮が正しく入力されているか確認してください。

動画／静止画編集

「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の認識ができない。「Smart Capture」ソフトウェアが起動している。
「Smart Capture」ソフトウェアと「DVgate」ソフトウェアをいったん終了し、「DVgate」ソフトウェアのみを起動してください。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「DVgate」ソフトウェアについて詳しくは、「DVgate」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「MovieShaker」ソフトウェアについて詳しくは、「MovieShaker」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画／静止画を電子メールで送れない。

→ 動画が電子メールで送れないときは、撮影時のモードを確認する。ネットムービーモードで撮影した動画のみ、電子メールに添付できます。

→ 電子メールソフトウェアの設定が正しいか確認する。詳しくは、「モデム／インターネット」（157ページ）をご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアについて詳しくは、「Smart Capture」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

エラーメッセージ

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。

→ 144ページをご覧ください。

電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

→ 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、フロッピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、Enter（エンター）キーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

→ 144ページをご覧ください。

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ 151ページをご覧ください。

「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

→ 151ページをご覧ください。

電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。

→ 本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。
バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。

→ BIOSの設定内容が壊れている。以下の手順に従って操作し、BIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

1 **本機前面の⏻（電源）ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。**
BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

2 **F5（Setup Defaults）キーを押す。**
「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

3 **Home／Endキーを押して[Yes]を選び、Enter（エンター）キーを押す。**
すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 **F10（Save and Exit）キーを押す。**
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 **Home／Endキーを押して[Yes]を選び、Enter（エンター）キーを押す。**
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

→ BIOSをお買い上げ時の設定に戻しても再度メッセージが表示されるときは、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。
バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示される。

→ 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。付属のリカバリディスクをディスクドライブに挿入しないでください。

1 **メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。**
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

2 **「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[OK]をクリックする。**
必要なファイルがコピーされます。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。

→ 169ページをご覧ください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。

→ 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

1 **デスクトップ画面左下の

をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Acrobat Reader 5.0]をクリックする。**

2 **言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、

をクリックする。**

言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。

3 **「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、

をクリックする。**

「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。

4 **「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の をクリックする。**

5 **「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。**

接続／拡張するときは

この章では、本機と周辺機器の接続と本機の拡張について説明します。

i.LINK対応機器をつなぐ

i.LINK対応機器の接続のしかた

デジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器を本機につないで、動画や静止画を取り込んだり、本機から動画を送出してテープに録画できます。

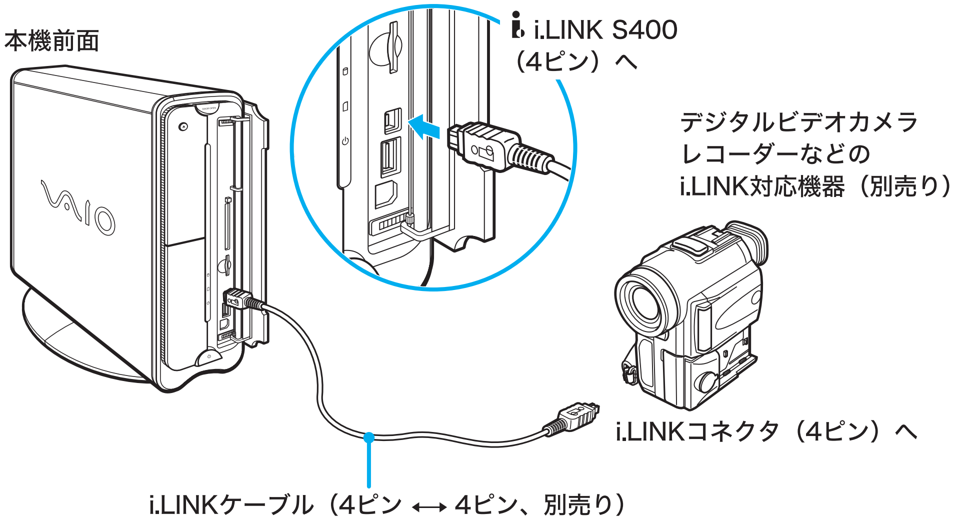
ご注意

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデータのやりとりをする場合は、「i.LINK 接続でデータをやりとりする」（185 ページ）をご覧ください。
- i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。接続に必要なケーブルや、操作できる機器について詳しくは、「必要な i.LINK ケーブル」（183 ページ）および「本機で操作できる i.LINK 対応機器」（184 ページ）をご覧ください。
- デジタルビデオカメラレコーダーを接続するときは 1 度電源を切ってから接続し、電源を入れ直してください。本機の電源は切る必要はありません。
- 1 度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは 1 台のみです。同時に 2 台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機の i.LINK コネクタは最大 400Mbps のデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続した i.LINK 対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続する i.LINK 対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK 対応機器の取扱説明書や、本機に付属の「DVgate」などの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

  * PCV-JX11GNをお使いの場合は、ソフトウェアによっては「Hotnetworkサービス」を利用してソフトウェアをダウンロードする必要があります（別売り）。

前面パネルのコネクタ（4ピン）を使うとき

i.LINKケーブル（4ピン↔4ピン、別売り、183ページ）を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ちょっと一言

- 本機の前面パネルを開けるには、「本機の前面パネルを開けるには」（34ページ）をご覧ください。
- 本機後面のi.LINKコネクタ（4ピン）（31ページ）に接続することもできます。

i.LINK対応機器が本機に正常に認識されないときは

以下の場合、i.LINK対応機器が本機に正常に認識されないことがあります。

- i.LINK 対応機器の電源を本機の電源より先に入れたとき
- i.LINK 対応機器の電源を入れた状態で、本機を休止状態にしてから通常の動作モードに戻したとき

この場合は、1度i.LINK対応機器の電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。

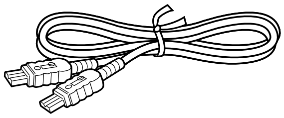
必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

i.LINK対応機器の接続には、本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、下記のソニー製i.LINKケーブル（別売り）をお使いください。

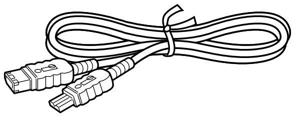
4ピン←→4ピン

- VMC-IL4408A（80cm）
- VMC-IL4415A（1.5m）
- VMC-IL4435A（3.5m）



4ピン←→6ピン

- VMC-IL4615A（1.5m）
- VMC-IL4635A（3.5m）



ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

本機で操作できるi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器に接続して、データをやりとりしたり、画像をデジタルのまま取り込むことができます。(2002年3月1日現在)

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューター
- i.LINK コネクタを持つソニーノートブックコンピューター*

  * 別売りのパワーアップステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルがあります。
  取り付けかたについて詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- ソニーが 2002 年 3 月 1 日までに日本国内で発売した、DV 端子付きの家庭用 DV 機器(Digital 8 デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く)
  DV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「DVgate」、「MovieShaker」、「Smart Capture」となります。
  ただし、ソフトウェアによっては一部の DV 機器が動作対象外になる場合があります。
  詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書、電子マニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどをご覧ください。

  * PCV-JX11GNをお使いの場合は、ソフトウェアによっては「Hotnetworkサービス」を利用してソフトウェアをダウンロードする必要があります(別売り)。

- ソニーが 2002 年 3 月 1 日までに日本国内で発売した、MPEG 端子付きの家庭用 MICROMV 機器(ツーリストモデルは除く)。(PCV-JX11GBP/JX11GN のみ)
  MICROMV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「MovieShaker」ソフトウェアとなります。
- その他、ソニー製の VAIO ブランドの i.LINK 対応機器の最新情報は、VAIO カスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

ご注意

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデータのやりとりをする場合は、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(185ページ)をご覧ください。
- 本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSビデオデッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することができません。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。
  i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア(OSを含む)、ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで接続を行うコンピュータ周辺機器(ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど)は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

i.LINK接続でデータをやりとりする

本機と「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応したVAIOやWindows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOを別売りのi.LINKケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。

また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。接続について詳しくは、「i.LINK対応機器の接続のしかた」（182ページ）をご覧ください。

Windows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。

「Smart Connect」ソフトウェアを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

接続先の「Smart Connect」ソフトウェアのバージョンをご確認ください。

- **「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェア以降の場合**
  「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアの通信モードを「STD モード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアのヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
- **「Smart Connect Ver.2.2」ソフトウェア以前の場合**
  「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」ソフトウェアをアップグレードすることでデータのやりとりができます。詳しくは、VAIO ホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html）をご覧ください。

  ご注意
  - アップグレード対象外の機種もあります。
  - 本機とアップグレード対象外の機種とではデータのやりとりはできません。

ご注意

- i.LINKケーブルを接続してから実際にデータをやりとりできるようになるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- i.LINKで接続したVAIOでは、次のような条件のときにデータのやりとりができなくなることがあります。
  - i.LINKケーブルを接続したまま、どちらかのコンピュータを再起動したとき
  - データをやりとりできる状態で本機にPCカードを挿入したとき

  データのやりとりができなくならないように、再起動するときは、i.LINKケーブルを抜く、または、PCカードを挿入してから再起動を行ってください。
  データのやりとりができなくなったときは、以下の手順に従って操作してください。
  データのやりとりができるようになります。

  1 本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。

  2 本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。

  本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[終了オプション]をクリックして表示される「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」を選んで電源を切ってください。
  本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

  3 本機およびi.LINK対応機器の電源コードをいったん抜いて、接続し直す。

  4 本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。

  5 i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。

- i.LINK接続でデータのやりとりをするには、Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有（Windows XP）、またはネットワーク共有サービス（Windows 98、Me）のインストールおよび設定が必要です。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。
- i.LINKケーブルを再度接続したあとは、接続先のVAIOを認識するのに数分かかることがあります。

接続先のコンピュータを探すには

接続先のコンピュータが、「マイネットワーク」画面にすぐには表示されないことがあります。

そのときは、デスクトップ画面左下の をクリックし、表示されるメニューから[マイコンピュータ]をクリックしたあと、[マイネットワーク]を右クリックして[コンピュータの検索]を選択し、接続先のコンピュータ名を入力して検索してください。

接続先から自分のコンピュータを利用できるようにするには

本機のフォルダや接続しているプリンタを接続先のコンピュータから利用できるようにするには、ネットワーク共有サービスのインストールおよび設定が必要です。

デスクトップ画面左下の をクリックし、表示されるメニューから[マイコンピュータ]をクリックしたあと、[マイネットワーク]をクリックします。「マイネットワーク」画面左上の「ネットワークのタスク」から[ホーム/小規模オフィスのネットワークをセットアップする]をクリックし、[ネットワークセットアップウィザードの開始]で設定することもできます。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには、デスクトップ画面左下の をクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックします。

USB機器をつなぐ

本機の前面または後面にあるUSBコネクタを使って、Windows XPに対応しているUSB機器をつなぐことができます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

USBコネクタに接続するときは、コネクタの向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、コネクタの破損の原因となります。

プリンタをつなぐ

Windows XPに対応しているUSBプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。USBプリンタに付属または別売りのUSBケーブルまたはプリンタケーブルを使って本機につなぎます。また、プリンタを使用するには、プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書および「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。プリンタのドライバを本機にインストールすることにより、本機からプリンタの動作をコントロールできるようになります。

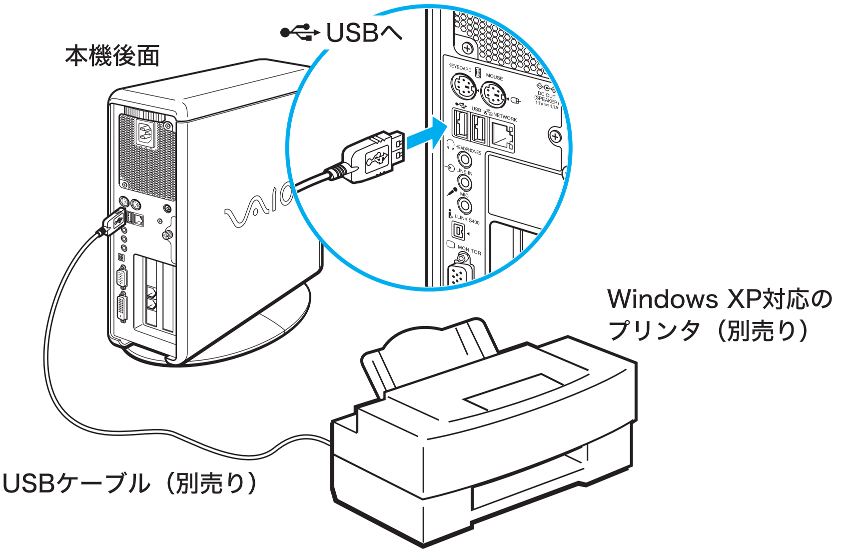
ちょっと一言

- 本機前面のUSBコネクタ（30ページ）に接続することもできます。

USB機器には、プリンタのほかに別売りのUSBフロッピーディスクドライブやデジタルスチルカメラなどがあります。

ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- Windows XPに対応していないUSBプリンタを本機につないでも、正常に動作しません。



USB機器を取りはずすには

ご注意

USB機器を取りはずすときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1～4は不要です。本機がスタンバイモード、または休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1～5を行ってください。本機を通常の動作モードに戻すには、キーボードのスペースキー（スタンバイモード時）を押すか、本機の⏻（電源）ボタン（休止状態時）を押します。

ちょっと一言

手順1～4が不要なUSB機器もあります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある** **をダブルクリックする。**

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2 **リストから取りはずしたいUSB機器をクリックし、[停止(S)]をクリックする。**

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 **取りはずすUSB機器を確認し、[OK]をクリックする。**

デスクトップ画面右下に「･･･は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

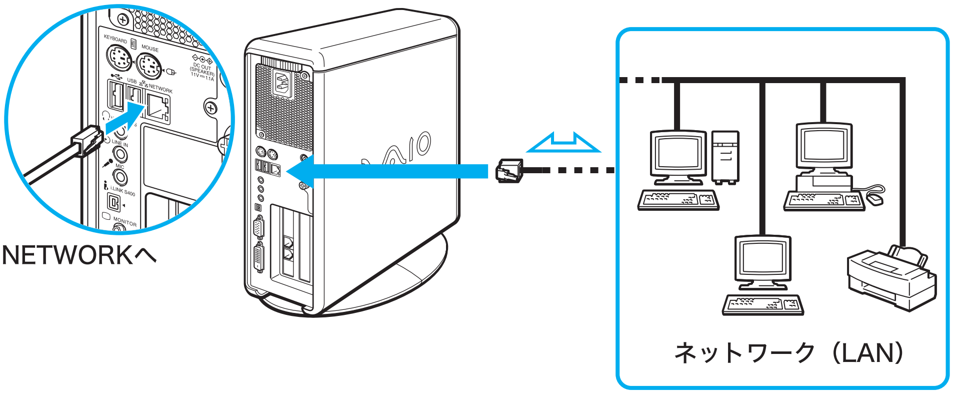
4 **「ハードウェアの安全な取り外し」画面の[閉じる(C)]をクリックする。**

5 **USB機器を取りはずす。**

ネットワーク(LAN)につなぐ

本機後面のNETWORK(ネットワーク)コネクタとネットワーク(LAN)を直接接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。

10BASE-Tと100BASE-TXタイプのネットワークに接続できます。



ADSLについて

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ご注意

NETWORK(ネットワーク)コネクタには指定以外のネットワークや電話回線を接続しないでください。

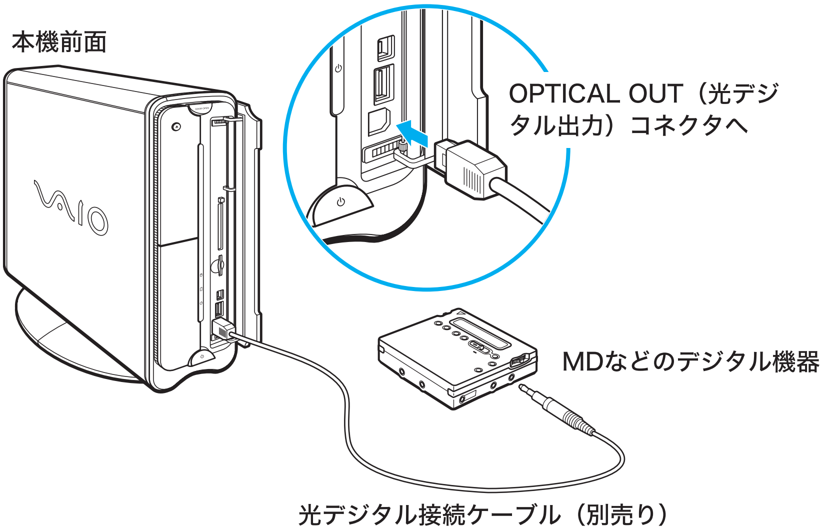
お買い上げ時にはNETWORK(ネットワーク)コネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。NETWORK(ネットワーク)コネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

MDなどのデジタル機器をつなぐ

本機のOPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタを使って、MD、DATなどのデジタル機器をつないで録音することができます。
接続した機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

デジタル機器と接続するには、別売りの光デジタル接続ケーブルが必要です。



ちょっと一言

別売りのソニー製の光デジタル接続ケーブルには、PCC-5ABなどがあります。

ご注意

- OPTICAL OUTコネクタの出力サンプル周波数は48kHzです。MDデッキなどを接続して録音する場合、接続した機器がこれらのサンプリング周波数に対応していないときは録音することができません。
- 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを使って、DVDビデオ再生時の出力音声形式を切り換えることができます。

  「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの（設定）をクリックして表示される「設定」画面で、設定を切り替えることができます。「S/PDIF出力」に設定した場合は、本機のHEADPHONE（ヘッドホン）コネクタなどから出力されるアナログ音声出力はオフになります。
- デジタル機器の機種によっては、対応していない場合があります。

PCカードを使う

本機にPCカードを装着すると、他のコンピュータとデータをやりとりしたり、さまざまな機能を拡張したりできます。

PCカードとは

PC Card規格に準拠した、着脱可能な機能拡張デバイスです。形はクレジットカードに似ていますが、やや大きくて厚みがあります。
主なPCカードには以下のような種類があります。

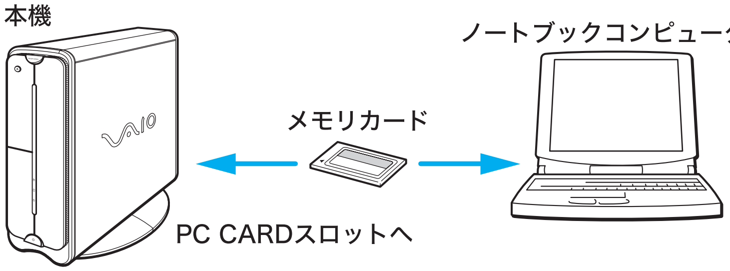
メモリカード

データをフラッシュメモリに保存します。PCカードに対応したデジタルスチルカメラで撮影した画像であれば、PCカードを本機に取り付けてそのまま取り込めます。

また、本機やPCカードに対応した機器で作成したデータをメモリカードに保存して、データをやりとりできます。

フラッシュメモリとは

電気的にデータを読み書きする、記憶メディアのひとつです。普通、書き込み可能なメモリは、電源を切ると内容が消えてしまいますが、フラッシュメモリは電源を切っても内容が消えないという特徴をもっています。



SCSIカード

MOドライブやスキャナなどのSCSIデバイスを接続できます。

MO とは

「エム・オー」と読みます。レーザー光線と磁気を利用してデータを読み書きする外部記憶メディアのことです。フロッピーディスクよりも容量が多く、種類により、最大2.3Gバイトまでデータを記録することができます。

SCSI とは

「スカジー」と読みます。コンピュータと、MOドライブやプリンタなどの周辺機器を接続するための規格のことです。周辺機器などをSCSIで接続すると、本機を含めて最大7台まで数珠つなぎに接続することができます。

ネットワークカード

イーサネットなどのネットワークに接続できます。

イーサネットとは

コンピュータ間のデータ通信方式のことで、職場などで複数のコンピュータをネットワーク（LAN）でつないで、データをやりとりするときに使われます。

無線LANカード

無線を使ってネットワークに接続できます。

本機には、PC Cardタイプ I とタイプ II に準拠したPCカードを挿入できるPCカードスロットがあります。
また、本機のPC CARD(PCカード)スロットは16ビットCardおよびCard Busにも対応しています。
(ZV(Zoomed Video)Portには対応していません。)

ご注意

PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。

- PCカードによっては、PC CARDスロットに挿入したまま本機の電源を入れると、正しく動作しないことがあります。この場合は、PCカードの使用を中止し、いったん取り出してから、もう1度入れ直してください。PCカードの取り出しかたについて詳しくは、「PCカードを取り出すには」(193ページ)をご覧ください。
- PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
- お使いのPCカードによっては、本機にプリインストールされているOSで動作を保証していなかったり、正しく動作しないことがあります。また、起動しているソフトウェアがPCカードを使用中のときは、本機のPC CARDスロットからPCカードを取り出すことはできません。この場合は、該当するソフトウェアを終了してからPCカードを取り出すか、本機の電源を切ってからPCカードを取り出してください。PCカードの接続情報について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

ドライバとは

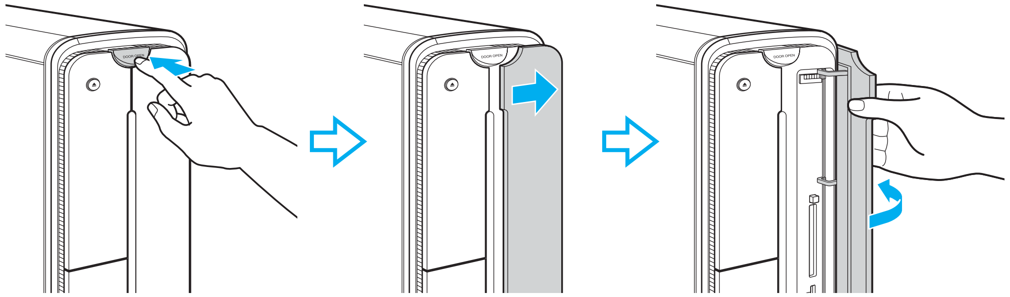
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータに知らせ、周辺機器を、正しく動かすために必要なソフトです。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。

1 **本機の前面のDOOR OPENボタンを押す。**

本機前面パネルのロックがはずれますので手で右にスライドさせて開けてください。

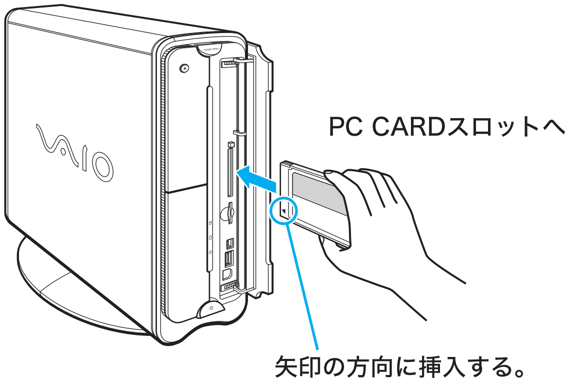


押す　スライドする　回転する

2　カードをPC CARD（PCカード）スロットに挿入する。

スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。

カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- お使いのPCカードのメーカーが提供する最新のドライバをお使いください。
- 「デバイスマネージャ」画面のPCカードに「！」がついている場合は、ドライバを削除し、再度インストールする必要があります。「デバイスマネージャ」画面を表示させるには、以下の手順に従って操作してください。

  1 **デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックする。**
  「コントロールパネル」画面が表示されます。

  2 **［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックし、［システム］をクリックする。**
  「システムのプロパティ」画面が表示されます。

  3 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ(D)］をクリックする。**
  「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

PCカードを取り出すには

ご注意

カードを取り出すときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。
本機の電源が切れているときは、PC CARD（PCカード）スロットのイジェクトボタンを押すだけでPCカードを取り出せます（手順1～5は不要です）。
本機がスタンバイモードまたは休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1～6を行ってください。本機を通常の動作モードに戻すにはキーボードのスペースキーを押す（スタンバイモード時）か、本機前面の⏻（電源）ボタンを押します。

1　本機の前面のDOOR OPENボタンを押す。

本機前面パネルのロックがはずれますので手で右にスライドさせて開けてください。

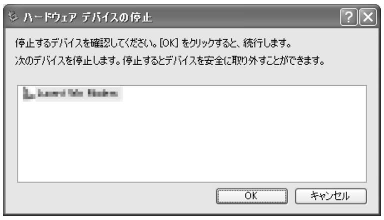
2 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

3 リストから取り出したいPCカードをクリックし、[停止(S)]をクリックする。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

4 取りはずすPCカードを確認し、[OK]をクリックする。

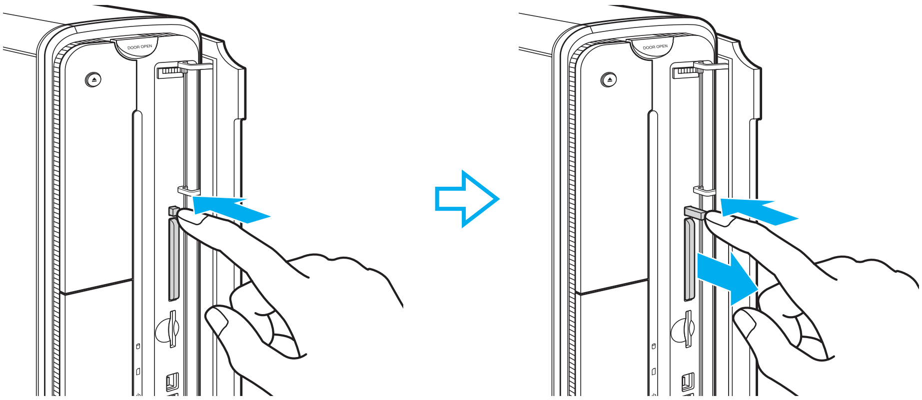


デスクトップ画面右下に「…は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

5 「ハードウェアの安全な取り外し」画面の[閉じる(C)]をクリックする。

6 PC CARD(PCカード)スロットのイジェクトボタンを押す。

1度イジェクトボタンを押してボタンを手前に引き出し、出たボタンをもう1度押すとPCカードを取り出すことができます。



カードがコネクタからはずれます。カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。

ちょっと一言

イジェクトボタンは、通常引っ込めた状態にしておいてください。

拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

拡張ボードの種類

本機では「PCI」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格に対応していることをご確認ください。

空きスロット(拡張ボードを増設できる場所)の数は、以下の表のとおりです。

機種名	空きスロットの数
PCV-JX11GBP/JX11GN	1
PCV-JX11BP/JX11	2

拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、約17.4cmまでです。

増設できる拡張ボードについて

VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)では、増設できる拡張ボードの情報を掲載しています。

リソースについて

拡張ボードは一般的にそれぞれ専用の割り込み番号(IRQ)、メモリ、I/Oポートなどの「リソース」(資源)を使用します。

PCI規格の拡張ボードではこれらのリソースが自動的に設定されます。

IRQとは

「アイアールキュー」と読みます。ハードウェアからの割り込み信号のことです。キーボードやマウスなどの周辺機器から入力があると、それを受け付けるかどうか判断します。受け付けるときは、その優先度に応じて割り込みした処理を行います。

メモリとは

コンピュータの中にあって、データやプログラムを保存しておくための場所、あるいは装置のことです。メモリには主記憶装置と、補助記憶装置があります。通常は主記憶装置のRAMを示します。

I/Oポートとは

「アイオーポート」と読みます。コンピュータにデータを入れたり(インプット)、出したり(アウトプット)するための接続部、または、コネクタ部の総称です。入力のための機器としてはキーボードやマウス、出力のための機器としてはディスプレイなどがあります。なお、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブは入出力のどちらも行える機器です。

リソースとは

もともとは、「資源」という意味です。コンピュータを使って何か作業を行う場合に、そのコンピュータが稼働するために必要なメモリ、入力装置、出力装置、制御装置などを指します。

リソースを確認するには

「システムのプロパティ」画面で現在使用中のリソースを確認することができます。以下の手順に従って確認します。

1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックする。

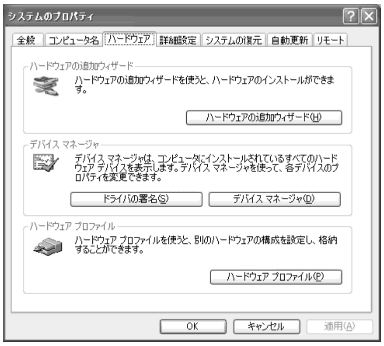
ショートカットメニューが表示されます。

2

[プロパティ]をクリックする。

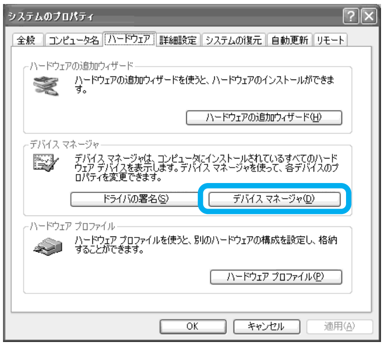
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

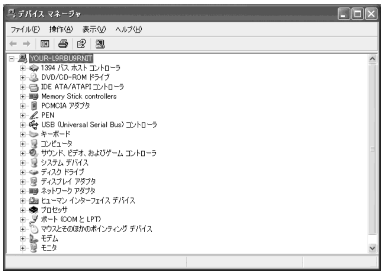
3 [ハードウェア]タブをクリックする。



4 デバイス マネージャ(D) をクリックする。

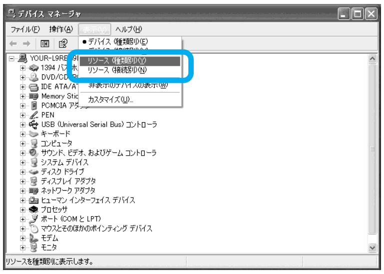
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

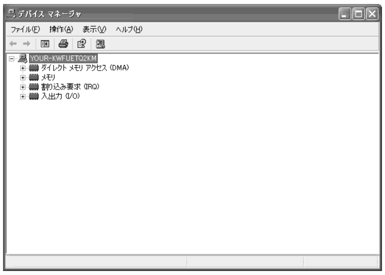




5 画面左上の[表示]をクリックして、表示されるメニューから[リソース（種類別）]または[リソース（接続別）]をクリックする。

現在使用中のリソースが種類別または接続別に表示されます。





プラグアンドプレイについて

「プラグアンドプレイ」とは、拡張ボードを装着するだけで特別な設定をしなくてもすぐに使用できる状態になる機能です。本機に取り付けられるPCI規格の拡張ボードはプラグアンドプレイに対応しています。PCI規格の拡張ボードはボードを取り付けたあと、リソースの設定が自動的に行われるので、ご自分で面倒な設定をする必要がありません。

拡張ボード取り付けの流れ

以下の流れに沿って、拡張ボードを増設します。

1 **本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く**

本機前面の電源ランプが消灯していることを確認してください。電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切る」(53ページ)をご覧ください。

2 **拡張ボードを取り付ける**

拡張ボードの取り付けかたについて詳しくは、「拡張ボードを取り付ける」(198ページ)をご覧ください。

3 **電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れる**

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(47ページ)をご覧ください。

4 **ドライバの設定、インストールを行う**

拡張ボードが本機に認識されるとメッセージが表示されるので、拡張ボードの取扱説明書なども参照のうえ、指示に従って操作してください。

ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすためにに必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付ける

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

取り付けるときのご注意

> 拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- **ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。**

ちょっと一言

- イラストは主にPCV-JX11BPのものです。

1

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずし、縦置きスタンドも取りはずす（34ページ）。

ご注意

電源を切ったあとすぐは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

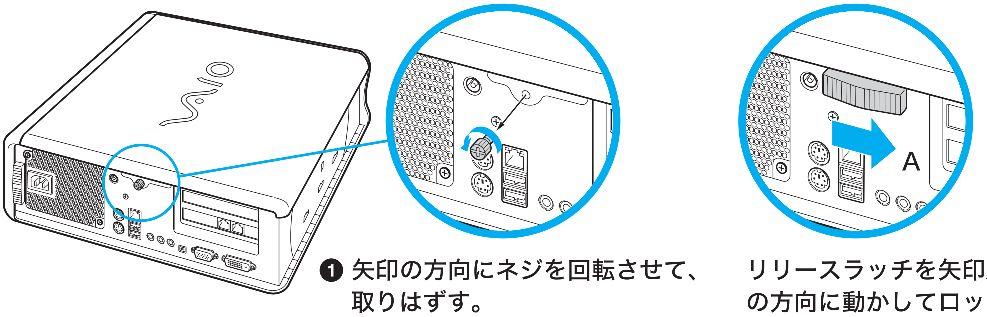
2

側面のカバーを取りはずす。

USBコネクタやMONITOR（モニタ）コネクタのある側を下向きにして本機を横置きに寝かせて、イラストのように側面のカバーを取りはずします。

ちょっと一言

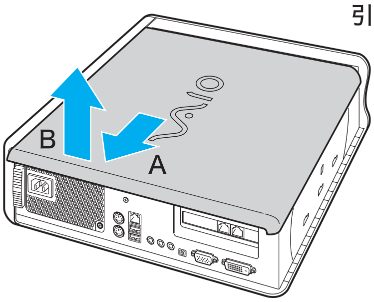
カバーの取りはずしかたはお使いの機種によって異なります。



❶ 矢印の方向にネジを回転させて、取りはずす。

リリースラッチを矢印Aの方向に動かしてロックをはずす機種もあります。

❷ 側面のカバーを矢印Aの方向へスライドさせてから、矢印Bの方向へ引き上げる。

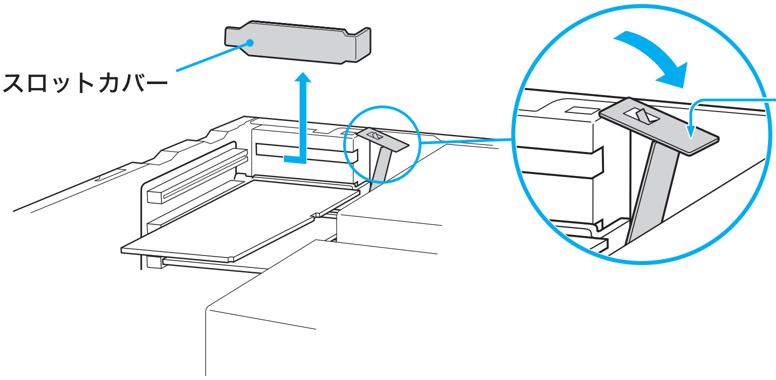


ご注意

本機を横置きに寝かせたときは、側面のカバーに傷がつかないようにご注意ください。

3 拡張ボードを固定している留金のロックを解除し、スロットのカバーを取りはずす。

イラストのように留金を強く押しながらスロットの反対方向に動かしてロックを解除し、本体の内側からスロットカバーを取りはずします。

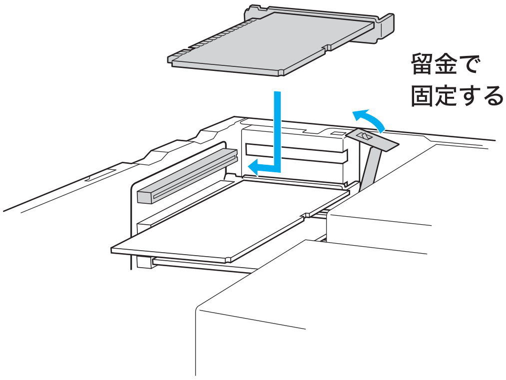


ご注意

- 内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。
- 板金や基板の角で手や指にけがをしないようにご注意ください。
- 空きスロットの数と位置は、お使いの機種によって異なります。

4 拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、留金で固定します。
拡張ボード固有の設定について詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。

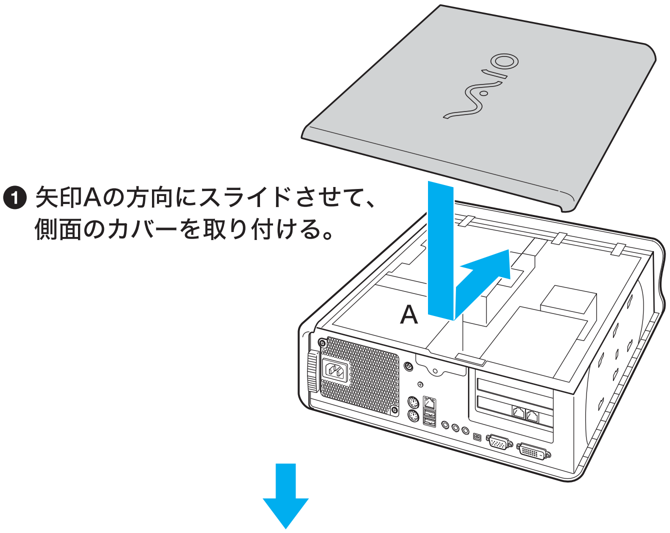


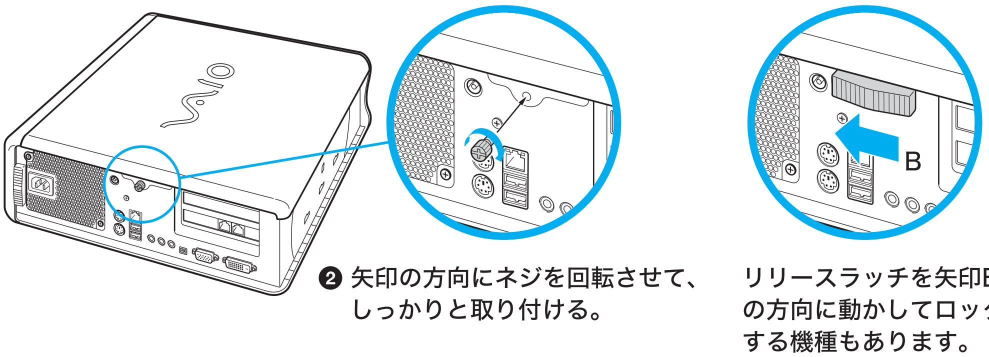
5 カバーを取り付ける。

イラストのように側面のカバーを取り付け、縦置きスタンドを取り付けてから、本機を縦置きに戻します。

ちょっと一言

カバーの取り付けかたはお使いの機種によって異なります。





6 手順1ではずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

メモリを増設する

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

> メモリの増設は本機内部の電源部分やケーブル類を取りはずすなどの作業が必要です。
> 電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けをご依頼ください。
> メモリの増設をご自分で行うと、本機が故障したり、手や指をけがする恐れがありますので、絶対に行わないでください。

- ソニー製のメモリーモジュールを取り付けるときは VAIO **カスタマーリンク修理窓口または販売店にご依頼ください。**メモリ増設サービス（有料）をご利用いただけます。
- **ご自分でメモリ増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。**

取り付けられるメモリモジュール

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、標準で256Mバイトのメモリが1枚装着されています。以下のソニー製のメモリーモジュールを取り付けることにより、メモリを増設できます。

容量	取り付けるメモリモジュール	1枚増設すると
256M バイト	PCVA-MM256D	512Mバイト （256+256Mバイト）
512M バイト	PCVA-MM512D	768Mバイト （256+512Mバイト）

ご注意

メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

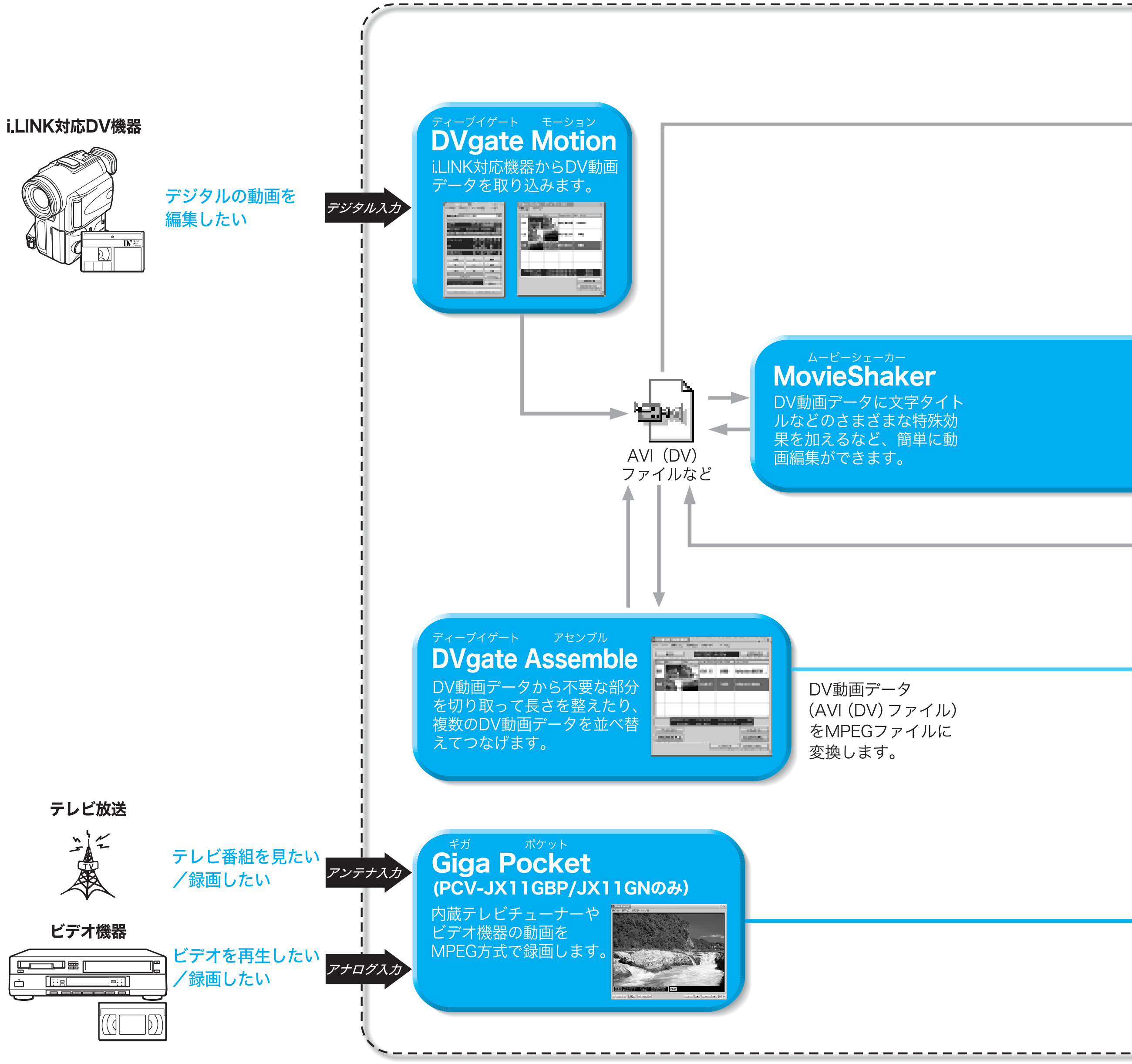
その他

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明します。

動画系ソフトウェアの操作の流れ

本機には動画を扱うソフトウェアが数多く付属しています。それぞれのソフトウェアの役割と操作の流れを簡単に紹介します。それぞれのソフトウェアの使いかたについて詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。本機とi.LINK対応機器のつなぎかたについては、「i.LINK対応機器をつなぐ」（182ページ）をご覧ください。

PCV-JX11GBP/JX11GNをお使いの場合は、本機とAV機器の接続について、別冊の「Giga Pocket はじめにお読みください」をご覧ください。



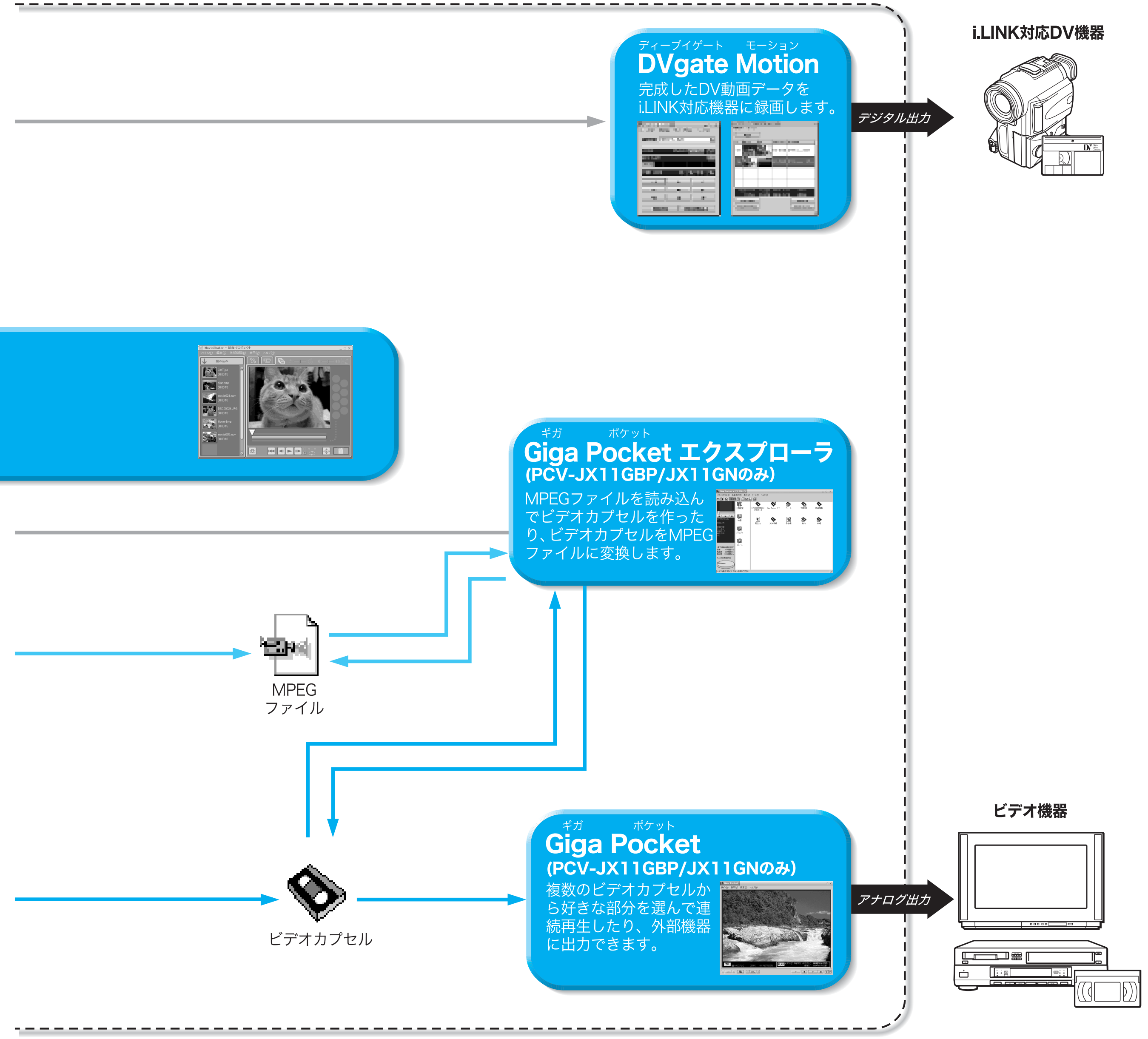
ちょっと一言

PCV-JX11GNをお使いの場合は、ソフトウェアによって「Hotnetworkサービス」をご利用になりソフトウェアをダウンロードする必要があります（別売り）。

AVI（DV）：Windowsで動画や音声を再生するために米マイクロソフト社が作ったファイル形式です。「DVgate Motion」ソフトウェアではDV形式で圧縮されたAVIファイルのみを扱っています。

MPEG：動画データの圧縮方式です。

ビデオカプセル：「Giga Pocket」ソフトウェアでは、MPEGの動画ファイルと各種の付加情報を1つにまとめて「ビデオカプセル」と呼びます。



コンピュータウイルスについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

コンピュータウイルスとは？

コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて

ご注意

本機の2回目の起動時、または「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus 情報ウィザード」画面が表示されるので、次へ(N) をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

なお、「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプを表示するには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Norton AntiVirus]、[Norton AntiVirus2002]の順にクリックして表示される画面右上の[ヘルプ]をクリックしてください。

シマンテック テクニカルサポートセンター

電話番号：(03)3476-1118
ファックス：(03)3477-1118
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック カスタマーサービスセンター

電話番号：(03)3476-1156
ファックス：(03)3476-1159
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ちょっと一言

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。

また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。ただし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテック ホームページをご覧になり、お申し込みください。

http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号：（03）3476-1192

ファックス：（03）3780-9988

電話受付時間：月〜金 10時〜12時、13時〜17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

リカバリディスクで本機を再セットアップする

ここでは付属のリカバリディスクを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリディスクとは

付属のリカバリディスクには、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、リカバリを行って本機を再セットアップすることでハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

なお、Microsoft®Office XP Personal付属モデルでは、再セットアップ後に、付属のMicrosoft®Office XP Personalプレインストールパッケージで「Microsoft®Office XP Personal」のすべての機能をインストールし直してください。

リカバリディスクを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する（出荷時の状態に戻る）。
- ハードディスクのパーティションのサイズを変更する。詳しくは「パーティションサイズを変更する」（219 ページ）をご覧ください。

「Hotnetwork サービス」でソフトウェアを購入された場合のご注意（PCV-JX11GN のみ）

リカバリを行うと、「Hotnetworkサービス」で購入されたソフトウェアは復元されません。リカバリ終了後、CD-Rなどに保存したソフトウェアを再インストールしてください。

ご注意

- 付属のリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- 付属のリカバリディスクで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて出荷時の設定に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、リカバリディスクに収録されている「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずに再セットアップを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 本機は、出荷時に、プロダクトアクティベーション（ライセンス認証）は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
  また、付属のリカバリディスクで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション（ライセンス認証）は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
- BIOSの設定状態によっては、リカバリディスクが起動しないことがあります。この場合は、BIOSをお買い上げ時の設定に戻す必要があります。
  BIOSを出荷時の状態に戻すには、以下のように操作します。

  1 **本機前面の⏻（電源）ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードの F2 キーを押す。**
  BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

  2 **F5（Setup Defaults）キーを押す。**
  「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

  3 **Home／End キーを押して[Yes]を選び、Enter（エンター）キーを押す。**
  すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

  4 **F10（Save and Exit）キーを押す。**
  「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

  5 **Home／End キーを押して[Yes]を選び、Enter（エンター）キーを押す。**
  変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

BIOSとは

「バイオス」と読みます。コンピュータの基本的な設定をするためのプログラムの集まりで、電源を入れると最初にBIOSの読み込みが始まります。もし、BIOSが正しく働かないと、コンピュータは起動しなくなります。

リカバリの種類

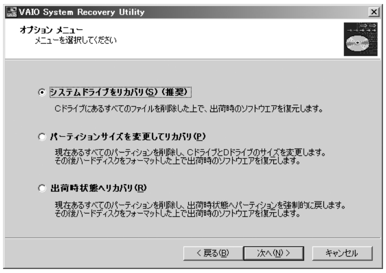
リカバリディスクを使うと、次のような方法で本機を再セットアップすることができます。

通常は、「システムドライブをリカバリ」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	説明
システムドライブをリカバリ	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時の設定を復元します。C:ドライブ以外のドライブにあるファイルは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハードディスクにあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブとも含めてすべて失われてしまいます。
出荷時状態へリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、出荷時状態へパーティションを強制的に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハードディスクにあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

「システムドライブをリカバリ」を選択するときは、下の画面で「システムドライブをリカバリ」を選択します。

「オプションリカバリ」を選択すると、下の画面が表示され、「パーティションサイズを変更してリカバリ」、「出荷時状態へリカバリ」を選択することができます。



その他

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW ／ CD-R にコピーする。
- D：ドライブにデータを残して、再セットアップを行う。
  本機のハードディスクは、C：ドライブと D：ドライブの 2 つのパーティションに分かれています。次の、「再セットアップする」の手順 9 で「システムドライブをリカバリ」を選んだ場合、C：ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D：ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「SonicStage for VAIO」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

再セットアップする（システムドライブをリカバリ）

再セットアップする前に、以下の点を確認してください。

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、再セットアップが終わったあとに再び接続してください。
- 別売りの USB フロッピーディスクドライブを取り付けている場合は、取りはずしてください。
- 大切なデータはバックアップをとったか確認してください。
- Windows が完全に起動できなかった場合などに本機を再セットアップするときは、「Windows が完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（218 ページ）をご覧ください。
- パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（219 ページ）をご覧ください。

ご注意

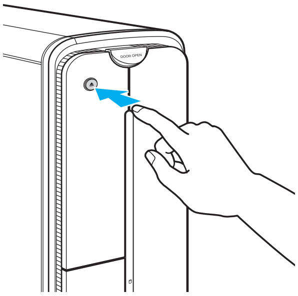
再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップする前に、大切なデータはCD-RW／CD-R、またはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源を入れる。

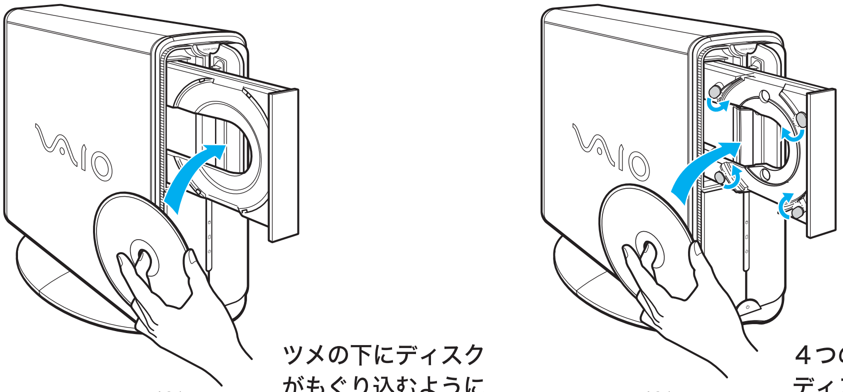
電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（47ページ）をご覧ください。

2 イジェクトボタンを押す。

ディスクトレイが自動的に引き出されます。



3 付属のリカバリディスクを、レーベル面（文字が書いてある面）を外側にして、トレイにはめ込む。



ちょっと一言

本機のディスクドライブには、上のイラストに示すような2種類があります。ドライブによってディスクを入れる／取り出す方法が異なります。

4 ディスクトレイを軽く押して、トレイを閉める。

自動的に「VAIO Application Recovery Utility」画面が表示されます。

5 [閉じる]をクリックする。

6

本機を再起動して、Sonyロゴが表示されたあと、画面左下に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示される。

3秒以内に、何かキーボード上のキーを押す。

```
**********
**********
**********

Press any key to boot from CD..
```

表示されたら、**3秒以内**に何かキーボード上のキーを押す。

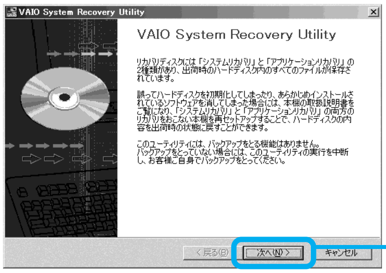
リカバリディスクから本機が起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。(起動には数分かかる場合があります。)

ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順6からやり直してください。

7

「VAIO System Recovery Utility」画面の内容をよく読み、[次へ(N) >]をクリックする。



ここをクリックする。

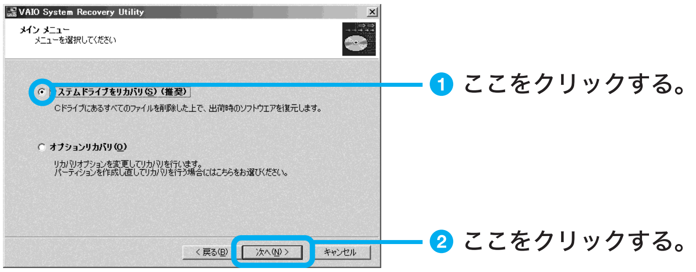
「はじめに」画面が表示されます。

8

「はじめに」画面の内容をよく読み、[次へ(N) >]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

9 [システムドライブをリカバリ]の◯をクリックして◉にし、[次へ(N) >]をクリックする。



「実行確認」画面が表示されます。

10 画面の指示に従って操作し、「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されたら、[はい(Y)]をクリックする。

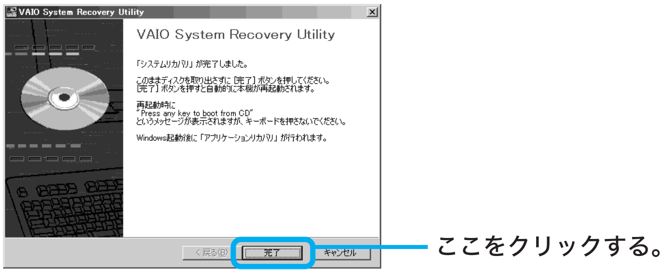
再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは、[いいえ]をクリックして、続いて「実行確認」で[キャンセル]をクリックします。

リカバリ中にキャンセルをすると、リカバリ中のドライブはフォーマットされていない状態になります。

セットアップが終わると、「システムリカバリが完了しました。」画面が表示されます。

11 [完了]をクリックする。



本機が再起動します。

ご注意

本機の再起動時に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されますが、キーボードは押さないでください。

その他

12 「Windowsを準備する」（48ページ）の手順に従って、Windowsをセットアップする。

ご注意

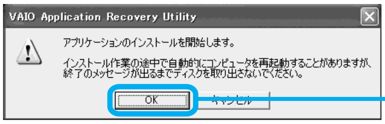
Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかります。途中、（ポインタ）だけがしばらく表示されますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、故障の原因にもなります。

13 Windowsのセットアップ終了後、本機が自動的に再起動し「アプリケーションのインストールを開始します。」画面が表示される。

ご注意

「Windowsを準備する」（48ページ）の手順6で複数のユーザーの名前を入力した場合は、ユーザー名を選択する画面が表示されます。この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

14 [OK]をクリックする。



ここをクリックする。

自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてください。

15 [スタート]をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Norton AntiVirus］から［Norton AntiVirus 2002］をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されるので、［次へ］をクリックし、画面の指示に従って操作してください。すべての作業が終了すると「Norton AntiVirus」のメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されたら画面右上の[×]をクリックして画面を閉じてください。

16 本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットを始める」(79ページ)の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

Microsoft® Office XP Personal付属モデルをお使いの場合は、引き続き以下の手順を行ってください。

17 付属のMicrosoft®Office XP Personalプレインストールパッケージで、「Microsoft®Office XP Personal」をインストールする。

下記の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

1. Office CDをディスクドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
2. 「インストールの種類を指定してください」画面が表示されたら、「カスタム」の◯をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。
3. 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の◯をクリックして◉にし、[次へ]をクリックする。
4. 「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[マイコンピュータからすべて実行]をクリックする。
5. [Microsoft Excel for Windows]をダブルクリックして「読み上げ」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。
6. [Office共有機能]、[入力システムの拡張]の順にダブルクリックし、「音声」左横のアイコンをクリックして表示されたポップアップメニューから[インストールしない]をクリックする。
7. [次へ]をクリックする。
8. 「インストールを開始します」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。

   インストールが始まります。
9. インストールが終了したら、[はい]をクリックし、画面の指示に従って本機を再起動する。
10. 再起動後、Bookshelf BasicのCD-ROMをディスクドライブに入れ、「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0のウィザードへようこそ」の画面が表示されたら[次へ]をクリックする。
11. セットアップタイプ選択画面が表示されたら、[標準]をクリックする。

12 **「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。**

インストールが始まります。

13 **「ウィザードが完了しました」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。**

14 **インストール終了後、デスクトップ画面左下の をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から[QuickShelf]を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[削除]をクリックする。**

「ショートカットの削除の確認」画面が表示されるので[ショートカットの削除]をクリックして削除してください。

15 **デスクトップ画面左下の をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[スタートアップ]から[Microsoft Office]を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[削除]をクリックする。**

「ショートカットの削除の確認」画面が表示されるので、[ショートカットの削除]をクリックして削除してください。

16 **デスクトップ画面左下の をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Reference]から、[Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0]をクリックする。**

「Bookshelf Basic」ソフトウェアが起動します。

17 **「ツール」メニューから[オプション]をクリックして、「QuickShelfの開始」の をクリックして にし、[OK]をクリックする。**

通知領域(タスクトレイ)に「Quickshelf 3」のアイコンが存在しないことを確認してください。

18 **「ファイル」メニューから[終了]をクリックし、「Bookshelf Basic」ソフトウェアを終了する。**

19 **デスクトップ画面左下の 、[マイコンピュータ]の順にクリックし、「マイコンピュータ」画面を表示させ、[ローカルディスク(C:)]、[Program Files]、[OFFICE10]、[SP1]、[STANDARD]、[SP1CDPAK.EXE]の順にダブルクリックする。**

20 **「展開されたファイルを保存する場所を指定してください」画面が表示されるので、[参照]をクリックし、「C:¥Program Files¥OFFICE10¥SP1¥STANDARD」を指定して[OK]をクリックする。**

指定した場所が正しいことを確認し、再度[OK]をクリックしてください。

㉑ **「Oxpsp1.exe」(展開されたファイル)をダブルクリックし、「このアップデートプログラムをインストールしますか?」と表示されたら、[はい]をクリックする。**

使用許諾契約書が表示されたら内容を確認して[はい]をクリックし、画面の指示に従ってインストールを行ってください。ディスクを挿入するようメッセージが表示されたら、Office CDをディスクドライブに入れて[OK]をクリックしてください。「アップデートは正常に適用されました」と表示されたら、[OK]をクリックしてください。

ちょっと一言

通常は上記の手順で標準アップデートを行ってください。管理者用アップデートやOffice XP ServicePack1については、「C:¥Program Files¥OFFICE10¥SP1INST.HTM」をご覧ください。

㉒ **デスクトップ画面左下の[スタート]、[マイコンピュータ]の順にクリックし、「マイコンピュータ」画面を表示させ、[ローカルディスク(C:)]、[Program Files]、[OLPLUSJ]、[EXE]、[olplusj.exe]の順にダブルクリックする。**

「Microsoft Outlook Plus! ツールセットアップ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックしてください。

㉓ **「使用許諾契約書」画面が表示されたら内容を確認して[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってインストールを行う。**

「Microsoft Outlook Plus! ツールは正常にインストールされました」画面が表示されたら、[完了]をクリックしてください。

ちょっと一言

ステップバイステップインタラクティブのインストールについて詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

18 ライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。

詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- 「Microsoft®Office XP Personal」のいずれかのソフトウェアを起動する。
- デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Office ツール]から[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、下記の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号:(0120)801-734　受付時間:24時間受付

ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(79ページ)をご覧ください。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1

本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（47ページ）をご覧ください。

2

「再セットアップする（システムドライブをリカバリ）」（210ページ）の手順2～4に従って、付属のリカバリディスクをディスクドライブに入れる。

3

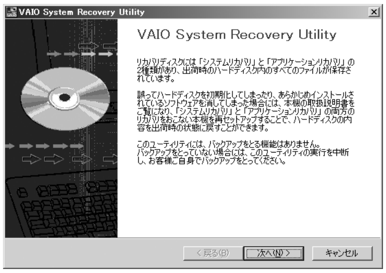
本機前面の ⏻（電源）ボタンを4秒以上押して本機の電源を切る。

4

30秒ほど待ってから、⏻（電源）ボタンを押して本機の電源を入れる。

Sonyロゴが表示されたあと、画面左下に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されたら、3秒以内に何かキーボード上のキーを押してください。

リカバリディスクから本機が起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。（起動には数分かかる場合があります。）



ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順3から行ってください。

5

「再セットアップする（システムドライブをリカバリ）」（210ページ）の手順7～18の操作を行ってください。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（出荷時）。付属のリカバリディスクを使ってパーティションサイズを変更できます。

動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

パーティションとは

ハードディスクなどの大容量補助記憶装置の領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

「Hotnetwork サービス」でソフトウェアを購入された場合のご注意（PCV-JX11GN のみ）

リカバリを行うと、「Hotnetworkサービス」で購入されたソフトウェアは復元されません。リカバリ終了後、CD-Rなどに保存したソフトウェアを再インストールしてください。

ご注意

- 「SonicStage for VAIO」ソフトウェアで取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage for VAIO」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-RW／CD-Rまたはフロッピーディスクやなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

パーティションサイズを変更するには

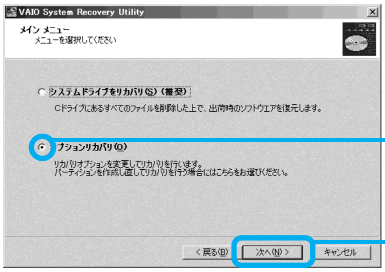
1 **「再セットアップする（システムドライブをリカバリ）」（210ページ）の手順1〜8を行う。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

その他

2

[オプションリカバリ]の◯をクリックして◉にし、 次へ(N) > をクリックする。



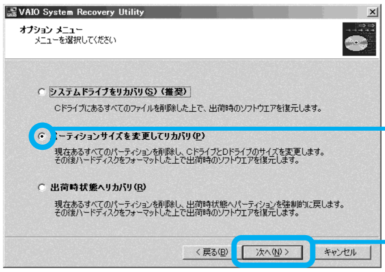
❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「オプションメニュー」画面が表示されます。

3

「オプションメニュー」画面の中から、「パーティションサイズを変更してリカバリ」の、◯をクリックして◉にし、 次へ(N) > をクリックする。



❶ ここをクリックする。

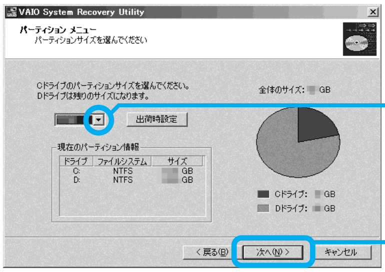
❷ ここをクリックする。

「パーティションメニュー」画面が表示されます。

ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

4

▼をクリックしてパーティションサイズを選び 次へ(N) > をクリックする。



❶ クリックして選ぶ。

❷ ここをクリックする。

5 画面の指示に従って操作し、「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されたら［はい(Y)］をクリックする。

パーティションサイズが変更され再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは[いいえ]をクリックして、続いて「実行確認」で［キャンセル］をクリックします。

6 セットアップが終わると、「システムリカバリが完了しました。」画面が表示されます。

7 ［完了］をクリックする。

本機が再起動します。

ご注意

本機の再起動時に「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示されますが、キーボードは押さないでください。

8 「Windowsを準備する」（48ページ）の手順に従って、Windowsをセットアップする。

ご注意

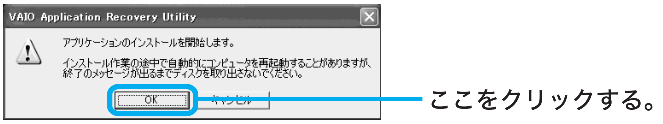
Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかります。途中、（ポインタ）だけがしばらく表示されますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、故障の原因にもなります。

9 Windowsのセットアップ終了後、本機が自動的に再起動し「アプリケーションのインストールを開始します。」画面が表示される。

ご注意

「Windowsを準備する」（48ページ）の手順6で複数のユーザーの名前を入力した場合は、ユーザー名を選択する画面が表示されます。この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

10 OK をクリックする。



自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、OK をクリックしてください。

11 スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Norton AntiVirus]から[Norton AntiVirus 2002]をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されるので、[次へ]をクリックし、画面の指示に従って操作してください。すべての作業が終了すると「Norton AntiVirus」のメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されたら画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じてください。

12 本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットを始める」(79ページ)の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

> **Microsoft® Office XP Personal付属モデルをお使いの場合は、引き続き以下の手順を行ってください。**

13 「再セットアップする(システムドライブをリカバリ)」(210ページ)の手順17に従って、付属のMicrosoft® Office XP Personalプレインストール パッケージで、「Microsoft® Office XP Personal」をインストールする。

14 「再セットアップする(システムドライブをリカバリ)」(210ページ)の手順18に従って、ライセンス認証を行う。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- CD-RW／CD-Rにデータを記録中に振動や衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイについて
  - 液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。
  - 液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤、青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。
- ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイを戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まるまでお待ちください。
- ガラスの表面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はガラスを傷めることがありますので、使わないでください。
- ディスプレイの近くにAMラジオは置かないでください。ディスプレイとAMラジオの周波数がお互いに干渉して双方で障害が発生します。ディスプレイとAMラジオは充分に距離をとって置いてください。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、本来はほこりや振動に弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクにはほこりや振動からデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

バックアップをとる

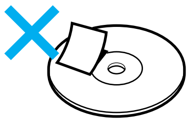
ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップをとることをおすすめします。

ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

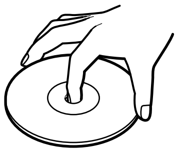
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。ディスクは記録面が汚れるとデータの書き込みができなくなります。記録面には触れないでください。

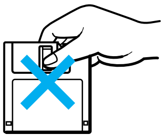


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの書き込みができなくなることがあります。

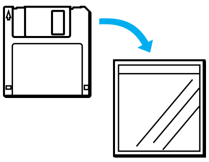
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。



ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは原則として禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みのうえ、お使いください。

CD-RW／DVD-ROM一体型ドライブの地域番号（リージョンコード）書き換えについて

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

データのバックアップについて

ハードディスクドライブに保存している文書などのデータは、定期的にバックアップをとるようおすすめします。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。

お手入れ

本機やディスプレイのお手入れ

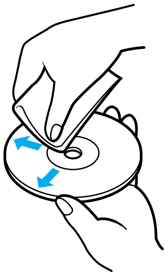
本機やディスプレイについたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機やディスプレイの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ぬれたもので本機やディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

CD-ROM／DVD-ROMのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



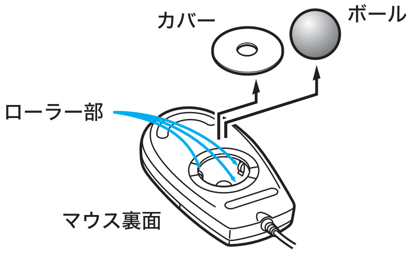
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

CD-RW／CD-Rのお手入れ

- CD-RW／CD-Rは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- CD-RW／CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- CD-RW／CD-Rは直射日光を避けて保存してください。

マウスを掃除する

マウスは長く使っていると、内部にゴミやほこりなどがたまり、画面上のポインタが思うように動かなくなります。この場合は、マウスの裏面のカバーを取りはずし、ボールを取り出して内部を掃除します。



- 乾いた布で内部のゴミやほこりなどを取り除いてから綿棒でローラー部のゴミをこすり取ってください。
- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、マウスを本機から取りはずしてからマウスを掃除してください。
- ぬれたものでマウスを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

キーボードを掃除する

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーの間は、エア・スプレーなどでゴミやほこりを散らしてください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- ぬれたものでキーボードを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間となります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。

当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、ハードディスクなどのプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- お客さまのカスタマーID：
- 型名：保証書に記載されています。
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

1 デスクトップ画面のをダブルクリックする。

「サイバーサポート」が表示されます。

2 画面上部の VAIO の楽しみかた をクリックする。

3 画面左から[付属ソフトウェアの一覧]をクリックする。

その他

ご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

PCV-JX11GNをお使いの方は

PCV-JX11GNには、以下のソフトウェアは付属されておりません。

ただし、以下の（ダウンロード＆アップデートアイコン）がついているソフトウェアは、「Hotnetworkサービス」で購入することができます（2002年6月1日現在）。

- ■DigitalPrint Ver.1.1
- ■DVgate Ver.2.5
- ■MovieShaker Ver.3.3
- ■PictureGear Ver.5.1
- ■PictureToy Ver.1.1
- ■筆ぐるめ for VAIO
- ■VAIO Media Launcher
- ■Q-ze Talk(キュゼ・トーク)Ver.1.2
- ■Smart Capture Ver.4.3
- ■URecSight Ver.2.2
- ■MapCutter Ver.2.0
- ■Navin' You Ver.5.5
- ■Navin' You専用グルメ＆ドライブスポット 327 by Walkerplus.com
- ■Navin' You専用マップ2サンプル版
- ■乗換案内　時刻表対応版
- ■Microsoft Office XP Personal (Service Pack 1含む)
- ■てきぱき家計簿マム3
- ■特単 470 SE
- ■VisualFlow Ver.2.1
- ■Grami Best Selection／Grami Stick
- ■パーキャスTV
- ■Webpocket

ちょっと一言

ダウンロードできるソフトウェアやバージョンのご確認など、最新の情報については「Hotnetworkサービス」のホームページをご覧ください。
http://www.jp.sonystyle.com/Hotnetwork/index.html

クリエーション

❑ DigitalPrint Ver.1.1 （アルバム／ラベル作成・プリント）

VAIOカスタマーリンク

❑ DVgate Ver.2.5 （デジタルビデオ動画／静止画入出力／簡易編集）

VAIOカスタマーリンク

❑ MovieShaker Ver.3.3 （動画編集）

VAIOカスタマーリンク

❑ PictureGear Ver.5.1 （画像管理）

VAIOカスタマーリンク

❑ PictureToy Ver.1.1 （静止画加工）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Edit Components （Adobe®Premiere®6.0プラグイン）

VAIOカスタマーリンク

❑ 筆ぐるめ for VAIO （はがき作成）

富士ソフトABC株式会社
インフォメーションセンター
電話番号：(03)5600-2551
ファックス番号：(03)3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp

オーディオ&ビジュアル

❑ Giga Pocket Ver.4.6
(PCV-JX11GBP/JX11GNのみ)
(テレビ録画/管理/再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ iRCommander
(PCV-JX11GBP/JX11GNのみ)
(Giga Pocketリモート予約)
ソニーコミュニケーションネットワーク
株式会社　テレビ王国
電子メール:tv@so-net.ne.jp
URL:http://www.so-net.ne.jp/tv/

❑ PicoPlayer Ver.5.0
(Giga Pocket専用ビューワー/コントローラー)
VAIOカスタマーリンク

❑ PowerDVD™ XP for VAIO
(DVDビデオ再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ QuickTime 5
(動画再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ RealPlayer 8 Basic
(動画再生)
リアルネットワークス株式会社
サポートセンター
電話番号:(03)5302-2313

❑ SonicStage Ver.1.2 for VAIO
(音楽ファイル管理/再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media™ Player 8
(音楽・動画再生)
VAIOカスタマーリンク

ホームネットワーク

❑ VAIO Media Launcher
(音楽・動画・静止画ポータル)
VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ Microsoft® Internet Explorer 6
(インターネットブラウザ)
VAIOカスタマーリンク

❑ Microsoft® Outlook Express 6
(電子メール)
VAIOカスタマーリンク

❑ Q-ze Talk**(キュゼ・トーク)**
Ver.1.2
(ビジュアルチャット)
VAIOカスタマーリンク

❑ Smart Capture Ver.4.3
(画像取り込み/再生)
VAIOカスタマーリンク

❑ URecSight Ver.2.2
(インターネット放送)
VAIOカスタマーリンク

❑ **インターネット接続サービス/ブロードバンド常時接続サービスご紹介**

■AOL 7.0 for Windows
(サービスプロバイダ)
株式会社ドコモAOL
AOLメンバーサポートセンター
受付時間:9時〜21時(土・日・祝日もOK)
会員サポート・入会問い合わせ:
(0120)275-265(フリーダイヤル)
携帯電話および国際電話によるサポート:
(03)5331-7400
電子メール:AOLJapanMS@aol.com

■DION **オンラインサインアッププログラム**
(サービスプロバイダ)
KDDIカスタマーサービスセンター
サービス内容に関するお問い合わせ
電話番号:(0077)7192(無料)
受付時間:9時〜21時(土・日・祝日も受付中)
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号:(0077)20227(有料、全国一律1分10円)
上記番号につながらない場合は
札幌(011)232-7012/東京(03)5348-3975
(有料)
ADSLコースのサービス内容、接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号:(0077)7084(無料)

■ @niftyでインターネット
(サービスプロバイダ)

ニフティ株式会社　@nifty入会センター
電話番号:(0120)816-042(フリーダイヤル)
携帯・PHS・国際電話の場合:
(03)5753-2374(電話料金はお客様ご負担となります)

ご注意

お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。
受付時間:毎日 9時〜21時
(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

■ OCNスタートパック for Windows
(サービスプロバイダ)

OCNインフォメーションデスク
電話番号:(0120)047-815(フリーダイヤル)
受付時間:
9時〜21時(月〜金曜日)
9時〜17時(土曜日・日曜日・祝日)
電子メール:info@ocn.ad.jp

■ ODNスターターキットソフトウェア
(サービスプロバイダ)

日本テレコム株式会社
ODNサポートセンター
電話番号:0088-86(無料 ODNダイアルアップサービス)
0088-222-375(無料 J-DSL フレッツADSLプラン)

■ぷらら入会/接続ソフト(P'zDialer)
(サービスプロバイダ)

株式会社ぷららネットワークス
「ぷららダイヤル」
入会専用:(0120)488912(スバヤクイージー)
テクニカル:(03)5954-5311

■ So-net簡単スターター
(サービスプロバイダ)

So-netインフォメーションデスク
電話番号:(0570)00-1414(全国共通)
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
札幌(011)711-3765/仙台(022)256-2221/東京(03)3446-7555/名古屋(052)819-1300/大阪(06)6577-4000/広島(082)286-1286/福岡(092)624-3910
受付時間:10時〜21時　年中無休
ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。また、ホームページ でもご確認いただけます。
ファックス番号:(03)3446-7557
電子メール:info@so-net.ne.jp
ホームページ:
http://www.so-net.ne.jp/access/

■イー・アクセス ADSL スターターキット
(サービスプロバイダ)

イー・アクセス株式会社
電話番号:(0120)2754-37
受付時間:10時〜18時(毎日)
電子メール:info@eaccess.net

■インターネットするならBIGLOBE
(サービスプロバイダ)

BIGLOBEカスタマーサポート
インフォメーションデスク
電話番号:(0120)86-0962(フリーダイヤル)
携帯電話・PHS・CATV電話:(03)3947-0962
受付時間:24時間365日
電子メール:お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html
ホームページ:http://support.biglobe.ne.jp/

■リファレンスツール

❑ Adobe®Acrobat®Reader 5.0J（PDFビューワー）

VAIOカスタマーリンク

❑ MapCutter Ver.2.0（CLIE用地図切り出しツール）

VAIOカスタマーリンク

❑ Navin' You Ver.5.5（デジタルマップナビゲーター）

VAIOカスタマーリンク

❑ Navin' You専用グルメ＆ドライブスポット327 by Walkerplus.com

株式会社ウォーカープラス・ドット・コム編集制作部
ファックス番号：(03)3234-4613
電子メール：webmaster@walkerplus.com

❑ Navin' You専用マップ2 サンプル版

株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口
電話番号：(03)5259-5077
受付時間：10時～12時／13時～17時
月～金（祝日は除く）

❑ 乗換案内 時刻表対応版（電車交通案内）

乗換案内ユーザーサポート
電話番号：(03)5369-4055
受付時間：10時～12時/13時～17時
月～金曜日（祝日は除く）

ステーショナリ

❑ Microsoft® Office XP Personal（Service Pack1含む）（型名の末尾が"BP"のモデルのみ）（ワープロ・表計算・個人情報管理）

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：東京(03)5354-4500／大阪(06)6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Microsoft® Office XP Personal プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフトスタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間　月～金：9時30分～12時、13時～19時、土曜日：10時～17時
（同社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ
マイクロソフト　スタンダードサポートにてサポートいたします。
期間、回数の指定はありません。
受付時間　月～金：9時30分～12時、13時～19時、土・日：10時～17時
（同社指定休業日、年末年始、祝日を除く）
お問い合わせの前に付属の「Microsoft® Office XP Personal プレインストールパッケージ」をご覧になり、プロダクトIDをご確認ください。

❑ てきぱき家計簿マム3（家計簿ソフト）

サポートセンター
電話番号：東京(03)3564-6370
　　　　　大阪(06)6633-1162
　　　　　岡山(086)245-4770
ファックス番号：(086)244-6010
ホームページ：http://www.softnet.co.jp
電子メール：support@softnet.co.jp

❑ 特単470SE（TOEIC学習）

ソースネクスト・テクニカルサポートセンター
電話番号：(03)5350-4899
受付時間：10時～18時（土曜・日曜、祝日、会社休業日を除く）

ユーティリティ

❑ Norton AntiVirus 2002 （ウイルスチェッカー）

シマンテックテクニカルサポートセンター
電話番号：（03）3476-1118
受付時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX：（03）3477-1118

なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。

http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

カスタマーID取得に関するお問い合わせ

シマンテックカスタマーサービスセンター

電話番号：（03）3476-1156

受付時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

FAX：（03）3476-1159

ご注意

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。
テクニカルサポート提供期間はウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく180日間となります。
ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。
ショップシマンテック
電話番号：（03）3476-1192
FAX：（03）3780-9988
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

❑ VAIO Action Setup Ver.1.4 （アプリケーション等起動設定）

VAIOカスタマーリンク

❑ VisualFlow Ver.2.1 （メディアブラウザ）

VAIOカスタマーリンク

❑ システム情報

VAIOカスタマーリンク

カスタマーサポートツール

❑ CyberSupport Ver.3.5 for VAIO （VAIOマニュアル）

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ Grami Best Selection / Grami Stick （ご紹介コンテンツ）

サイバージーンドットコム株式会社
Gramiお問い合わせ窓口
電子メール：info@grami.ne.jp
受付日時：月曜～金曜日（回答も平日のみとさせて頂きますのでご了承ください。）

❑ UI Design Selector （VAIOオリジナルGUIセットアップ）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIOオンラインカスタマー登録 （オンラインカスタマー登録）

ソニーマーケティング株式会社
VAIOカスタマー専用デスク
電話番号：（03）5977-7255
受付時間：
月曜～金曜日 10時～18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

❑ できるWindows XP for VAIO （マニュアル）

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ オンラインサービスご紹介

■インプレスダイレクト

株式会社インプレスコミュニケーションズ
インプレスダイレクト カスタマーセンター
電話番号：（03）5275-9051
受付時間：10時～12時、13時～17時30分
（土・日・祝日は除く）
電子メール：sales@ips.co.jp

■UPGRADE AREA（アップグレードエリア）

ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：（03）5783-1254
電子メール：
vaio-upgradecenter@sony.co.jp

■**ソニースタイル**

ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(03)5783-1122
受付時間：10時〜18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@jp.sonystyle.com

■**イメージステーション**

ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(0466)30-3012
受付時間：10時〜18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@imagestation.jp

■**パーキャス**TV

ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(0466)30-3012
受付時間：10時〜18時（土・日・祝日・年末年始は除く）

■ gu mantan WEB

デザインエクスチェンジ株式会社
DEXインフォメーション
電子メール：info@dex.ne.jp

■ Webpocket

株式会社ウェブポケット
ウェブポケットカスタマーセンター
電子メール：info@webpocket.net
受付時間：10時〜18時（土・日・祝日、および年末年始は除く）

■**イープラス**

(株)エンタテインメントプラス
ホームページ：http://eee.eplus.co.jp/
電話番号：(03)5749-9911

■ Norton AntiVirus **ウイルス定義ファイル購入**

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック
電話番号：(03)3476-1192
FAX：(03)3780-9988
電話受付時間：月〜金 10時〜12時、13時〜17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

❑ リカバリディスク

VAIOカスタマーリンク

主な仕様

モデル	PCV-JX11GBP/JX11GN	PCV-JX11BP/JX11
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition	
プロセッサー	AMD Athlon™ XPプロセッサー1500+*1（1.3GHz）	
キャッシュメモリー	1次キャッシュ128KB／2次キャッシュ256KB（CPU内蔵）	
チップセット	SiS740	
メインメモリー（標準／最大）	256MB／1024MB（DDR SDRAM DDR266対応）*2	
システムバスクロック	200MHz	
拡張メモリースロット（空き）*3	DIMMスロット×2（1）	
グラフィックアクセラレーター	チップセットに内蔵	
ビデオメモリー	32MB（メインメモリー共有）	
表示モード	約1677万色（1280×1024、1024×768、800×600、640×480）*4	
フロッピーディスクドライブ	なし（別売：PCVA-UFD2）	
ハードディスクドライブ	約80GB（Cドライブ約15GB/Dドライブ約65GB）（Ultra ATA/100）*5	
MPEG映像録画時間 *6	高画質 約17.5時間／標準 約35時間／長時間 約95.5時間	
ドライブ	CD-RW／DVD-ROM一体型 • 書き込み：最大8倍速（CD-R／CD-RW）*7 High Speed メディア対応 • 読み出し：最大32倍速（CD-ROM／CD-R）、最大20倍速（CD-RW）、最大8倍速（DVD-ROM）	
外部接続端子（背面）	• キーボード（PS/2、Mini DIN×1） • マウス（PS/2、Mini DIN×1） • USB×2 • オーディオ入力（ライン入力：ステレオミニジャック×1、マイク入力：モノラルミニジャック×1） • ヘッドホン出力（ステレオミニジャック×1） • ディスプレイ出力*8（VGAタイプ、D-sub 15ピン×1／DVIコネクター*9×1） • モデム用モジュラージャック×2（LINE、TELEPHONE） • i.LINK S400（4ピン）端子×1 • ネットワークコネクター（100BASE-TX/10BASE-T ×1）	
外部接続端子（前面）	• メモリースティックスロット*10×1 • PCカードスロット CardBus対応×1 • i.LINK S400（4ピン×1） • USB×1 • 光デジタルオーディオ出力×1（防塵シャッター付き角型光ジャック）	
MPEG2リアルタイムエンコーダーボード用接続端子（背面）	• ビデオ入力（ビデオ・Sビデオ共用特殊端子、MiniDIN×1） • ビデオ出力（ビデオ・Sビデオ共用特殊端子、MiniDIN×1） • オーディオ入力（ステレオミニジャック×1） • オーディオ出力（ステレオミニジャック×1） • TVアンテナ入力×1	
MPEG2リアルタイムエンコーダーボード	• ビデオキャプチャー機能 （ビデオ入力→MPEGリアルタイム変換機能） • TVチューナー（VHF 1ch-12ch、UHF 13ch-62ch、CATV C13ch-C63ch、ステレオ、2ヵ国語）*11 • 圧縮モード（選択可能） －高画質モード（MPEG2 8Mbps 720×480 30fps）約17分／1GB －標準モード（MPEG2 4Mbps 720×480 30fps）約35分／1GB －長時間モード（MPEG1 1.41Mbps 352×240 30fps）約95分／1GB	
拡張スロット（空きスロット数）*12	PCI×3（1）	PCI×3（2）
内部拡張ベイ	なし	
オーディオ機能	チップセットに内蔵、AC97準拠、3Dサウンド機能（Direct Sound 3D）	
内蔵モデム	最大56kbps（V.90／K56flex™）*13／最大33.6kbps（V.34）／最大14.4kbps（FAX）	
主な付属品	「付属品を確かめる」（28ページ）をご覧ください。	
電源	AC100V±10%／50〜60Hz	
消費電力	約72W（最大約200W）／スタンバイ時約1.6W	約62W（最大約200W）／スタンバイ時約1.6W
エネルギー消費効率	R区分0.00041*14	
定格消費電流	2.5A	
電源その他	動作温度：10℃〜35℃（温度勾配10℃/時）以下、動作湿度：40%〜80%（結露のないこと）、保存温度：-20℃〜60℃（温度勾配10℃/時）以下、温度湿度（結露のないこと）	
外形寸法	幅：約104mm×高さ：約343mm× 奥行：約365mm（本体、スタンド・突起含まず） 幅：約104mm×高さ：約343mm× 奥行：約372mm（本体、突起含む、スタンド含まず） 幅：約170mm×高さ：約361mm× 奥行：約372mm（本体、突起、スタンド含む）	
質量	約8.1kg（本体 スタンド含む）／約1.0kg（キーボード）	約8.0kg（本体 スタンド含む）／約1.0kg（キーボード）
スピーカー部 最大出力	1.5W＋1.5W（JEITA）	
スピーカー部 外形寸法	幅88mm×高さ190mm×奥行90mm（スピーカー1台あたり、突起含まず）	
スピーカー部 質量	L側：約240g／R側：約320g	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

高調波電流規制について：この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

*1 QuantiSpeed™アーキテクチャー採用AMD Athlon XP™プロセッサー1500+は、動作周波数1.3GHzで動作しており、従来の設計に基づく1.5GHz動作のCPUの性能に匹敵あるいはしのぐ性能を示します。

*2 512MBメモリーモジュール（PCVA-MM512D）を2枚増設した場合です。
オプションメモリは256MB DDR SDRAM DIMM（PCVA-MM256D）と512MB DDR SDRAM DIMM（PCVA-MM512D）の2種類が用意されています。

*3 機器内部の構造上メモリの増設には知識と経験が必要ですので、ご自身での取り付けは行えません。取り付け作業は販売店へご依頼いただくか、ソニー製メモリー取り付けの場合はソニー（株）VAIOカスタマーリンクの取り付けサービスもご利用いただけます。。

*4 出荷時設定は接続されるディスプレイにより異なり以下のようになります。
PCVD-17SD1：1280×1024、PCVD-15XD6：1024×768

*5 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1GBを1,073,741,824バイトで計算しています。Windowsのシステムから認識できる容量は約74.5GB（Cドライブ約14.0GB／Dドライブ約60.5GB）になります。ファイルシステムはNTFSです。

*6 記録可能なMPEG映像の容量は、映像の内容によって多少前後することがあります。

*7 CD-RW 8倍速以上の書き込みは、CD-RW High Speed対応ディスクをお使いください。High Speed非対応ディスクの場合、書き込み速度は最大4倍速となります。

*8 マルチモニター接続機能はありません。

*9 DVIコネクタは、付属ディスプレイ PCVD-17SD1もしくはPCVD-15XD6でのみ動作を確認しています。

*10 静止画／動画データなど、通常のファイルデータの書き出し／読み込み専用です。「マジックゲートメモリースティック」も使用可能ですが、著作権保護（暗号化）を施された音楽ファイルの書き出し／再生はできません。

*11 VHF（1ch-12ch）・UHF（13ch-62ch）・CATV（C13ch-C63ch）の受信が可能。衛星放送の受信はできません。また、CATVの受信はサービス（放送）の行われている地域でのみ可能です。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要です。詳しくは、その地域のCATV会社にお問い合わせください。

*12 ボード長が17.4cmを超えるPCIボードは装着できません。

*13 56kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は規格上33.6kbpsが最大速度になります。

*14 本書に記載の「エネルギー消費効率」は、省エネルギー法（エネルギーの使用と合理化に関する法律）による表記を記載しています。
「エネルギー消費効率」とは、省エネルギー法で定める測定方法により消費電力を省エネルギー法で定める複合理論性能で除いたものです。

索引

【ア行】
アイコン ...57
空きスロット ...195, 200
アクセスポイント ...91
アクティブスピーカー ..38, 47, 147
アクティブなウィンドウ ...61
アドレスバー ...119
イーサネット ...191
インターネット ...79
　トラブル ...82, 157
インターネットサーバー ...114
インターネットサービス
　プロバイダ ...81
インターネット接続サービス
　...78, 81
ウイルス ...82, 206
ウィンドウ ...57, 60
　切り替える ...60
　最小化 ...61
　サイズを変える ...61
　最大化 ...61
　閉じる ...61
　開く ...60
ウェブブラウザ ...81, 117
液晶ディスプレイ ...36
　コネクタ ...31, 36
　取り扱いについて ...223
エラーメッセージ ...177
オフライン作業 ...125
オンラインサインアップ ...86

【カ行】
拡張ボード ...195
　空きスロット ...195
　種類 ...195
　増設する ...195
　取り付ける ...198
　取りはずす ...201
　プラグアンドプレイ ...197
　PCI拡張ボード ...195
各部のなまえ ...30, 58, 60
カスタマーご登録 ...68
　トラブル ...156
カタカナ入力 ...64
かな入力 ...65
画面
　トラブル ...146
キーボード
　お手入れ ...227
　接続 ...39
　トラブル ...148
　文字の入力 ...64, 148
結露 ...223
ごみ箱 ...63
コンピュータウイルス ...82, 206

【サ行】
再セットアップ ...208
サイバーサポート ...5, 130
受信メールサーバー ...93
スクロールバー ...60
スタートボタン ...56
スピーカー
　トラブル ...147
スロット
　拡張ボード ...195
　メモリースティック ...30
接続 ...36
　アクティブスピーカー ...38
　液晶ディスプレイ ...36
　キーボード ...39
　デジタルビデオカメラ
　レコーダー ...182
　電源コード ...45
　電話回線 ...41
　プリンタ ...187
　マウス ...39
　ISDN回線 ...44
　i.LINK対応機器 ...182
　MD ...190
　USB機器 ...187
設置 ...32
送信メールサーバー ...94
ソフトウェアの不正コピー禁止
　...225

【タ行】
ターミナルアダプタ ...80
タイトルバー ...60
ダイヤルアップ接続 ...92
タスクトレイ ...56
タスクバー ...56, 61
断片化 ...219
チルダ ...148
ツールバー ...60
ディーブイアイコネクタ ...31, 37
ディスプレイ
　お手入れ ...226
　接続 ...36
　トラブル ...145
デジタルビデオカメラ
　レコーダー ...182
デスクトップ画面 ...56
デフラグ（最適化） ...219
テレビ
　トラブル ...145
テレホンコード ...43
電源
　電源ボタン ...30, 47
　電源ランプ ...30, 47
　電源を入れる ...47
　電源を切る ...53
　トラブル ...143
電子マニュアル ...5, 130
電子メール ...108, 124
　電子メールアドレス ...73, 93
　電子メールソフトウェア
　...81, 108
　トラブル ...82
　やりとりする ...124
電話回線
　電話回線ジャック ...31, 42
　電話機ジャック ...31, 41
動画系ソフトウェアの操作の流れ
　...204
動画／静止画編集
　トラブル ...176
トーン式ダイヤル ...76, 92
ドライバ ...192, 198
トラブルの解決方法 ...140

【ナ行】
ネゴシエーション ...168
ネットワーク ...189
ネットワークカード ...191
ネットワークコネクタ ...189

【ハ行】
パーティション ...219
ハードディスク
　アクセスランプ ...30
　トラブル ...152
　取り扱いについて ...224
　バックアップをとる ...224
パームレスト ...40
パスワードリマインダー ...74
パルス式ダイヤル ...76, 92
光デジタル出力コネクタ ...30
ひらがな入力 ...64
ファイル ...62
　削除 ...63
　ファイルを作る ...62
　フォルダを作る ...62
フォルダ ...62
複数ユーザー ...51
付属ソフトウェア ...229
付属品 ...28
プラグアンドプレイ ...197
プリンタ ...187

フロッピーディスク
トラブル 151
取り扱いについて 225
プロバイダ 81, 86, 88, 89
ヘッドホンコネクタ 31, 38
ヘルプ 138
ヘルプとサポートセンター 52
ポインタ 59
ホームページ 117

【マ行】
マウス
お手入れ 226
クリック 58
接続 39
ダブルクリック 58
ドラッグ 58
ドラッグアンドドロップ ...58
トラブル 150
ホイールボタン 58
ポイント 59
マウスコネクタ 31, 39
マウスの操作 58
右クリック 58
無線LANカード 192
メニューバー 60
メモリ 195
増設する 202
メモリ 202
メモリモジュール 202
メモリースティック 30
メモリカード 191
文字入力 64
トラブル 148
モデム 80
モデム／インターネット
トラブル 157
モニタコネクタ 31, 37

【ラ行】
ライン入力コネクタ 31
リカバリディスク 208
リソース 196
ローマ字入力 65

【A】
AC電源入力プラグ 31, 45
ADSL 44, 80, 104, 189
AV機器
デジタルビデオカメラ
レコーダー 182

【B】
BIOS 208, 209

【C】
CD-ROM
お手入れ 226
トラブル 152
取り扱いについて 224
CD-RW／CD-R
お手入れ 226
トラブル 154
取り扱いについて 224
CD-RW／DVD-ROM一体型
ドライブ 30
CyberSupport 5, 130

【D】
DVD-ROM
お手入れ 226
トラブル 152
取り扱いについて 224
DVD-RW／DVD-R
取り扱いについて 224

【H】
HTML 110

【I】
IRQ 195
ISDN回線 44, 80
ISP 81, 97
i.LINK
つなぐ 182
データをやりとりする
................................182, 185
トラブル 155
i.LINKケーブル 183
i.LINKコネクタ 182
i.LINK対応機器 182
I/Oポート 195

【L】
LAN 189

【M】
Microsoft Internet Explorer
....................................81, 117
MO 191
MS-IMEツールバー 64

【N】
Norton AntiVirus 206

【O】
OS 50, 82
Outlook Express 81, 108, 124

【P】
PCカード 191, 192
PCカードスロット 192, 193
PCI拡張ボード 195
PPP 91

【S】
SCSI 191
Smart Connect 185

【U】
URL 119
USB機器 187
USBコネクタ 30, 31, 44, 187

【V】
VAIOカスタマーご登録 ..68, 156
VAIOカスタマーリンク
..................................136, 138

【W】
Windows
準備する 48
Windowsのヘルプ 52, 138

この説明書は再生紙を使用しています。

本書をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および MEMORY STICK™ は、ソニー株式会社の商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ はソニー株式会社の商標です。
- 「CastaDrive」、および CastaDrive はソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、および はソニー株式会社の商標です。
- 「Webpocket」はソニー株式会社の商標です。
- AMD, AMD Arrowロゴ、AMD Athlon、ならびにその組み合わせ は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- ドルビー、DOLBY、ダブルD記号 、AC-3およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、OutlookおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe®、Adobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- Sonic、Sonic Solutions、DVDit!は米国Sonic Solutions社の米国およびその他の国における商標です。
- Copyright ©1993-2002 FUJISOFT ABC Inc. All rights reserved.
- テレビ王国、iCommand、アイコマンド、iRCommander、アイアールコマンダーは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の商標です。
- 「iモード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Copyright 1998-2002 CyberLink Corp. All rights reserved. CyberLink and PowerDVD are trademarks of CyberLink Corp.
- QuickTime and QuickTime Player are trademarks of Apple Computer,Inc., registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- Recording Technology by VERITAS Software.
- Bookshelf Basicは、次の書籍を基に制作されました。
  『新英和中辞典』第6版©研究社 1967,1994,1998、
  『新和英中辞典』第4版©研究社 1933,1995,1998、
  『新明解国語辞典』第5版©三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
- 2002 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporationの登録商標です。
  2002 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
- 「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では ™、®マークは明記していません。

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ
VAIOの最新サポート情報をご案内します。
● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan